

LCD Data Projector

取扱説明書

JP

使用说明书

CS

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い
かたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全に
お使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず
保管してください。

VPL-PX15
VPL-PX10
VPL-PS10

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5 (JP) ~ 8 (JP) ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



指挟み



破裂

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ



指示

目次

⚠ 警告	5 (JP)
⚠ 注意	6 (JP)
電池についての安全上のご注意	7 (JP)
ランプについての安全上のご注意	8 (JP)

概要

本機の特長	9 (JP)
各部の名称と働き	10 (JP)
前面 / 左側面	10 (JP)
後面 / 右側面 / 底面	10 (JP)
コントロールパネル	12 (JP)
コネクタパネル	14 (JP)
リモートコマンダー (VPL-PX15/PX10 に付属)	15 (JP)
リモートコマンダー (VPL-PS10 に付属)	17 (JP)

設置 / 接続 (持ち運び使用時) と投影

持ち運んで設置する (床置き)	19 (JP)
接続する	19 (JP)
コンピューターを接続する	19 (JP)
ビデオ機器 / 15k RGB / コンポーネント機器を接続する	21 (JP)
LAN に接続する (VPL-PX15 のみ)	22 (JP)
メニュー表示言語を切り換える	24 (JP)
スクリーンに画像を映す	25 (JP)

メニューで行う調整と設定

メニューの操作方法	29 (JP)
画質調整メニュー	29 (JP)
信号設定メニュー	30 (JP)
初期設定メニュー	32 (JP)
設置設定メニュー	33 (JP)

設置

設置例	35 (JP)
設置時のご注意	36 (JP)
設置に適さない場所	36 (JP)
使用に適さない状態	36 (JP)

保守・点検

メンテナンス	37 (JP)
ランプを交換する	37 (JP)
エアフィルターが汚れてきたら	38 (JP)
トラブル時の対処	39 (JP)

その他

本機の性能を保持するために	41 (JP)
保証書とアフターサービス	41 (JP)
仕様	42 (JP)
索引	45 (JP)



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に変換をご依頼ください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

天井への取り付けは絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下して大けがの原因となります。必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 50 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しにしない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

床置き、または指定された天つり金具を使った天つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

ワイヤレスLANカード使用の場合は医療機器のある場所に設置しない(VPL-PX15のみ)



禁止

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

レーザー発光部をのぞかない (VPL-PX15/PX10のみ)



禁止

リモートコマンダーのレーザー発光部をのぞき込むと目に悪影響を与えることがあります。



このラベルはリモートコマンダーの後面に貼付されています。



このラベルはリモートコマンダーの側面に貼付されています。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

運搬するときは必ずハンドルを持つ



禁止

- ・運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
- ・床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・ハンドルを使用しての運搬時、またハンドルをしまうときに手を挟まないようにご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止 使用は特にご注意ください。

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



指示

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足を引っかけない



注意

電源コードや接続ケーブルに足を引っかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

アジャスター調整時に指を挟まない



指挟み

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

規定の電圧で使用する



指示

規定外の電圧で使用すると火災や感電の原因となることがあります。

定期的にエアフィルターをクリーニングする



注意

約 300 時間使用したら、必ずエアフィルターのクリーニングをしてください。天井にプロジェクターを取り付けた場合はほこりがたまりやすくなりますので、特にこまめにクリーニングしてください。クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気が多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

レーザーポインターを人に向けて使用しない（VPL-PX15/PX10のみ）



禁止

目に悪影響を与えるなど、けがの原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口の前に置かない



禁止

火災の原因となることがあります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

電池の液が目に入ったら

➡️ すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

煙が出たら

➡️ ① 電池を抜く。
② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

➡️ すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

➡️ よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



警告

下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れ**により、**死亡や大けが**などの人身事故になることがあります。



破裂

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



高温



注意

下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れ**により、**けが**をしたり周辺物品に損害を与えたりすることがあります。



破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

ランプについての安全上 のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- ・衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- ・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- ・交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、十分にランプが冷えてから行ってください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウスの内にガラス片が飛散している可能性があります。ソニーのサービス窓口でランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

速やかに医師にご相談ください。

ランプを傾けて持たない



注意

ランプを傾けて持つとランプの破損時にランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持ってください。

お願い

ソニーは環境保全のため、プロジェクターの使用済みランプの回収を行なっています。使用済みのランプは、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店までお持ちくださるよう、ご協力をお願いいたします。

本機の特長

高輝度・高画質映像

高輝度

新規の200 W UHPランプおよび新規光学システムの採用により、2000 ANSIルーメン (VPL-PX15/PX10)、1500 ANSIルーメン (VPL-PS10)の均一で明るい映像を再現します。

高解像度

VPL-PX15/PX10

約79万画素の高精細0.9インチのXGAパネルを3枚採用し、RGB入力時には、水平解像度1024ドット、垂直解像度768ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度750TV本を実現しました。

VPL-PS10

約48万画素の高精細0.9インチのSVGAパネルを3枚採用し、RGB入力時には、水平解像度800ドット、垂直解像度600ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度600TV本を実現しました。

手軽なセットアップ

簡単な外部機器との接続

あらかじめ37種類の入力信号がプリセットされていますので、外部機器を接続し、ソニーオリジナルのAPA (Auto Pixel Alignment) キーを押すだけで、自動調整された映像を映すことができます。

USBハブ機能

USBマウスをはじめとするUSB機器を接続することが可能なほか、付属のアプリケーションソフトウェア、Projector Station (CD-ROM) を使用して、Microsoft¹⁾ Windows¹⁾ 98、Windows 98 SE およびWindows 2000を搭載したコンピューターから本機をコントロールすることができます。

プレゼンテーションに便利な機能

マウスコントロール機能付き多機能リモートコンマンドーマウスレシーバーを内蔵しているため、本機に接続したコンピューターをリモートコンマンドーから遠隔操作することができます。

デジタルズーム、フリーズ機能

画面上の希望の部分を拡大できるデジタルズーム、外部入力接続をはずしても投影している画面をそのまま出し続けることができるフリーズ機能を搭載しています。

様々な入力信号に対応

スキャンコンバーターを内蔵

スキャンコンバーターを内蔵しており、入力された信号を1024 × 768ドット内 (VPL-PX15/PX10) および800 × 600ドット内 (VPL-PS10) にアップ/ダウンコンバートします。

対応入力信号

コンボジット、Sビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、15k RGB、VGA²⁾、SVGA²⁾、XGA²⁾、SXGA²⁾ 信号を表示することができます。

6つのカラー方式に対応

自動切り換えでNTSC^{3.56)}、PAL、SECAM、NTSC^{4.43³⁾}、PAL-M、PAL-Nの6つのカラー方式に対応します。

その他の機能

ネットワーク対応 (ワイヤレス対応、VPL-PX15のみ)

PCカードスロット、ETHER (イーサー) 端子を装備しており、別売りのLANケーブルまたはワイヤレスLAN PCカードを使用してワイヤードまたはワイヤレスでLANに接続できます。

ネットワーク機能について詳しくは、付属の「取扱説明書 (ネットワーク編)」をご覧ください。

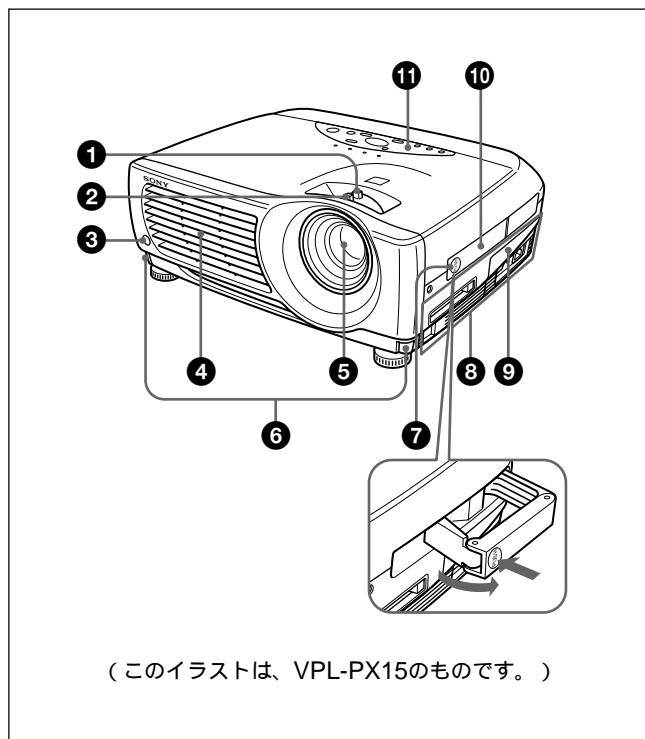
1) Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

2) VGAとSVGA、XGA、SXGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。

3) NTSC^{4.43}とは、NTSC方式で録画されたビデオカセットを、NTSC^{4.43}方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

各部の名称と働き

前面 / 左側面



① ズームリング

画像の大きさ(ズーム)を調整します。

② フォーカスリング

画像のフォーカスを調整します。

③ 前面リモコン受光部

④ 排気口

⑤ レンズ

投影する前には、レンズキャップをはずしてください。

⑥ アジャスター調整ボタン

⑦ ハンドルリリース部

押すと、キャリングハンドル⑩が飛び出します。

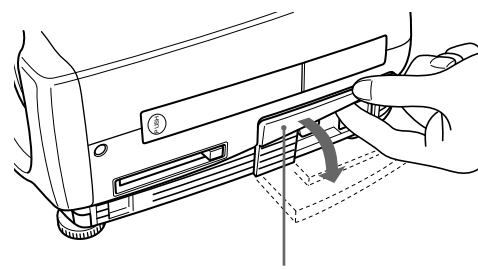
⑧ コネクターパネル

詳しくは、「コネクターパネル」(14(JP)ページ)をご覧ください。

⑨ コネクターパネルカバー

コネクターパネル上の各端子を使用するときに、必要に応じて開けます。コネクターパネルカバーロック⑭を解除して取りはずすこともできます。

左側面



コネクターパネルカバー

⑩ キャリングハンドル

プロジェクター本体を持ち運ぶときに、ハンドルリリース部⑦を押して使用します。

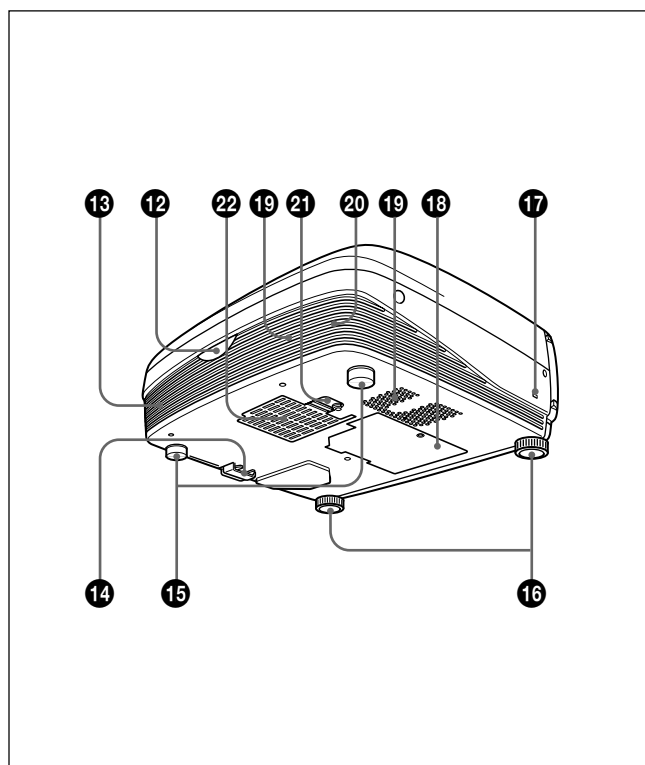
⑪ コントロールパネル

詳しくは、「コントロールパネル」(12(JP)ページ)をご覧ください。

⑫ 後面リモコン受光部

⑬ 左スピーカー

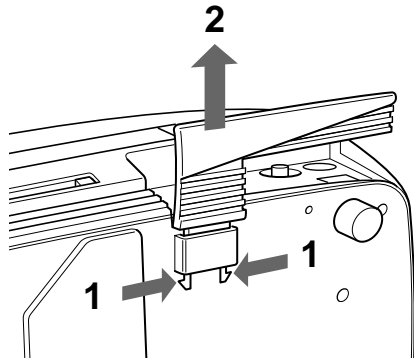
後面 / 右側面 / 底面



⑭ コネクターパネルカバーロック

コネクターパネルカバー⑨の取りはずし / 取り付け時に使用します。

底面



ロックを両側から押さえながら、コネクターパネルカバーを引く。

⑮ 後部アジャスター

⑯ アジャスター

画像がスクリーンからはずれてしまう場合、アジャスターで調整します。

アジャスターの使いかたについて詳しくは、「アジャスターの使いかた」(12(JP)ページ)をご覧ください。

⑰ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington¹⁾社製)などを接続することができます。

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032

東京都中央区八丁堀1-5-2はごろもビル

TEL : 03-3537-1070

FAX : 03-3537-1071

Kensington ホームページアドレス

<http://www.kensington.com/>

⑱ ランプカバー

⑲ 吸気口

⑳ 右スピーカー

㉑ エアークリナーカバーロック

エアークリナーカバーを取りはずすときに使います。

詳しくは「エアークリナーが汚れてきたら」(38(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアークリナーのクリーニングを行ってください。

㉒ 吸気口 / エアークリナーカバー

警告

- ・排気口、吸気口をふさがないようにください。
排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ・排気口は高温になるので、手を触れたり、近くに物を置かないでください。

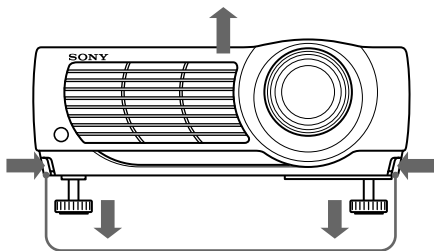
1) Kensington は Kensington 社の登録商標です。

アジャスターの使いかた

高さを調整するには

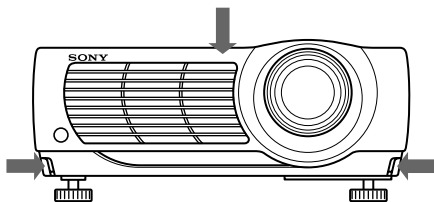
以下の手順で調整します。

- 1 プロジェクターを持ち上げ、アジャスター調整ボタンを押す。アジャスターがプロジェクター本体から出てきます。



アジャスター調整ボタン

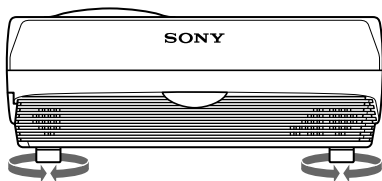
- 2 アジャスター調整ボタンを押しながら、プロジェクターの高さを調整し、ボタンをはなす。アジャスターがロックされ、高さが固定されます。微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整します。



ご注意

アジャスターを最大に伸ばした状態で、さらに反時計回りにアジャスターを回し続けると、アジャスターが回転なくなり、アジャスター調整ボタンが押せなくなります。その場合はアジャスターを時計回りに回してゆるめてからボタンを押してください。

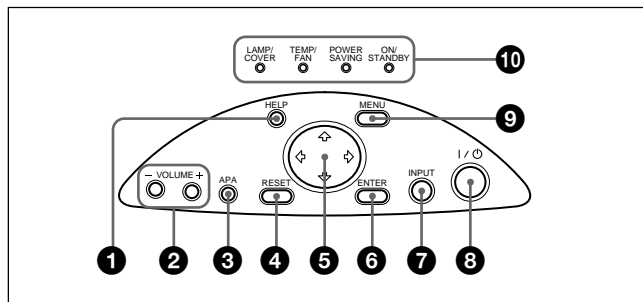
- 3 必要に応じて後部アジャスターを左右に回し、高さを調整する。



ご注意

- ・ プロジェクターを持ち上げるときは、手を挟まないようにしてください。
- ・ アジャスターを出した状態で、プロジェクターを強く押さえないでください。

コントロールパネル



① HELP (ヘルプ) キー

操作中にトラブルが生じた場合に押します。ヘルプが画面に表示されます。トラブル発生時の解決方法を項目別に確認することができます。

② VOLUME (音量) + / - キー

本体のスピーカーから出力される音量を調節するときに使います。

+ : 音が大きくなります。

- : 音が小さくなります。

③ APA (Auto Pixel Alignment) キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。上下左右のシフト調整も同時に行います。

ご注意

APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。

画像のまわりに黒い部分が残っている状態で押すと、正しくAPA機能が働かず、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。

④ RESET (リセット) キー

調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すときに押します。メニュー画面、または項目を調整中(画面に表示中)に働きます。

⑤ ↑/↓/←/→ (矢印) キー

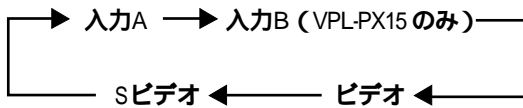
メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

⑥ ENTER (確定) キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

⑦ INPUT (入力選択) キー

入力信号を選びます。押すたびに、映像 / 音声信号が以下の順番で切り換わります。

**ご注意**

- 入力Bは、VPL-PX15の、設置設定メニューの「入力B機能」を「オン」にしているときのみ有効です。
- ビデオ / Sビデオの音声信号は共通です。
- 入力A / 入力Bの音声信号は共通です。

⑧ I / O (オン / スタンバイ) キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、ON / STANDBY インジケータが緑色に点灯します。

電源を切るときは、画面の表示に従って、I / O キーを2度押すか、I / O キーを約1秒押したままにしてください。

電源を切る手順について詳しくは、「電源を切る」(26(JP)ページ)をご覧ください。

⑨ MENU (メニュー) キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう1度押すとメニューは消えます。

⑩ インジケータ

LAMP (ランプ) COVER (カバー): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯: ランプの寿命が来たとき、またはランプの温度が高いとき。

点滅: ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれているとき。

TEMP (温度) FAN (ファン): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯: プロジェクター内部の温度が上がったとき。

点滅: ファンが故障したとき。

POWER SAVING (パワーセービング): パワーセービング時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「オン」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとパワーセービングになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。パワーセービングは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。ただし、ランプが消えた後、最初の60秒間は、すべてのキーを受け付けません。

ON (電源) STANDBY (スタンバイ): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯: 電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I / O キーで電源を入れることができます。

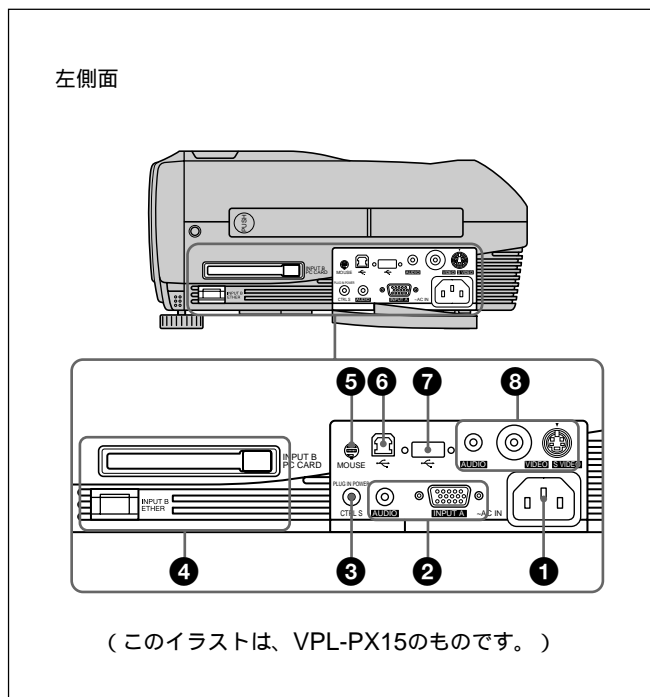
緑色に点灯: 電源が入っているとき。

緑色に点滅: I / O キーで電源を切った後の約90秒間。(本機内部の温度を下げるために、約90秒間ファンが回り続けます。)

はじめの60秒間は、ON / STANDBY インジケータが速い間隔で点滅します。この間は再びI / O キーを押しても電源を入れることはできません。

LAMP / COVER、TEMP / FAN インジケータについて詳しくは、40 (JP) ページをご覧ください。

コネクターパネル



① AC IN(電源)コンセント
付属の電源コードを接続します。

② INPUT A(入力A)端子
コンピューターなどの映像 / 音声を入力します。
INPUT A 端子(HD D-sub 15ピン、メス) : コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。
別売りの接続ケーブルを使用するとコンポーネント信号や15k RGB 信号を入力することもできます。
詳しくは、「15k RGB / コンポーネント機器を接続する場合」(22(JP)ページ)をご覧ください。
AUDIO(音声)端子(ステレオミニジャック) : コンピューターの音声出力端子に接続します。

③ CTRL S(コントロールS信号入力)/PLUG IN
POWER(DC 5 V)端子(ステレオミニジャック)
コントロールS 出力端子のあるソニー製品に接続します。
付属のリモートコマンドのCONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードリモコンとして使用することができます。このとき、電源は本体から供給されるので電池を入れる必要がありません。

④ INPUT B(入力B)端子(VPL-PX15のみ)
INPUT B PC CARD(入力B用PCカード)スロット(Type II) : 用途に応じて推奨のワイヤレスLANカードやメモリーカードなどを取り付けます。
詳しくは、「PCカードを取り付ける」(22(JP)ページ)をご覧ください。
INPUT B ETHER(イーサー)端子(10BASE-T/100BASE-TX) : 本機のネットワーク機能を使うとき、10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルでコンピューターと接続します。

⑤ MOUSE(マウス)端子(丸形6ピン)
コンピューターのマウス機能进行操作するとき、付属のマウスケーブルでコンピューターのPS/2マウスポートと接続します。

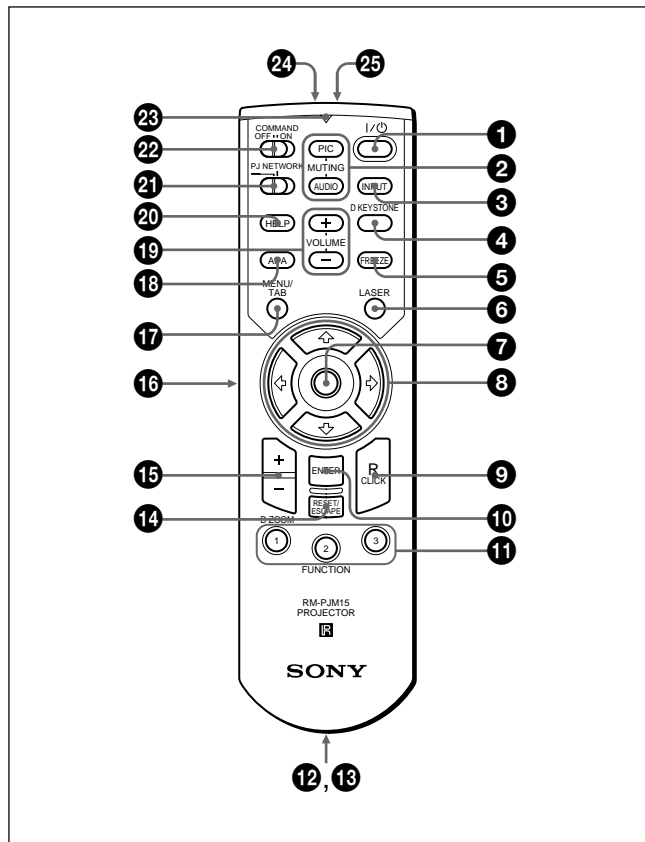
⑥ USB端子(USB Bプラグ、アップストリ - ム用、4ピン)
コンピューターと接続します。コンピューターと本機を接続すると、本機は自動的にUSBマウスが接続されていると認識し、INPUT A 端子に接続されたコンピューターのマウス機能を付属のリモートコマンドから操作できるようになります。また付属のアプリケーションソフトウェアを使用する際に本機とコンピューターを接続します。

⑦ USB端子(USB Aプラグ、ダウンストリ - ム用、4ピン)
USB 対応の周辺機器(マウス、カメラなど)と接続します。

⑧ 映像入力端子
ビデオデッキなどの映像 / 音声を入力します。
S VIDEO(S映像)端子(ミニDIN4ピン) : ビデオデッキなどのS映像出力端子と接続します。
VIDEO(映像)端子(ピンジャック) : ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。
AUDIO(音声)端子(ステレオミニジャック) : ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。

リモートコマンダー (VPL-PX15/ PX10に付属)

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



① I/O (オン / スタンバイ) キー

② MUTING (ミュート) キー

映像や音声を一時的に消すときに使います。

PIC (映像): 映像を一時的に消すときに押します。もう1度押すと、解除されます。

AUDIO (音声): スピーカーから出力される音声を一時的に消すときに押します。もう1度押すか、VOLUME + キーを押すと、解除されます。

③ INPUT (入力選択) キー

④ D KEYSTONE (デジタル台形補正) キー

投影角度によって画像が台形になってしまった場合、これを補正するときに押します。↑/↓/←/→ キーを使って、画像が長方形になるように調整します。

⑤ FREEZE (フリーズ) キー

投影している画面を静止させるとき使います。解除するときはもう1度押します。

⑥ LASER (レーザー) キー

押している間、レーザーがレーザー発光部から出力されます。

⑦ マウス

PJ / NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：本機と接続しているコンピューターのマウス機能を操作します。

PJ / NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき (VPL-PX15のみ)：本機のINPUT Bの画面でマウス機能を操作します。

⑧ ↑/↓/←/→ (矢印) キー

⑨ R CLICK (右クリック) キー

PJ / NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：本機と接続しているコンピューターのマウスの右ボタンの働きをします。

PJ / NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき (VPL-PX15のみ)：本機のINPUT Bの画面で、マウスの右ボタンの働きをします。

⑩ ENTER (確定) キー

⑪ FUNCTION 1、2、3 (ファンクション1、2、3) キー

PJ / NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：付属のアプリケーションソフトウェアを使用する場合に働きます。アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめ任意のファイルをファンクションキーに登録しておくと、このキーを押すだけでファイルを開くことができます。(ファンクション1、2キーのみ使用できます。ファンクション3キーは使用できません。)

付属のアプリケーションソフトウェアについて詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属のRead meファイルおよびヘルプをご覧ください。

PJ / NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき (VPL-PX15のみ)：あらかじめ任意のアプリケーションをファンクションキーに登録しておくと、本機のINPUT Bの画面で、このキーを押すだけでアプリケーションを起動することができます。(ファンクション3キーは、ソフトキーボード表示に固定されています。)

⑫ ストラップホルダー

ストラップを取り付けて使用することができます。

(続く)

⑬ CONTROL S OUT(コントロールS出力)端子(ステレオミニジャック)

ワイヤードリモコンとして使う場合に、本体のCTRL S端子とつながります。リモコンケーブル(ステレオタイプ)で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。

⑭ RESET(リセット)/ESCAPE(エスケープ)キー
PJ/NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：
RESETキーとして使います。

PJ/NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき(VPL-PX15のみ)：本機のINPUT Bの画面で、キーボードのESCAPEキーと同じ働きをします。

⑮ D ZOOM(デジタルズーム)+/-キー

画面上の希望の位置を拡大することができます(デジタルズーム機能)。この機能は、コンピューターからの信号を入力しているときのみ働きます。

- +キー：1度押すと、拡大する位置を示すアイコンが表示されます。↑/↓/←/→キーを使って拡大したい位置にアイコンを移動し、もう1度+キーを押すと、画像が拡大されます。
- キー：-キーを押すたびに、D ZOOM +キーで拡大した画面が縮小されます。

⑯ L CLICK(左クリック)キー

PJ/NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：
本機と接続しているコンピューターのマウスの左ボタンの働きをします。

PJ/NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき(VPL-PX15のみ)：本機のINPUT Bの画面で、マウスの左ボタンの働きをします。

⑰ MENU(メニュー)/TAB(タブ)キー

PJ/NETWORK切り換えスイッチがPJ側にあるとき：
MENUキーとして使います。

PJ/NETWORK切り換えスイッチがNETWORK側にあるとき(VPL-PX15のみ)：本機のINPUT Bの画面で、キーボードのTABキーと同じ働きをします。

⑱ APA(Auto Pixel Alignment)キー

⑲ VOLUME(音量)+/-キー

⑳ HELP(ヘルプ)キー

操作中にトラブルが生じた場合に、このキーを押します。ヘルプ画面が表示されます。

㉑ PJ/NETWORK(プロジェクター/ネットワーク)切り換えスイッチ

プロジェクターの通常の操作にリモートコマンダーを使用するときには、PJ(プロジェクター)側にします。本機のINPUT Bの画面を操作するときは、NETWORK(ネットワーク)側にします。このスイッチは、VPL-PX15にのみ有効です。

INPUT Bの画面の操作について詳しくは、付属の「取扱説明書(ネットワーク編)」をご覧ください。

㉒ COMMAND ON/OFF(コマンダー入/切)スイッチ
このスイッチをOFFにすると、リモートコマンダーのキーがすべて働かなくなります。使わないときにOFFにしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

㉓ 送信インジケーター

リモートコマンダーから送信しているときに点灯します。ただし、レーザーポインター使用時は点灯しません。

㉔ リモートコマンダー発光部

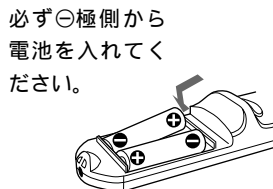
㉕ レーザー発光部

電池の入れかた

- 1** ふたをはずし、⊕と⊖の方向を確認して単3形(R6)乾電池2個(付属)を入れる。



上から押してスライドさせる。



必ず⊖極側から電池を入れてください。

- 2** ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意

警告 **注意**

- ・7(JP)ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。
- ・リモートコマンダーが正常に動かなかったり、レーザーが暗くなったりしたら、電池を交換してください。

レーザーに関するご注意

注意

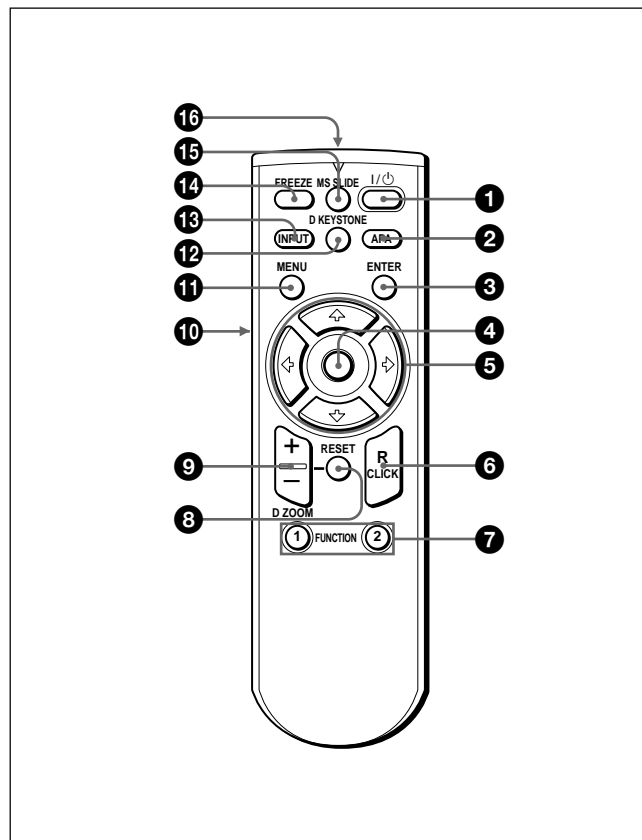
- ・リモートコマンダーのレーザー発光部をのぞき込むと、目に悪影響を与えることがあります。
- ・レーザーポインターを人に向けて使用しないでください。

リモートコマンダーのご注意

- ・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

リモートコマンダー(VPL-PS10に付属)

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



1 I / ⏻ (オン / スタンバイ) キー

2 APA (Auto Pixel Alignment) キー

3 ENTER (確定) キー

4 ジョイスティック

本機と接続しているコンピューターのマウス機能を操作します。

5 ↑ / ↓ / ← / → (矢印) キー

6 R CLICK (右クリック) キー

マウスの右ボタンの働きをします。

7 FUNCTION 1、2 (ファンクション1、2) キー

付属のアプリケーションソフトウェアを使用する場合に働きます。アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめ任意のファイルをファンクションキーに登録しておくと、このキーを押すだけでファイルを開くことができます。

付属のアプリケーションソフトウェアについて詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属のRead meファイルおよびヘルプをご覧ください。

(続く)

⑧ RESET (リセット) キー

メニューをリセットしたり、ズームした画像を1度で元の大きさに戻すときに使います。

⑨ D ZOOM (デジタルズーム) + / - キー

画面上の希望の位置を拡大することができます(デジタルズーム機能)。この機能は、コンピューターからの信号を入力しているときのみ働きます。

+ キー : 1度押すと、拡大する位置を示すアイコンが表示されます。↑/↓/←/→キーを使って拡大したい位置にアイコンを移動し、もう1度+キーを押すと、画像が拡大されます。

- キー : - キーを押すたびに、D ZOOM + キーで拡大した画面が縮小されます。

⑩ L CLICK (左クリック) キー

マウスの左ボタンの働きをします。

⑪ MENU (メニュー) キー

⑫ D KEYSTONE (デジタル台形補正) キー

投影角度によって画像が台形になってしまった場合、これを補正するときに押します。↑/↓/←/→キーを使って、画像が長方形になるように調整します。

⑬ INPUT (入力選択) キー

⑭ FREEZE (フリーズ) キー

投影している画面を静止させるとき使います。
解除するときはもう1度押します。

⑮ MS SLIDE (メモリースティックスライド) キー

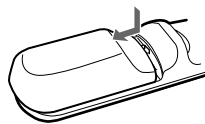
本機では使用しません。

⑯ リモートコマンダー発光部

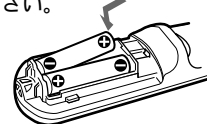
電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕と⊖の方向を確認して単3形(R6)乾電池2個(付属)を入れる。

上から押してスライドさせる。



必ず⊖極側から電池を入れてください。



2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意



- ・7(JP)ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。
- ・リモートコマンダーが正常に動かなかったら、電池を交換してください。

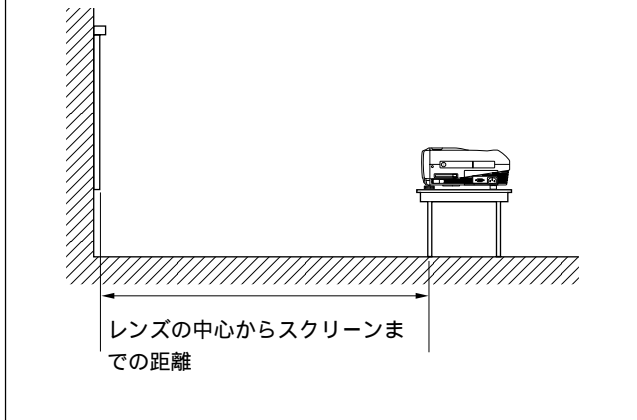
リモートコマンダーのご注意

- ・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
- ・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

持ち運んで設置する (床置き)

本機の設置方法を説明します。

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



単位：m

スクリーンサイズ (インチ)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
距離	最小	1.5	2.2	3.0	3.7	4.5	5.6	6.8	7.5	9.4	11.3
	最大	1.8	2.7	3.6	4.5	5.4	6.8	8.1	9.1	11.3	13.6

設置寸法について詳しくは、「設置例」(35(JP)ページ)をご覧ください。

天つりでご使用になる場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

接続する

接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画質の劣化や雑音の原因になります。また抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

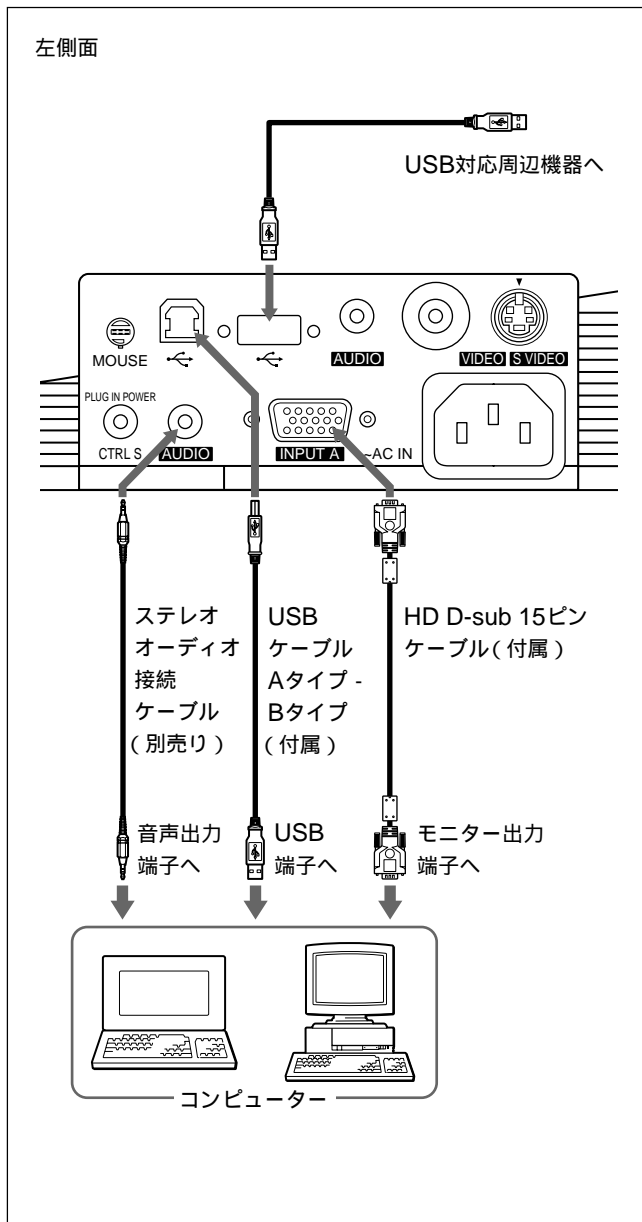
- 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターへの出力信号をXGA (VPL-PX15/PX10) またはSVGA (VPL-PS10) に設定することをおすすめします。
- ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。
詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- コンピューターの種類によっては、付属のマウスケーブルが使用できないことがあります。
- 本機は、DDC2B (Display Data Channel 2B) に対応しています。お使いのコンピューターがDDC¹⁾に対応している場合は、以下の手順に従って電源を入れてください。

- 1 プロジェクターとコンピューターを、付属のHD D-sub 15ピンケーブルで接続する。
- 2 プロジェクターの電源を入れる。
- 3 コンピューターを起動する。

1) DDCTM は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

IBM¹⁾ PC/AT¹⁾互換機を接続する場合

USBマウスやUSB対応の周辺機器を使うとき



USB機能について

USBケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターをはじめて接続すると、以下のデバイスがコンピューターに自動認識されます。

- 1 汎用USBハブ
- 2 USBヒューマンインターフェイスデバイス(ワイヤレスマウス機能)
- 3 USBヒューマンインターフェイスデバイス(プロジェクターコントロール機能)

上記以外に、プロジェクターのダウンストリーム用端子に接続したデバイスがお使いのコンピューターに認識されます。

推奨動作環境

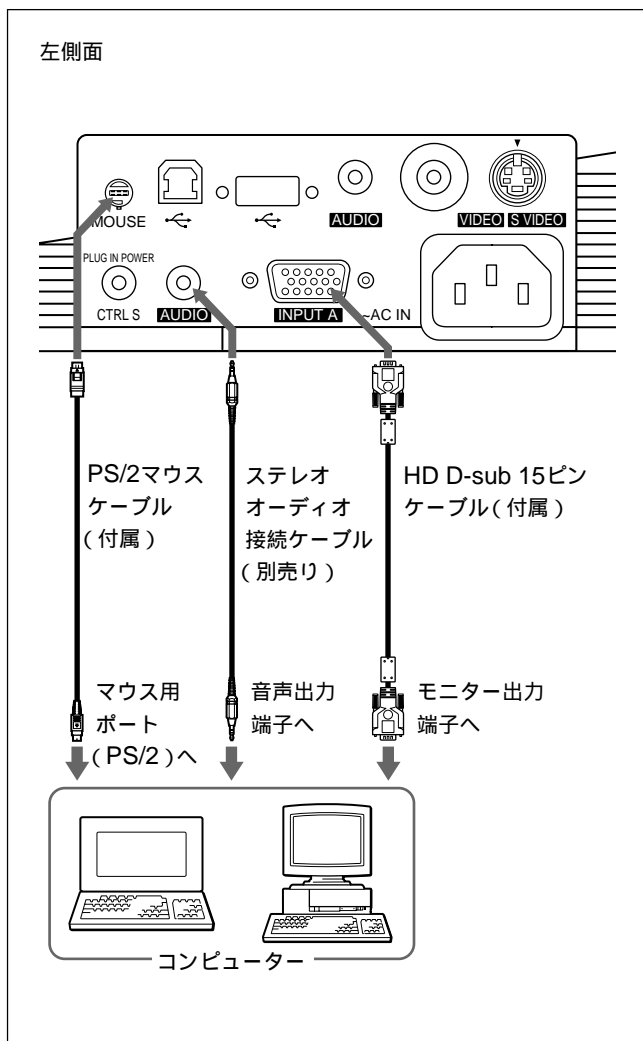
USB機能を使用する場合は、左の図のように接続してください。アプリケーションソフトウェアおよびUSB機能は、Windows 98、Windows 98 SEおよびWindows 2000を搭載したコンピューター上でご使用いただけます。

ご注意

- USB端子を使ってコンピューターを接続すると自動的にUSBマウスが認識されるので、MOUSE端子には何も接続しないでください。
- 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続したままコンピューターを起動させると、正しく起動しない場合があります。その場合は、1度接続をはずし、コンピューターを再起動してから、USBケーブルを接続してください。
- 本機はサスペンド・スタンバイモードを保証していません。サスペンド・スタンバイモードを行うときは、本機をコンピューターのUSBポートからはずしてください。
- 推奨環境のすべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

1) IBM®およびPC/ATは米国 International Business Machines Corporation の商標および登録商標です。

PS/2マウスポートを使うとき



Macintosh¹⁾を接続する場合

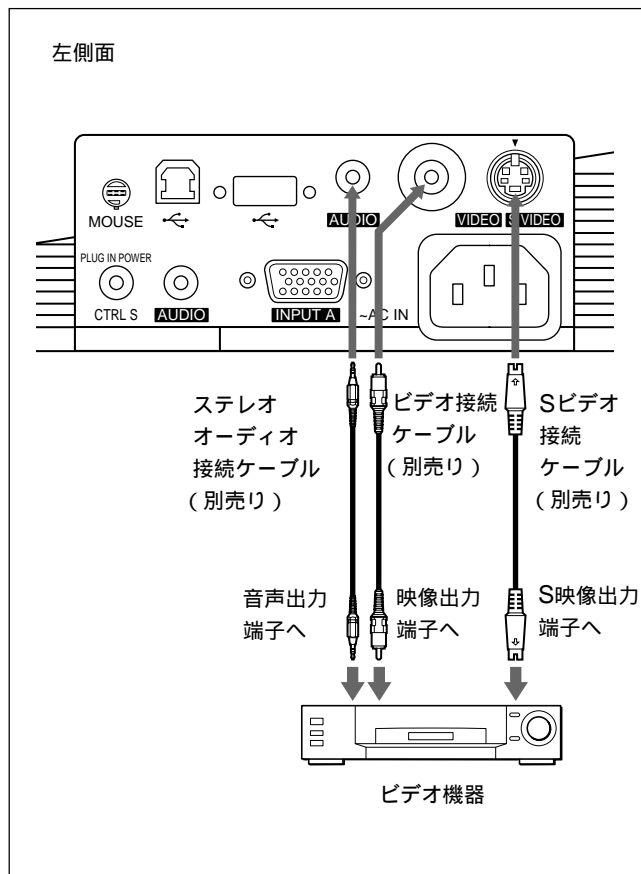
別売りのシグナルアダプターADP-20を使用してください。ただし、この場合本機のリモートコマンダーからマウスを操作することはできません。

ビデオ機器 / 15k RGB / コンポーネント機器を接続する

ここではビデオ機器や、15k RGB / コンポーネント機器を本機に接続する方法を説明します。

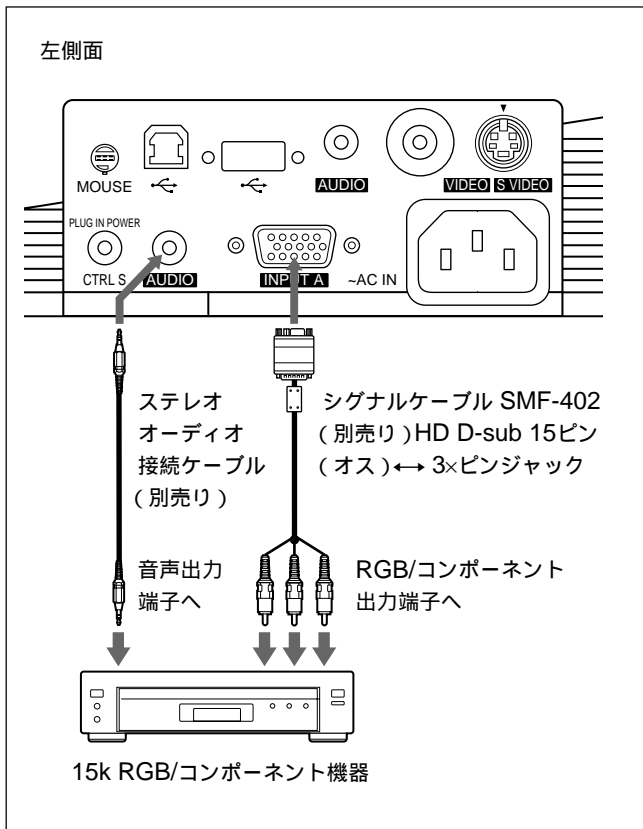
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ機器を接続する場合



1) MacintoshはApple Computer社の登録商標です。

15k RGB / コンポーネント機器を接続する場合



ご注意

- 入力する信号に応じて、信号設定メニューの「アスペクト」を設定してください。
設定のしかたは31 (JP) ページをご覧ください。
- 15k RGB / コンポーネント機器を接続する場合は、初期設定メニューの「入力A」の項目でコンピューター / コンポーネント / ビデオGBRを切り換えてください。
- 15k RGB / コンポーネント信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。

LANに接続する (VPL-PX15のみ)

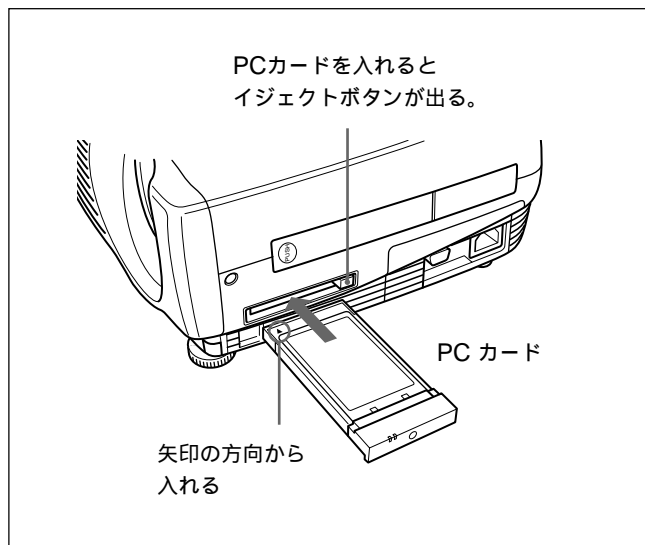
本機はネットワーク対応のプロジェクターです。ワイヤレスLAN PCカードを装着してワイヤレスでLANに接続したり、10BASE-T / 100BASE-TXのLANケーブルでLANに接続したりすることができます。また、PCメモリーカードを装着することもできます。ここでは、LANへの接続のしかたと、PCカードの装着について説明します。

LANに接続したり、メモリーカードを装着した場合は、設置設定メニューの「入力B機能」を「オン」に設定してください。

設定のしかたは34 (JP) ページをご覧ください。

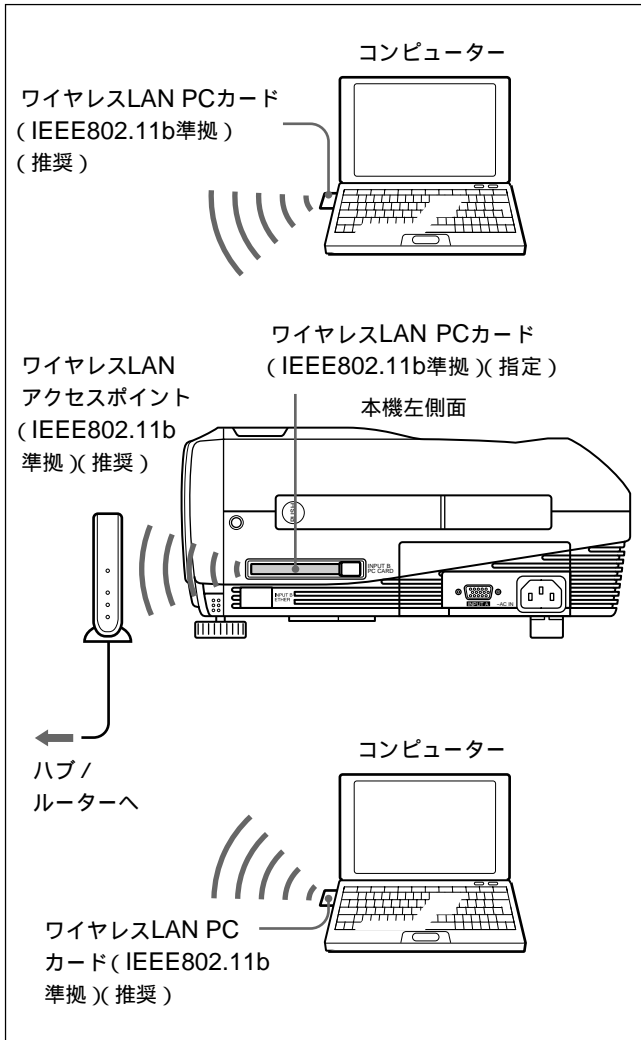
PCカードを取り付ける

メモリーカードを使用する場合やワイヤレスLANに接続する場合は、PCカードをプロジェクターのINPUT B PC CARD スロットに挿入します。

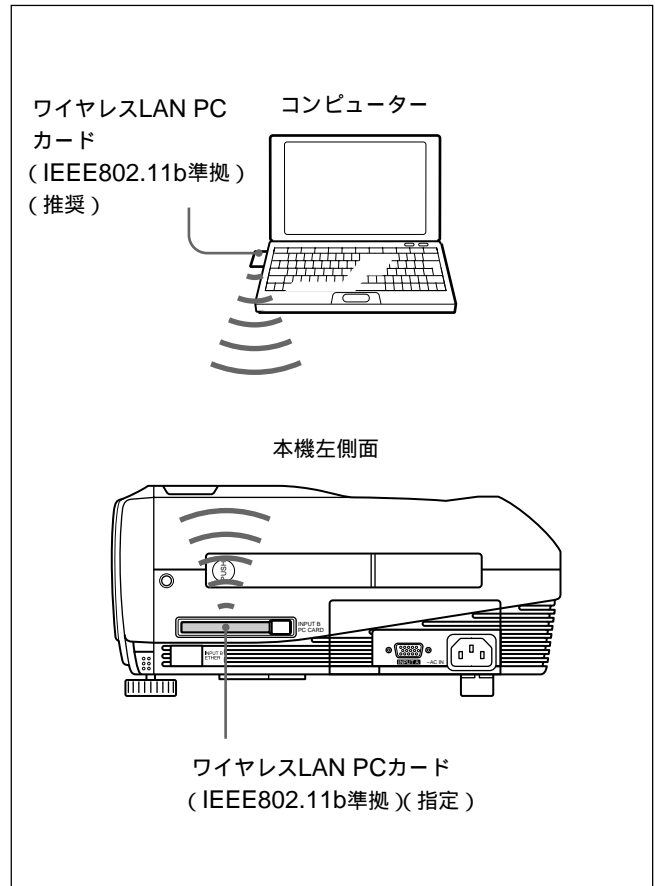


PCカードを取りはずすときは、イジェクトボタンを押してください。

ワイヤレスLAN PCカードを使った接続



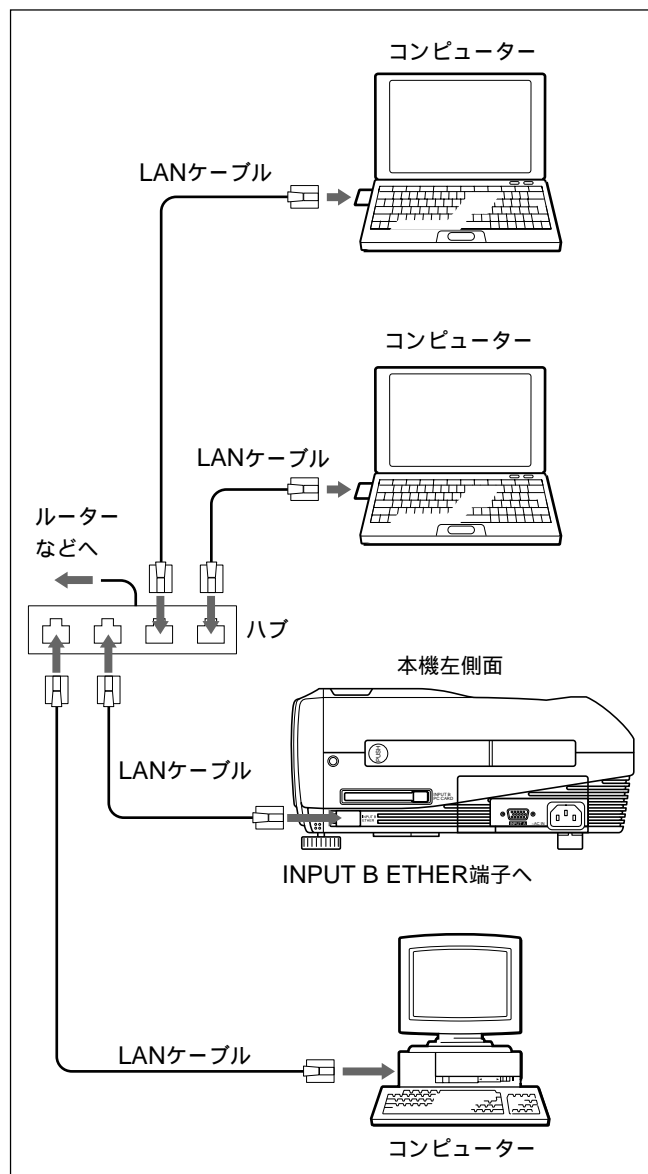
ワイヤレスLAN PCカードを使った接続
(ピアトゥピアモード)



ご注意

- 推奨PCカード、ワイヤレスLANアクセスポイントの詳細については、付属の「指定/推奨 PCカード/ワイヤレスLANアクセスポイント一覧」をご覧ください。
- LANに接続して使用するときには、IPアドレスの設定が必要です。IPアドレスなどの設定について詳しくは、付属の「取扱説明書(ネットワーク編)」をご覧ください。

ETHER (イーサー) 端子を使った接続



メモリーカードについて

Microsoft PowerPoint¹⁾で作成したファイルや画像ファイルなどを保存したメモリーカードをINPUT B PC CARD スロットに装着すると、コンピューターを接続していなくてもプロジェクターからプレゼンテーションを実行することができます。

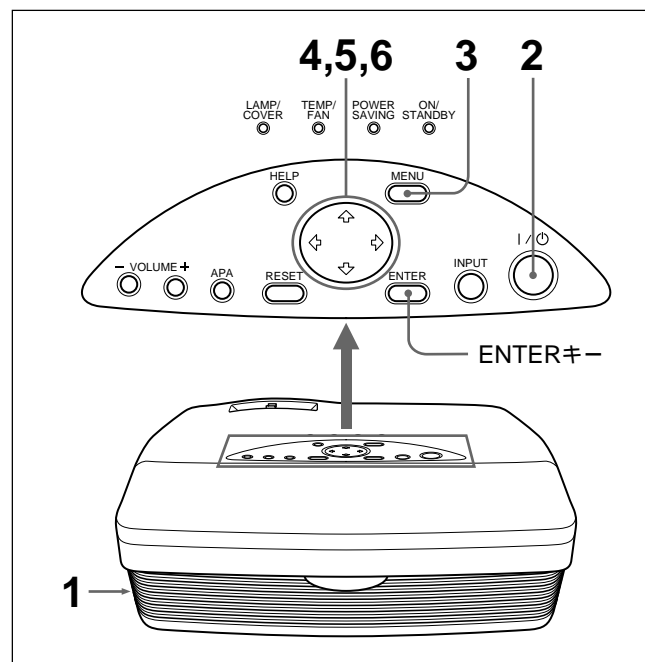
PCカードの装着、取りはずしについては、「PCカードを取り付ける」(22(JP)ページ)をご覧ください。

推奨するメモリーカードについては、付属の「指定 / 推奨 PCカード / ワイヤレスLAN アクセスポイント一覧」をご覧ください。

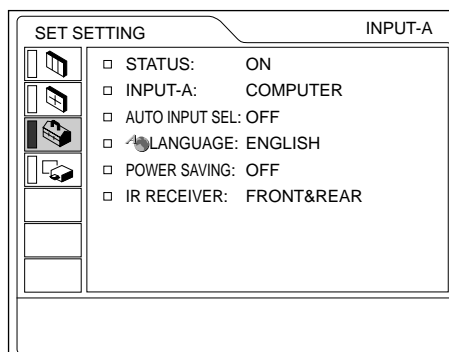
メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を9か国語の中から好きな言語に切り換えることができます。

工場出荷時は「ENGLISH」(英語)に設定されています。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 I/O キーを押して、電源を入れる。
- 3 MENU キーを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
- 4 ↑または↓キーを押して「SET SETTING」(初期設定)メニューを選び、→またはENTER キーを押す。
選んだメニューの設定項目が表示されます。



1)PowerPointは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

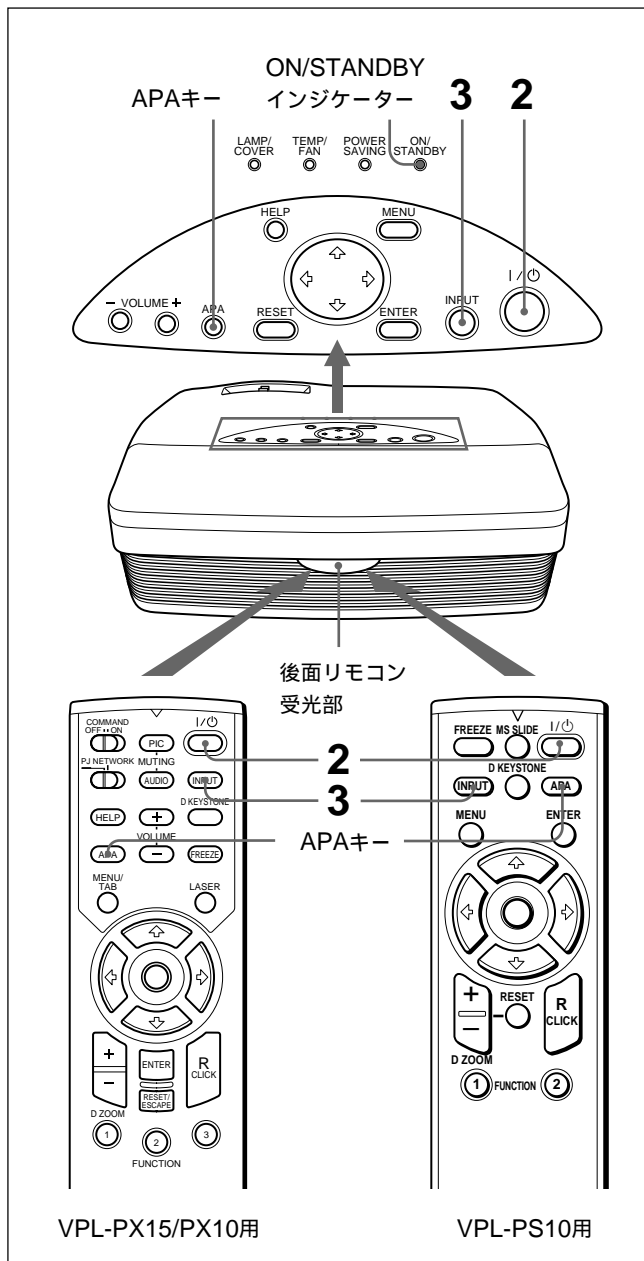
- 5 ↑または↓キーを押して「LANGUAGE (表示言語)」を選び、
→またはENTERキーを押す。
- 6 ↑または↓キーを押して表示させたい言語を選び、←または
ENTERキーを押す。
画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

スクリーンに画像を映す



- 1 各機器の接続が終了したら、電源コードをコンセントに差し込む。
ON/STANDBYインジケータが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

- 2 I/Oキーを押して、電源を入れる。
ON/STANDBYインジケータが緑色に点灯します。

- 3 接続した機器の電源を入れ、INPUTキーを押して、投影する機器を選ぶ。

入力A: コンピューターなど、INPUT A 端子につないだ機器の映像信号を入力するとき。

入力B (VPL-PX15のみ): INPUT B (Windows CE) の画面を表示するとき。

ビデオ: 映像入力端子のVIDEO端子につないだビデオ機器の映像信号を入力するとき。

Sビデオ: 映像入力端子のS VIDEO端子につないだビデオ機器の映像信号を入力するとき。

- 4 ズームリングを回して、画像の大きさを調整する。

- 5 フォーカスリングを回して、フォーカスを調整する。

警告

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

映像を一時的に消すには

リモートコマンダーのPIC MUTINGキーを押します (VPL-PX15/PX10のみ)

再び映像を出すには、もう1度PIC MUTINGキーを押します。

くっきりとした画像を得るには

コンピューターからの信号を入力しているときは、画質を自動的に調整することができます。APAキーを押してください。くっきり見える位置に画像を合わせることができます。

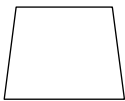
ご注意

- 調整は、コンピューターの画面が静止画のときに行ってください。
- APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。画像のまわりに黒い部分が残っている状態で押すと、正しくAPA機能が動かず、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。
- 入力を切り換えたり、コンピューターを接続し直したときは、もう一度APAキーを押してください。
- 調整中は「調整中」というメッセージが表示されます。調整中にもう一度APAキーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 正しく調整されると「終了しました!」というメッセージが画面に表示されます。信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するとき、信号設定メニューの項目を調整してください。
信号設定メニューについて詳しくは、30(JP)ページをご覧ください。

画が台形に映っているときは

投影した画像が台形になってしまった場合は、リモートコンマnderのD KEYSTONEキーを押すか、設置設定メニューの「デジタル台形補正」を調整して補正してください。

画像の上辺より下辺が長い場合(下図参照)



マイナス方向に数値を設定します。

画像の下辺より上辺が長い場合(下図参照)



プラス方向に数値を設定します。

「デジタル台形補正」について詳しくは、34(JP)ページをご覧ください。

電源を切る

- 1 I / ⏻キーを押す。
「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージはI / ⏻キー以外のキーを押すか、5秒間何もキーを押さないと消えます。

- 2 I / ⏻キーを再び押す。
ON/STANDBYインジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約90秒間回り続けます。はじめの60秒間は速い間隔で点滅します。この間は再びI / ⏻キーを押しても電源を入れることはできません。
- 3 ファンが止まり、ON/STANDBYインジケーターが赤色に点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順1、2の操作のかわりにI / ⏻キーを約1秒押したままにしても電源を切ることができます。

ご注意

ファンが回っている間は、電源コードを抜かないでください。ファンが止まり、本機内部の温度が充分下がらないため、故障の原因となることがあります。

エアフィルターについて

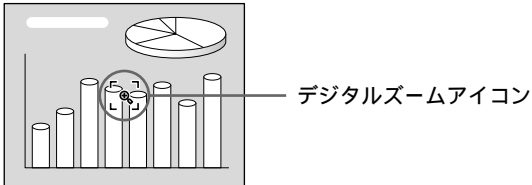
本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアフィルターのクリーニングを行ってください。

画面を拡大する(デジタルズーム機能)

画面上の希望の位置を拡大できます。

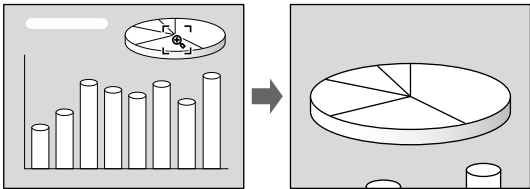
この機能は、コンピューターからの信号を入力しているときのみ働きます。

- 1 通常の画面を映し、リモートコンマnderのD ZOOM + キーを押す。
画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。

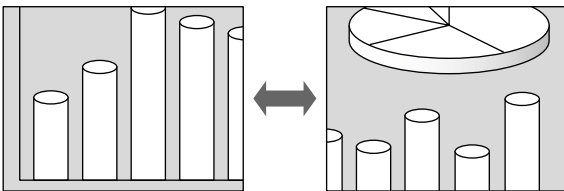


- 2 ↑/↓/←/→キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

- 3 もう1度D ZOOM + キーを押す。
アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。+ キーを押すごとに拡大率が上がります(最大4倍)



また、この状態で↑/↓/←/→キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像を元の大きさに戻すには
D ZOOM - キーを押します。1度で元の大きさに戻すにはRESET
キーを押します。

投影している画面を静止させる(フリーズ機能)

リモートコンマnderのFREEZEキーを押すと投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。

この機能は、コンピューターからの信号を入力しているときのみ働きます。

元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう1度押します。

レーザーポインターを使うには(VPL-PX15/
PX10のみ)

リモートコンマnderのLASERキーを押すと、レーザーが出力されます。画面のポインターとして使うと便利です。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

ご注意

(VPL-PX15/PX10のみ)

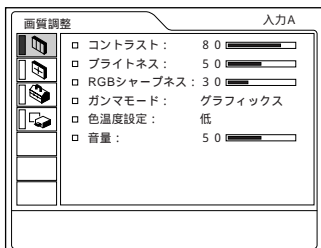
操作の前に、リモートコンマnderのPJ / NETWORK 切り換えスイッチがPJの位置にあることを確認してください。NETWORKに設定されていると、リモートコンマnderのMENUキーを押してもメニュー画面は表示されません。

メニューの言語を変えるには、24(JP)ページをご覧ください。

1 MENUキーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。

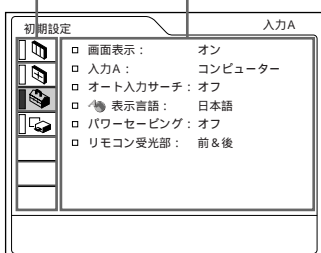
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



2 ↑または↓キーを押してメニューを選び、→またはENTERキーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

メニュー 設定項目



3 項目を選ぶ。

↑または↓キーを押して設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

4 設定項目の調整や設定をする。

詳しくは、それぞれのメニューのページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

RESETキーを押す。

「終了しました!」というメッセージが表示され、画面に表示中の設定値が工場出荷時の値に戻ります。

リセットできる項目は以下のとおりです。

- 画質調整メニューの「コントラスト」、「ブライツネス」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「RGBシャープネス」
- 信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「サイズH」、「シフト」
- 設置設定メニューの「デジタル台形補正」

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「入力信号がないときはこの項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。このとき各項目を調整することはできません。

メニューの表示について

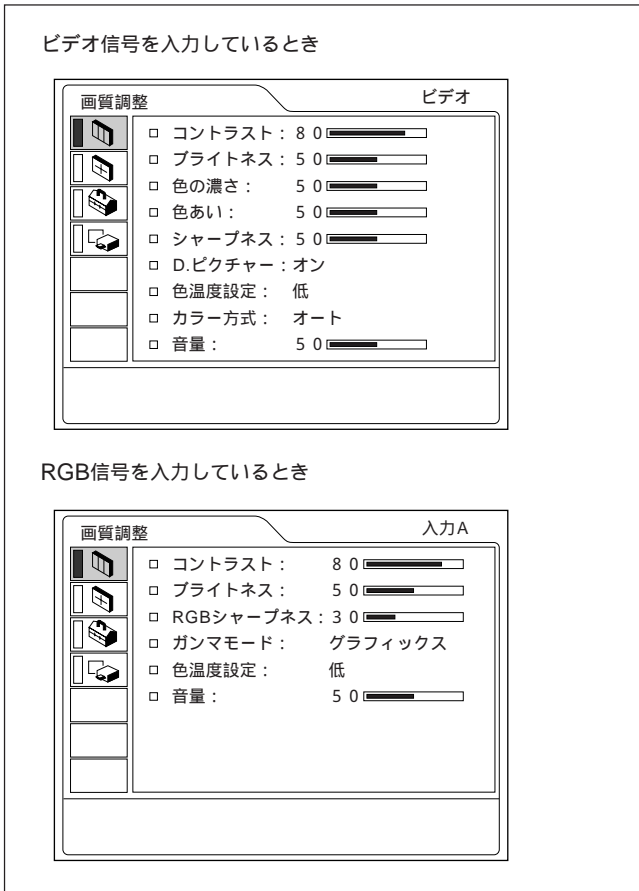
メニューの表示位置、背景色の濃さ、メニューの色をお好みに応じて変更することができます。

詳しくは、34(JP)ページをご覧ください。

画質調整メニュー

画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

• 数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

• 設定を選ぶ場合：

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

コントラスト

コントラストを調整します。

設定値が大きくなると強くなり、小さくなると弱くなります。

ブライトネス

明るさを調整します。

設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色あい

色あいを調整します。

設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

シャープネスを調整します。

設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

RGBシャープネス

RGB信号の入力時にシャープネスを調整します。

設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

D(ダイナミック).ピクチャー

黒の強調をします。

オン：黒をより黒く再現し、メリハリのきいた画面にします。

オフ：画面の暗い部分を、映像ソースに忠実に再現します。

ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。

グラフィックス：中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。

テキスト：白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

色温度設定

画像に合わせて好みの色温度を選びます。

高：画像の白い部分を青みがかった白にします。

低：画像の白い部分を赤みがかった白にします。

カラー方式

カラーシステムを選びます。

オート：NTSC^{3.58}、PAL、SECAM、NTSC^{4.43}の中から自動判別

PAL-M/N：PAL-M/PAL-N、NTSC^{3.58}の中から自動判別

通常は「オート」にしておくと、自動的に判別します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式に合わせて選択してください。

音量

音量を調節します。入力A、入力B(VPL-PX15のみ)、ビデオ、Sビデオ入力のそれぞれで調節することができます。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	ビデオGBR	RGB ¹⁾
コントラスト				
ブライトネス				
色の濃さ (白黒信号を除く)				×
色あい (NTSC 3.58/ 4.43のみ)				×
シャープネス				×
RGBシャープネス	×	×	×	
D.ピクチャー			×	×
ガンマモード	×	×	×	
色温度設定				
カラー方式		×	×	×
音量				

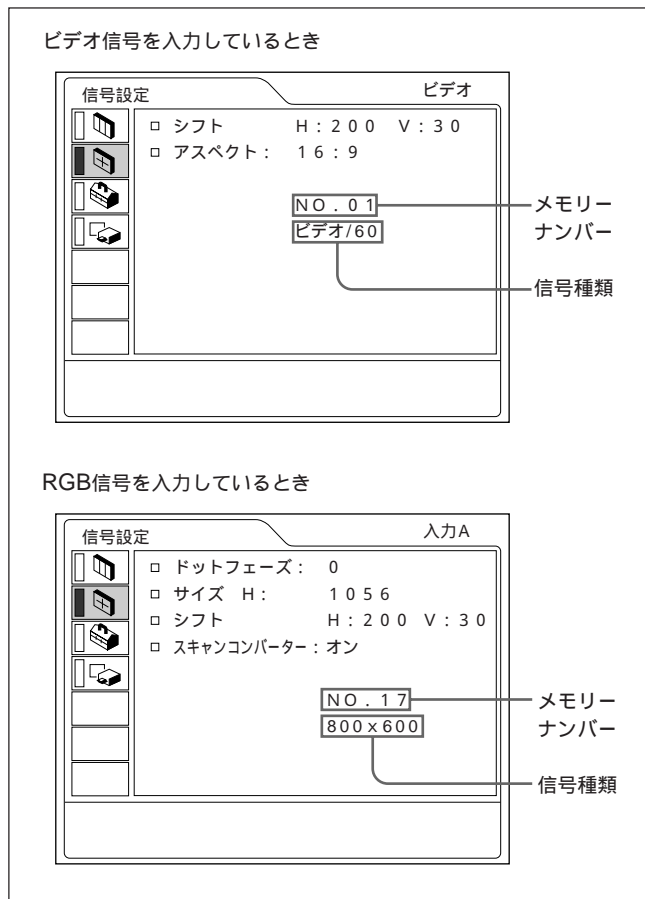
：調整・設定できる項目 ×：調整・設定できない項目

1) コンピューターのRGB信号

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

・数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

・設定を選ぶ場合：

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

ドットフェーズ

LCDパネルとINPUT A/B端子から入力される信号の位相を調整します。APAキーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせた場合に調整します。

画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。

サイズH

INPUT A/B端子から入力される画像の水平方向の大きさを調整します。

設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。プリセット信号に対するサイズは、32(JP)ページをご覧ください。

シフト

INPUT A/B端子および映像入力端子から入力される画像の位置を調整します。

Hで水平方向の位置を、Vで垂直方向の位置を調整します。

Hの設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。

Vの設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

←または→キーで水平方向の位置を、↑または↓キーで垂直方向の位置を設定します。

アスペクト

画面のアスペクト(縦横比)を選びます。

DVD機器などから16:9(スクイーズ)信号を入力する場合、「16:9」に設定してください。

4:3:4:3の映像を入力しているときに選びます。

16:9:16:9(スクイーズ)の映像を入力しているときに選びます。

スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに画像を表示します。

オン: 画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。

オフ: 入力画素数をLCDの1ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

ご注意

次の場合、この項目は表示されません。

VPL-PX15/PX10: XGA、SXGA 信号を入力した場合。

VPL-PS10: SVGA、XGA、SXGA 信号を入力した場合。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	ビデオGBR	RGB ¹⁾
ドットフェーズ	×	×	×	
サイズH	×	×	×	
シフト				
アスペクト				×
スキャンコンバーター	×	×	×	²⁾

: 調整・設定できる項目 ×: 調整・設定できない項目

1) コンピューターのRGB信号

2) VPL-PX15/PX10: SVGA以下のみ。VPL-PS10: VGA以下のみ。

プリセットメモリーナンバーについて

本機には、あらかじめ37種類の映像データがプリセットされています(プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、現在投影中の映像データのメモリーナンバーと信号種類が表示されます。本機は入力信号を自動的に判別し、その信号がプリセットメモリーに登録してある場合は、このメモリー内のデータを読み出し、最適な画面を表示します。また、この呼び出されたデータは信号設定メニューで調整することもできます。

また、プリセットデータとは別に、入力A/Bそれぞれに20個のユーザーメモリーがあります。プリセットされた信号以外の信号が入力され、はじめての場合は、メモリーナンバー0と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合は登録されますが、それぞれの入力で登録数が20個を超えると、古いデータから順番に上書きされます。

プリセット信号一覧

メモリー ナンバー	プリセット信号	fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ H
1	ビデオ 60 Hz	15.734	59.940	H-負 V-負	
2	ビデオ 50 Hz	15.625	50.000	H-負 V-負	
3	480/60 i	15.734	59.940	S on G/Y または コンボシフト	
4	575/50 i	15.625	50.000		
6	640 x 350 VGA モード1	31.469	70.086	H-正 V-負	800
7	VGA VESA ¹⁾ 85Hz	37.861	85.080	H-正 V-負	832
8	640 x 400 PC-9801 ²⁾ ノーマル	24.823	56.416	H-負 V-負	848
9	VGA モード2	31.469	70.086	H-負 V-正	800
10	VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H-負 V-正	832
11	640 x 480 VGA モード3	31.469	59.940	H-負 V-負	800
12	Macintosh 13"	35.000	66.667	H-負 V-負	864
13	VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H-負 V-負	832
14	VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H-負 V-負	840
15	VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H-負 V-負	832
16	800 x 600 SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H-正 V-正	1024
17	SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	H-正 V-正	1056
18	SVGA VESA 72Hz	48.077	72.188	H-正 V-正	1040
19	SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	H-正 V-正	1056
20	SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	H-正 V-正	1048
21	832 x 624 Macintosh 16"	49.724	74.550	H-負 V-負	1152
22	1024 x 768 XGA VESA 43Hz	35.524	43.479	H-正 V-正	1264
23	XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H-負 V-負	1344
24	XGA VESA 70Hz	56.476	69.955	H-負 V-負	1328
25	XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H-正 V-正	1312
26	XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H-正 V-正	1376
27	1152 x 864 SXGA VESA 70Hz	63.995	70.016	H-正 V-正	1472
28	SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H-正 V-正	1600
29	SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H-正 V-正	1568
30	1152 x 900 Sunmicro LO	61.795	65.960	H-負 V-負	1504
31	Sunmicro HI	71.713	76.047	コンボシフト	1472
32	1280 x 960 SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H-正 V-正	1800
33	SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H-正 V-正	1728
34	1280 x 1024 SXGA VESA 43Hz	46.433	43.436	H-正 V-正	1696
35	SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36	SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H-正 V-正	1696
37	SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H-正 V-正	1688
38	SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H-正 V-正	1530

1) VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

2) PC-98 は日本電気(株)の商標です。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータを読み出すため、「サイズ H」を変更してください。

「サイズ H」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

信号	メモリーナンバー	サイズ H
Super Mac-2	23	1312
SGI-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
Macintosh 21"	27	1456
Sony News	36	1708
PC-9821 1280 x 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

ご注意

アスペクト(縦横比)が4:3以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

画面表示

画面表示の設定をします。

オン：画面表示をすべて表示します。

オフ：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。

警告メッセージについては、40(JP)ページをご覧ください。

入力A

INPUT A端子に入力される信号を、コンピューター信号、コンポジット信号、ビデオGBR(15k RGB)信号から選びます。

ご注意

この設定を正しく行わないと色がおかしくなったり、「入力Aの設定を確認してください。」というメッセージが出て映像が出ないことがあります。

オート入力サーチ

「オン」に設定した場合、電源投入時またはINPUTキーが押されたときに、入力A / 入力B(VPL-PX15のみ) / ビデオ / Sビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。

表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。

「ENGLISH」(英語)、「FRANÇAIS」(フランス語)、「DEUTSCH」(ドイツ語)、「ITALIANO」(イタリア語)、「ESPAÑOL」(スペイン語)、「日本語」、「中文」(中国語)、「PORTUGUÊS」(ポルトガル語)、「한국어」(韓国語)から選ぶことができます。

パワーセービング

「オン」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとパワーセービングになります。

リモコン受光部

本体前面と後面のリモコン受光部の設定をします。

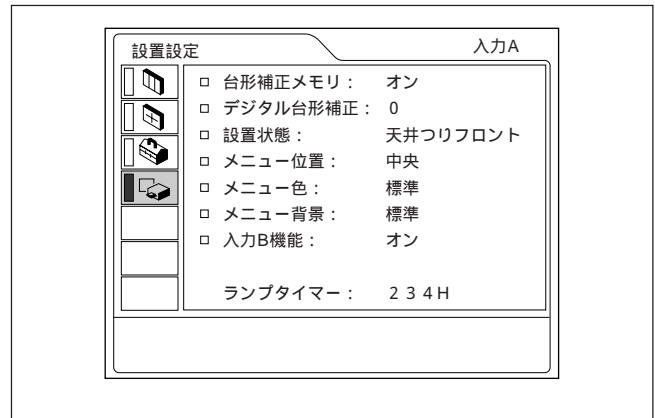
前&後：前面と後面のリモコン受光部を両方動かせるとき。

前：前面のリモコン受光部だけを動かせるとき。

後：後面のリモコン受光部だけを動かせるとき。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



「入力B機能」は、VPL-PX15のみ表示されます。

操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

・数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

・設定を選ぶ場合：

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

台形補正メモリ

オン：「デジタル台形補正」の項目で調整された情報を記憶します。記憶後は、補正情報が自動的に呼び出され、毎回同じ条件での投影ができるようになります。

オフ：次に電源を入れたときに「デジタル台形補正」の値は0にリセットされます。

デジタル台形補正

投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。

画像の上の辺を基準にして、下の辺の方が短いときはプラス方向に、長いときはマイナス方向に数値を設定して、画像が長方形になるように調整します。

設置状態

画像を水平または垂直方向に反転します。

床置きフロント：画像は反転しません。

天井つりフロント：画像を水平、垂直方向に反転します。

床置きリア：画像を水平方向に反転します。

天井つりリア：画像を垂直方向に反転します。

ご注意

鏡などを用いる場合は、画像が反転することがありますので、設置の際はご注意ください。

メニュー位置

メニューの表示位置を変えることができます。

「左上」、「左下」、「中央」、「右上」、「右下」から選択します。

メニュー色

メニュー表示のトーンを変えることができます。

「標準」、「ブラウン」、「ブルー」、「グリーン」、「グレー」から選択します。

メニュー背景

メニューの背景色(ハーフトーン)の濃さを変えることができます。

「暗」、「標準」、「明」から選択します。

入力B機能(VPL-PX15のみ)

Windows CEの機能を使用するときは「オン」に設定します。

ご注意

設定を「オン」から「オフ」に切り換えるときは、必ずすべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。アプリケーションの実行中に行くと、システムが壊れて再起動できなくなることがあります。

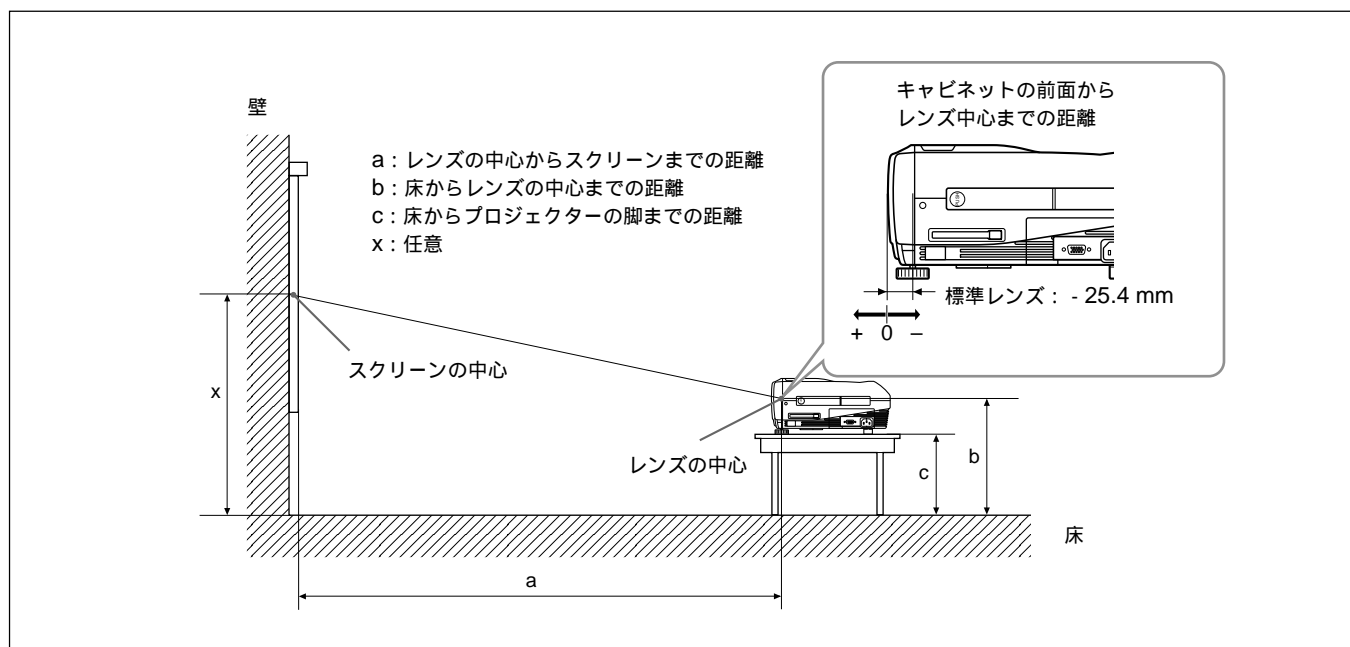
ランプタイマー

ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

この項目は、表示のみです。変更はできません。

設置例



VPL-PX15/PX10

単位 : mm

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1458	2217	2977	3736	4495	5635	6774	7533	9432	11330
	最大	1764	2675	3586	4497	5408	6774	8141	9052	11329	13607
b		x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
c		x-388	x-541	x-693	x-845	x-998	x-1226	x-1455	x-1607	x-1988	x-2369

設置寸法の計算方法 (単位: mm)

SS: スクリーンサイズ対角 (インチ)

$$a_{\text{最小値}} = \{ (SS \times 33.60 / 0.9071) - 59.7012 \} \times 1.025$$

$$a_{\text{最大値}} = \{ (SS \times 42.376846 / 0.9071) - 59.62151 \} \times 0.975$$

$$b_{\text{値}} = x - (SS / 0.9071 \times 6.912)$$

$$c_{\text{値}} = x - (SS / 0.9071 \times 6.912 + 83.4)$$

VPL-PS10

単位 : mm

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1461	2221	2982	3742	4503	5644	6784	7545	9446	11348
	最大	1767	2680	3592	4505	5417	6786	8154	9067	11348	13629
b		x-305	x-458	x-611	x-763	x-916	x-1145	x-1374	x-1527	x-1908	x-2290
c		x-389	x-541	x-694	x-847	x-999	x-1228	x-1457	x-1610	x-1992	x-2373

設置寸法の計算方法 (単位: mm)

SS: スクリーンサイズ対角 (インチ)

$$a_{\text{最小値}} = \{ (SS \times 33.59 / 0.9055) - 59 \} \times 1.025$$

$$a_{\text{最大値}} = \{ (SS \times 42.370377 / 0.9055) - 58.9761 \} \times 0.975$$

$$b_{\text{値}} = x - (SS / 0.9055 \times 6.912)$$

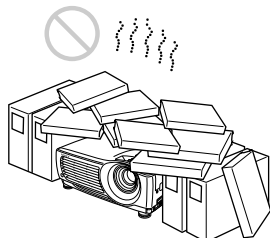
$$c_{\text{値}} = x - (SS / 0.9055 \times 6.912 + 83.4)$$

設置時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所

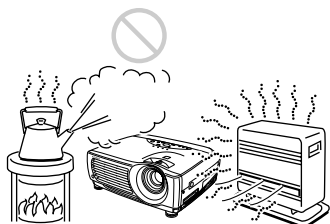


・吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。

吸気口や排気口がふさがっていると、内部の温度が上昇して温度センサーが働き、警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れることがあります。

- ・本機の周囲から5 cm以内には物を置かないようにしてください。
- ・吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

ほこりが多い場所

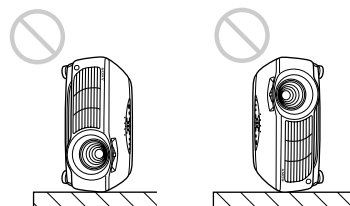


ほこりの多い場所での使用は避けてください。ちりやほこりの多い場所で使用すると、エアフィルターがつまりやすくなります。また、エアフィルターの汚れは、内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

使用に適さない状態

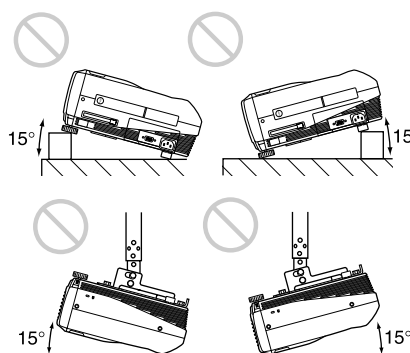
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用する



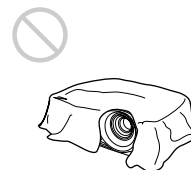
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を前後左右に15°以上傾ける



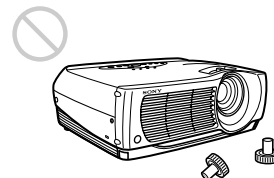
プロジェクターを15°以上前後に傾けて設置すると、色ムラやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う



吸気口および排気口をふさぐような覆いやカバーを使用しないでください。吸気口および排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

アジャスターをはずして使用する



アジャスターをはずしたまま使用しないでください。底面の吸気口がふさがれると、内部の温度が上昇する原因となります。

メンテナンス

⚠ 注意

- ・ランプが破損している場合は、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用ハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
- ・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

ランプを交換する

光源のランプが切れたり、暗くなったり「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたら、新しいランプと交換してください。ランプの寿命はその使用条件によって変わってきます。メッセージは約1500時間で表示されます。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプLMP-P202をお使いください。

プロジェクターを使用した後にランプを交換する場合はプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ランプを冷やすため、1時間以上たってからランプを交換してください。

⚠ 警告

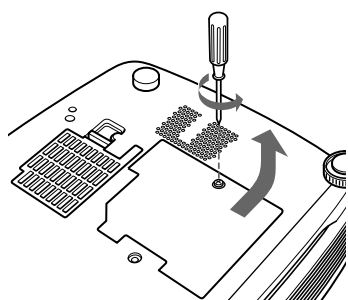
⏻キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプを十分に冷やすため、ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから1時間以上たってから行ってください。

- 1 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、プロジェクター本体のハンドルを持ってプロジェクターを裏返しにする。

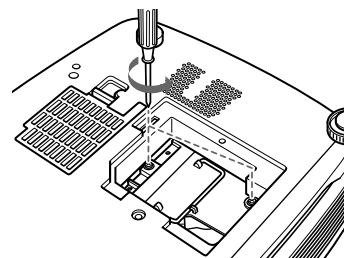
⚠ 注意

ランプ交換は水平で安定した場所で行ってください。

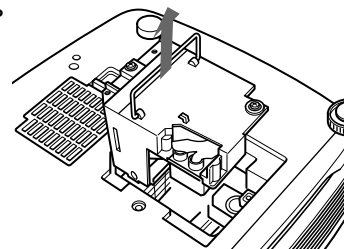
- 2 ランプカバーのネジ(1本)をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを横にスライドさせて取りはずす。



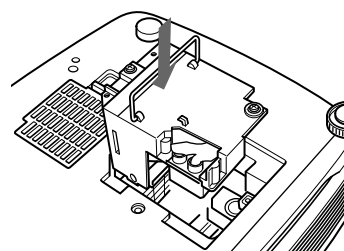
- 3 ランプのネジ(2本)をプラスドライバーでゆるめる。



- 4 取り出し用ハンドルを持ってランプを水平にし、まっすぐ上に引き出す。



- 5 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ランプのネジ(2本)を締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。



⚠ 注意

- ・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
- ・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 6 ランプカバーを閉め、ネジ(1本)を締める。
- 7 プロジェクターの向きを元に戻す。
- 8 電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。
- 9 コントロールパネルのキーをRESETキー、←キー、→キー、ENTERキーの順に、それぞれ5秒以内に押す。

⚠ 警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

ご注意

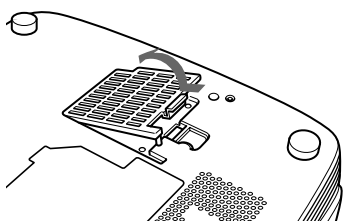
- ・新しいランプは、必ず交換用ランプ LMP-P202をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- ・ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアフィルターが汚れてきたら

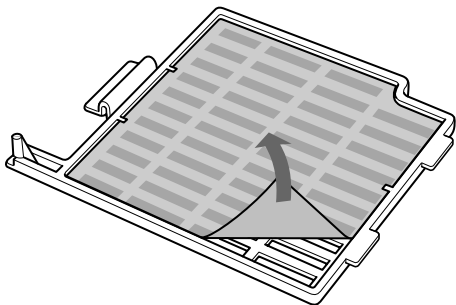
約300時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。フィルターのほこりが取れにくくなったときは、新しいフィルターと交換してください。

以下の手順に従って、エアフィルターをクリーニングしてください。

- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 プロジェクター底面のエアフィルターカバーをはずす。



- 3 エアフィルターをはずす。



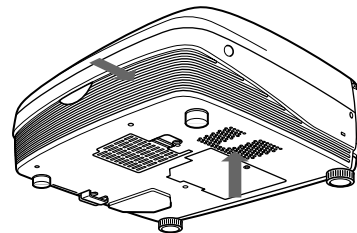
- 4 中性洗剤をうすめた液で洗ったあと日陰で乾かす。

- 5 エアフィルターカバーのツメにエアフィルターをかけてエアフィルターをはめ、エアフィルターカバーをプロジェクターに取り付ける。

ご注意

- ・エアフィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアフィルターと交換してください。
- ・エアフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- ・エアフィルターを入れるときは、フィルターカバーの切り欠きのある部分に合わせて入れてください。

後面と底面の吸気口のクリーニングについて
エアフィルターのクリーニングを行う際に、後面と底面の吸気口のクリーニングも行ってください。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。



トラブル時の対処

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因	対処
電源が入らない。	I / O キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。	約90秒たってから電源を入れてください。 (26(JP)ページ)
	ランプカバーがはずれている。	ランプカバーをしっかりとはめてください。(37(JP)ページ)
	エアフィルターカバーがはずれている。	エアフィルターカバーをしっかりとはめてください。 (38(JP)ページ)

映像に関する項目

症状	原因	対処
映像が映らない。	ケーブルがはずれている、または正しく接続されていない。	接続を確認してください。(19(JP)～24(JP)ページ)
	入力切り換えが正しくない。	INPUT キーで正しく選んでください。(25(JP)ページ)
	映像がミュートされている。	PIC MUTING キー(VPL-PX15/PX10用リモートコマンダー使用時のみ)を押して、ミュートを解除してください。(15(JP)ページ)
	出力信号をコンピューターの外部モニターに出力するように設定していない。	出力信号をコンピューターの外部モニターに出力するように設定してください。(19(JP)ページ)
	出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定している。	出力信号を外部モニターだけに出力するように設定してください。(19(JP)ページ)
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数とLCDの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることもある。	お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」の設定が「オフ」になっている。	初期設定メニューの「画面表示」の設定を「オン」にしてください。(33(JP)ページ)
INPUT B の画面がフリーズした。 (VPL-PX15のみ)	ネットワーク機能に不具合が生じた。	設置設定メニューの「入力B機能」の設定を「オフ」にし、再び「オン」に設定してください。(34(JP)ページ)
ビデオ映像の色がおかしい。	入力信号のカラー方式が正しくない。	画質調整メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(30(JP)ページ)

音声に関する項目

症状	原因	対処
音が出ない。	ケーブルがはずれている、または正しく接続されていない。	接続を確認してください。(19(JP)～24(JP)ページ)
	音声がミュートされている。	AUDIO MUTING キー(VPL-PX15/PX10用リモートコマンダー使用時のみ)を押して、ミュートを解除してください。(15(JP)ページ)
AUDIO 端子から音声を入力しているとき、片側からしか音が出ない。	AUDIO 端子にモノラル音声が入力されている。	ステレオ音声を入力してください。

その他の項目

症状	原因	対処
LAMP/COVER インジケータが点滅する。	ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれている。	カバーをしっかりとはめてください。(37(JP)、38(JP)ページ)
LAMP/COVER インジケータが点灯する。	ランプの寿命が来た。 ランプが高温になっている。	ランプを交換してください。(37(JP)ページ) 90秒以上たって、ランプが冷えてから、もう1度電源を入れてください。(26(JP)ページ)
TEMP/FAN インジケータが点滅する。	ファンが故障している。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
TEMP/FAN インジケータが点灯する。	内部が高温になっている。	排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケータが2つとも点灯する。	電気系統が故障している。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
INPUT B の画面が出ない、または INPUT B を選べない。(VPL-PX15のみ)	「入力B機能」が「オフ」に設定されている。	設置設定メニューの「入力B機能」を「オン」に設定してください。(34(JP)ページ)
リモートコマンダーでMENUキーを押してもメニュー画面が出ない。(VPL-PX15/PX10用リモートコマンダー使用時のみ)	PJ / NETWORK 切り換えスイッチが NETWORK 側になっている。	PJ / NETWORK 切り換えスイッチをPJ側にして、MENUキーを押してください。

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味	対処
セット内部温度が高いです。 1分後にLAMP オフします。	内部の温度が高くなった。	電源を切ってください。 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています!	対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 接続するコンピューターの外部モニターへの出力信号の設定が高い。	対応範囲内の信号を入力してください。 出力信号の設定をXGA(VPL-PX15/PX10)またはSVGA(VPL-PS10)にしてください。(19(JP)ページ)
入力Aの設定を確認してください。	初期設定メニューの「入力A」が「コンポーネント」または「ビデオGBR」に設定されているのに、コンピューターからRGB信号を入力した。	「入力A」を正しく設定してください。(33(JP)ページ)
ランプを交換してください。	ランプの交換時期が来た。	ランプを交換してください。
Backup Battery Very Low (VPL-PX15のみ)	ネットワークのバックアップ電池が消耗した。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味	対処
入力信号がありません	本体に何も入力されていない。	接続を確認してください。(19(JP)～24(JP)ページ)
無効キーが押されました!	操作が正しくない。	正しいキーを押してください。

本機の性能を保持するために

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- ・集光型のダウンライトにする。
- ・蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- ・太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- ・光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- ・キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください（約300時間ごと）。

結露について

プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色ムラや明るさのムラが見える場合もあります。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーシステムサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	— ¹⁾	YP332
コネクタ型名	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
コード型名	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安

1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

光学系

投影方式	3LCD パネル、1 レンズ、3 原色光シャッター方式
LCD パネル	VPL-PX15/PX10 : 0.9 インチマイクロレンズアレイ付き TFT LCD パネル、 2,359,296 画素 (786,432 × 3) VPL-PS10 : 0.9 インチ TFT LCD パネル、 1,440,000 画素 (480,000 × 3)
レンズ	1.3 倍ズームレンズ (マニュアル) f 33.6 ~ 42 mm / F 1.7 ~ 2.1
ランプ	200 W UHP
投影画面サイズ	40 インチ ~ 300 インチ
光出力	VPL-PX15/PX10 : 2000 ANSI ¹⁾ lm VPL-PS10 : 1500 ANSI lm
投影距離 (床置き)	
XGA 入力時 (VPL-PX15/PX10)	

スクリーンサイズ (インチ)	距離 (mm)
40	1458 ~ 1764
60	2217 ~ 2675
80	2977 ~ 3586
100	3736 ~ 4497
120	4495 ~ 5408
150	5635 ~ 6774
180	6774 ~ 8141
200	7533 ~ 9052
250	9432 ~ 11329
300	11330 ~ 13607

SVGA 入力時 (VPL-PS10)

スクリーンサイズ (インチ)	距離 (mm)
40	1461 ~ 1767
60	2221 ~ 2680
80	2982 ~ 3592
100	3742 ~ 4505
120	4503 ~ 5417
150	5644 ~ 6786
180	6784 ~ 8154
200	7545 ~ 9067
250	9446 ~ 11348
300	11348 ~ 13629

電気系

カラー方式	NTSC ^{3.58} 、PAL、SECAM、NTSC ^{4.43} 、 PAL-M、PAL-N 自動切り換え / 手動 切り換え
解像度	VPL-PX15/PX10 : 水平解像度 750TV 本 (ビデオ入力時) 1024 × 768 ドット (RGB 入力時) VPL-PS10 : 水平解像度 600TV 本 (ビデオ入力時) 800 × 600 ドット (RGB 入力時)
対応コンピューター信号	fH : 15 ~ 91 kHz、fV : 43 ~ 85 Hz
スピーカー	ステレオスピーカーシステム 直径 28 mm、最大 0.5 W × 2

入出力

映像入力	S VIDEO : Y/C、ミニ DIN4 ピン (メス) Y (輝度) 信号 : 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) C (クロマ) 信号 : パースト 0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC) (75 終端) パースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL) (75 終端) VIDEO : ピンジャック コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) AUDIO : ステレオミニジャック 500 mVrms、インピーダンス 47 k Ω 以上
INPUT A	INPUT A : HD D-sub 15 ピン (メス) アナログ RGB / コンポーネント R/R-Y : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) G : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) 同期付 G/Y : 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) B/B-Y : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) SYNC/HD : 複合同期入力 : 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 水平同期入力 : 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性

1) ANSI 基準ルーメンは、American National Standards Institute IT7.228 に定められた測定方法によります。

	VD : 垂直同期入力 : 1 ~ 5 Vp-p ハイ インピーダンス、正負極性
	AUDIO : ステレオミニジャック 500 mVrms、インピーダンス 47 k 以上
MOUSE	丸形6ピン(メス) (「ピン配列」(44(JP)ページ)参照)
INPUT B (VPL-PX15のみ)	ETHER 10BASE-T/100BASE-TX PC CARD スロット PC カードスロット Type II
USB ハブ	アップ(Bタイプ:メス) × 1、 ダウン(Aタイプ:メス) × 1
CONTROL S IN/PLUG IN POWER	ステレオミニジャック 5 Vp-p、 プラグインパワー、DC5 V

安全規格 電安法、VCCIクラスB
本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

レーザー (VPL-PX15/PX10のみ)

レーザー種類	クラス2
波長	645 nm
出力	1 mW

一般

外形寸法	325 × 110 × 285 mm (幅 / 高さ / 奥行き、 突起部含まず)
質量	VPL-PX15 : 約 5.3 kg VPL-PX10/PS10 : 約 4.9 kg
電源	AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	VPL-PX15 : 最大 300 W スタンバイモード時 : 4.9 W (入力B機能「ON」時 : 9.0 W) VPL-PX10/PS10 : 最大 290 W スタンバイモード時 : 4.7 W
発熱量	VPL-PX15 : 1023.9 BTU VPL-PX10/PS10 : 989.6 BTU
動作温度	0 ~ + 35
動作湿度	35 % ~ 85 % (結露しないこと)
保存温度	- 20 ~ + 60
保存湿度	10 % ~ 90 %

付属品

リモートコマンダーRM-PJM15 (VPL-PX15/PX10のみ)(1)
リモートコマンダーRM-PJM11 (VPL-PS10のみ)(1)
単3形乾電池(2)
HD D-sub 15ピンケーブル(2 m)(1) (1-791-992-21)
PS/2 マウスケーブル(2 m)(1) (1-792-424-12)
USBケーブル(Aタイプ - Bタイプ)(1) (1-790-081-11)
CD-ROM (アプリケーションソフトウェア) (1)
電源コード(1)
交換用エアフィルター(1)
レンズキャップ(1)
取扱説明書(1)
取扱説明書(ネットワーク編) (VPL-PX15のみ)(1)
特約店様用設置説明書(1)
指定 / 推奨 PCカード / ワイヤレスLAN アクセスポイント一覧 (VPL-PX15のみ)(1)
早わかりカード(1)
保証書(1)

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

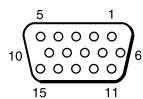
別売りアクセサリ

プロジェクターランプ LMP-P202 (交換用)
プロジェクターサスペンションサポート PSS-610
モニターケーブル SMF-410 (HD D-sub 15ピン(オス) ↔ HD D-sub 15ピン (オス))
シグナルケーブル SMF-402 (HD D-sub 15ピン(オス) ↔ 3 × ピンジャック)
プロジェクションレンズ 短焦点コンバータレンズ VPLL-CW10 長焦点コンバータレンズ VPLL-CT10

(続く)

ピン配列

INPUT A端子 (HD D-sub 15ピン、メス)



1	映像入力 (赤) R/R-Y	8	接地 (青用)
		9	N.C.
2	映像入力 (緑) G/Y	10	接地
		11	接地
3	映像入力 (青) B/B-Y	12	DDC/SDA
		13	水平同期信号 / 複合同期信号
4	接地		
5	接地	14	垂直同期信号
6	接地 (赤用)	15	DDC/SCL
7	接地 (緑用)		

MOUSE端子 (丸形6ピン、メス)



1	DATA
2	N.C.
3	GND
4	+5 V
5	CLK
6	N.C.

索引

あ行

アジャスター	12 (JP)
「アスペクト」	31 (JP)
「RGBシャープネス」	29 (JP)
「色あい」	29 (JP)
「色温度設定」	30 (JP)
「色の濃さ」	29 (JP)
エアフィルター	38 (JP)
映像を一時的に消す	25 (JP)
APA 機能	25 (JP)
「オート入力サーチ」	33 (JP)
音声を一時的に消す	15 (JP)
「音量」	30 (JP)

か行

各部の名称と働き	
後面 / 右側面 / 底面	10 (JP)
コネクターパネル	14 (JP)
コントロールパネル	12 (JP)
前面 / 左側面	10 (JP)
リモートコマンド	15 (JP)、17 (JP)
画質調整メニュー	29 (JP)
画像を映す	25 (JP)
「画面表示」	33 (JP)
「カラー方式」	30 (JP)
「ガンマモード」	29 (JP)
キャリングハンドル	10 (JP)
結露	41 (JP)
「コントラスト」	29 (JP)

さ行

「サイズH」	31 (JP)
「シフト」	31 (JP)
「シャープネス」	29 (JP)
仕様	42 (JP)
初期設定メニュー	32 (JP)
信号設定メニュー	30 (JP)
「スキャンコンバーター」	31 (JP)
スクリーンサイズ	42 (JP)

接続

コンピューターを接続する	19 (JP)
コンポーネント機器を接続する	21 (JP)
ビデオ機器を接続する	21 (JP)
LANに接続する	22 (JP)

設置時のご注意	36 (JP)
使用に適さない状態	36 (JP)
設置に適さない場所	36 (JP)
「設置状態」	34 (JP)
設置設定メニュー	33 (JP)
設置例	35 (JP)

た行

「台形補正メモリ」	33 (JP)
「D(ダイナミック)ピクチャー」	29 (JP)
調整	
画質の調整	25 (JP)、29 (JP)
画像のサイズ /	
シフト調整	25 (JP)、31 (JP)
設定値の記憶	28 (JP)

通風口

吸気口	11 (JP)
排気口	10 (JP)
「デジタル台形補正」	34 (JP)

電源

オフ	26 (JP)
オン	24 (JP)

電池

安全上のご注意	7 (JP)
入れかた	17 (JP)、18 (JP)
「ドットフェーズ」	31 (JP)
トラブル時の対処	39 (JP)

な行

「入力A」	33 (JP)
「入力B機能」	34 (JP)

は行

「パワーセービング」	13 (JP)、33 (JP)
PC CARD スロット	22 (JP)
「表示言語」	33 (JP)
ピン配列	44 (JP)
付属品	43 (JP)
「ブライトネス」	29 (JP)
フリーズ機能	27 (JP)
別売りアクセサリ	43 (JP)
保証書とアフターサービス	41 (JP)
本機の性能を保持するために	41 (JP)

ま、や行

メッセージ

警告メッセージ	40 (JP)
注意メッセージ	40 (JP)

メニュー

画質調整	29 (JP)
初期設定	32 (JP)
信号設定	30 (JP)
設置設定	33 (JP)
メニュー画面を消す	28 (JP)
メニューの操作方法	28 (JP)
「メニュー位置」	34 (JP)
「メニュー色」	34 (JP)
「メニュー背景」	34 (JP)

ら、わ行

「ランプタイマー」	34 (JP)
ランプの交換	37 (JP)

リセット

設定値をリセットする	28 (JP)
リセットできる項目	28 (JP)
「リモコン受光部」	33 (JP)

リモコン受光部

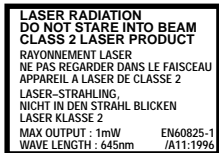
後面リモコン受光部	10 (JP)
前面リモコン受光部	10 (JP)
リモコン受光部の設定	33 (JP)
リモートコマンド (VPL-PS10)	17 (JP)
リモートコマンド (VPL-PX15/PX10)	15 (JP)

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

不可打开本机壳，以免遭受电击。除非是本公司指定的合格技术员，请勿进行维修。

VPL-PX15/PX10 的用户须知



此标签位于遥控器背面。

中文译文



此标签位于遥控器背面。

注意

- 请勿将激光束对着人，也不要直视激光发射器。
- 遥控器发生故障时，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。我们将按保修规定为您更换新的遥控器。

输出插座应安装于装置附近使用方便的地方。

有关电源连接的警告

请使用适合当地电源的电源线。

	美国、加拿大		欧洲国家		英国、爱尔兰、 澳大利亚、新西兰	日本
插头型	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	— ¹⁾	YP332
承口端	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
电线型	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
额定电压 & 电流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全标准	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN

1) 请用适合在当地使用的插头。

目录

概要

使用前须知	5 (CS)
特点	6 (CS)
控制器的位置和功能	7 (CS)
前面 / 左面	7 (CS)
后面 / 右面 / 底部	7 (CS)
控制面板	9 (CS)
连接器面板	11 (CS)
遥控器 (VPL-PX15/PX10 附带)	12 (CS)
遥控器 (VPL-PS10 附带)	14 (CS)

安装及投影

安装投影机	16 (CS)
连接投影机	16 (CS)
连接电脑	16 (CS)
连接录像机或 15k RGB / 分量装置	18 (CS)
连接至局域网 (仅限于 VPL-PX15)	19 (CS)
选择项目单语言	21 (CS)
投影	22 (CS)

使用项目单的调整和设定

使用项目单	25 (CS)
图像控制项目单	26 (CS)
输入设定项目单	27 (CS)
操作设定项目单	29 (CS)
安装设定项目单	30 (CS)

安装

安装示例	32 (CS)
安装提示	33 (CS)
不当安装	33 (CS)
有关使用的不适环境	33 (CS)

维修保养

维修保养	35 (CS)
更换投影灯	35 (CS)
清洁空气滤网	36 (CS)
故障排除	37 (CS)

其他

规格	39 (CS)
索引	42 (CS)

使用前须知

安全须知

- 请核查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。
- 若有任何液态或固态物体落入机壳，务请立即断开电源，在进一步操作前，请有资格的维修人员检查。
- 若数日不使用本机，请将本机的电源插头从墙上的电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出，切勿拉扯电线本身。
- 本机应位于插座附近，且易于接线。
- 不管主机是否关闭，只要主机插头插入电源插座，便接通交流电源。
- 当投影灯亮起时，请勿直视镜头。
- 请勿将激光束对准人身，也不要直视激光发射器。
- 请勿将手或物体放在通风孔附近 - 因排出的空气很热。
- 抬起投影机时，小心不要被调节器夹住手指。调节器伸出时，请勿用力按压投影机顶部。
- 搬运投影机时，请用双手抓住投影机的两侧抬起。

照明须知

- 为获得最佳图像，请勿将屏幕正面置于直射灯光或阳光下。
- 推荐使用吊装聚光灯。用灯罩遮住荧光灯以免降低对比度。
- 用不透明帷幕遮住面对屏幕的所有窗户。
- 将本机安装在地板和墙壁都是由不反光材料制成的房间内，会取得满意的观看效果。若地板和墙壁由反光材料制成，建议将地毯和墙纸换成暗色。

防止内部聚热须知

用遥控器或控制面板上的 I / ⏻ 键关闭电源后，请勿在冷却扇仍运转时将主机插头从墙上的电源插座拔出。

注意

投影机底部（进气）和前部（排气）配备有通风孔。请勿堵塞这些孔或在其附近放置任何物体，以免内部聚热导致图像劣化或投影机受损。

清洁须知

- 为保持机壳常新，请定期用软布擦拭。如遇顽垢，请用稍蘸中性洗涤剂的软布擦去。切勿使用烈性溶剂，如稀释剂、苯或抛光剂，以免损坏机壳。
- 请勿触摸透镜。用软干布擦拭透镜上的脏污。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请每间隔 300 小时定期清洁滤网。

重新包装须知

请妥善保存原有装运箱和包装材料，便于您搬运本机。为尽可能的保护机体，请按出厂时的包装方式重新包装本机。

液晶投影机须知

液晶投影机是采用高精密技术制造的。但常会看见有些小黑点和（或）小亮点（红，蓝或绿）出现在液晶投影机上。这是生产过程的正常现象，并非故障。

特点

高亮度、高画质

- 高亮度

采用最先进的光学系统和 200 W UHP 灯泡确保图像的高亮度 (VPL-PX15/PX10 : 光输出 2000 ANSI 流明, VPL-PS10 : 光输出 1500 ANSI 流明) 和高均匀度。

- 高清晰度

VPL-PX15/PX10

采用 3 个 0.9 英寸、约 790,000 像素的 XGA 面板, 本投影机对 RGB 输入信号提供 1024 × 768 点的分辨率, 对视频输入信号提供 750 行电视线。

VPL-PS10

采用 3 个 0.9 英寸、约 480,000 像素的 SVGA 面板, 本投影机对 RGB 输入信号提供 800 × 600 点的分辨率, 对视频输入信号提供 600 行电视线。

安装简便

- 外接装置装配简便

本投影机存储器对输入信号有 37 种预设数据项目。只需要连接装置并按 APA (自动像素调整) 键, 就可以在屏幕上投影清晰的图像。

- 与 USB (通用串行总线) 集线器功能兼容

您可将 USB 装置 (如 USB 鼠标器) 与本机相连接, 并且还可从一台电脑 (Microsoft¹⁾ Windows¹⁾ 98、Windows 98 SE 或 Windows 2000 系统) 用本机附带的 “ Projector Station ” 应用软件 (CD-ROM) 操作本投影机。使用此应用软件, 您可以用附带的遥控器打开自己想要用于显示的文件。

便于显示

- 带鼠标控制器功能的多功能遥控器

您可用遥控器操作连接于本投影机的电脑, 因本机带有内置式鼠标接收器。

- 数字变焦 / 固定功能

本投影机的数字变焦功能可让您在屏幕上的所需要位置放大图像。固定功能可让您固定所投影的图像。即便装置未连接视频源所固定的图像也会被继续投影。

接收各种输入信号

- 装有扫描转换器

本投影机有一内置式扫描转换器, 它可转接 1024 × 768 点 (VPL-PX15/PX10) 或 800 × 600 点 (VPL-PS10) 以内的输入信号。

- 与各种输入信号兼容

本投影机接收复合、S 视频和分量视频信号及 15k RGB、VGA²⁾、SVGA²⁾、XGA²⁾ 和 SXGA²⁾ 信号, 它们全可显示出来。

- 与六种彩色制式兼容

可自动或手动选择 NTSC^{3.58}、PAL、SECAM、NTSC^{4.43³⁾}、PAL-M 或 PAL-N 彩色制式。

其他功能

- 网络功能兼容性 (无线兼容, 仅限于 VPL-PX15)

本投影机带有 PC CARD 插槽和 ETHER 连接器, 可将装置连接至有线或无线局域网。

有关本机网络功能的信息, 请参见本机附带的网络用户使用手册。

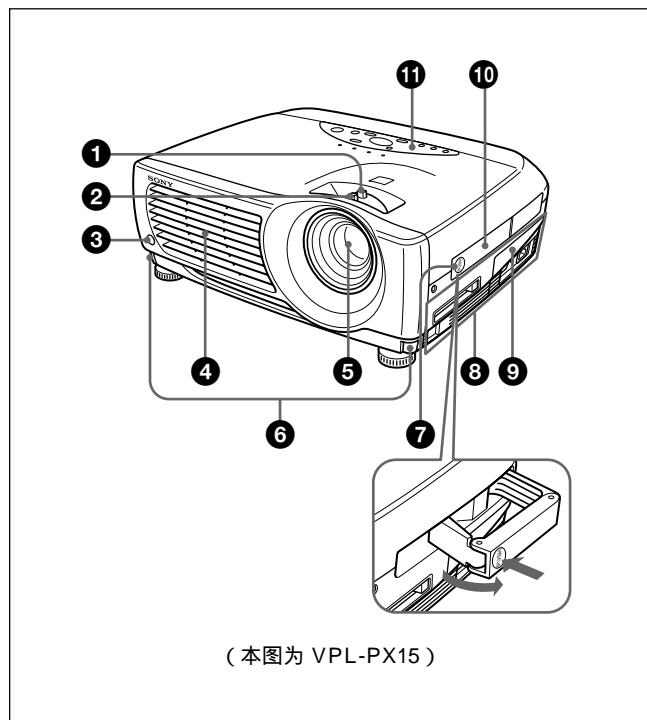
1) Microsoft 和 Windows 是微软公司 (在美国和其他国家) 的注册商标。

2) VGA、SVGA、XGA 和 SXGA 是美国 IBM 公司的注册商标。

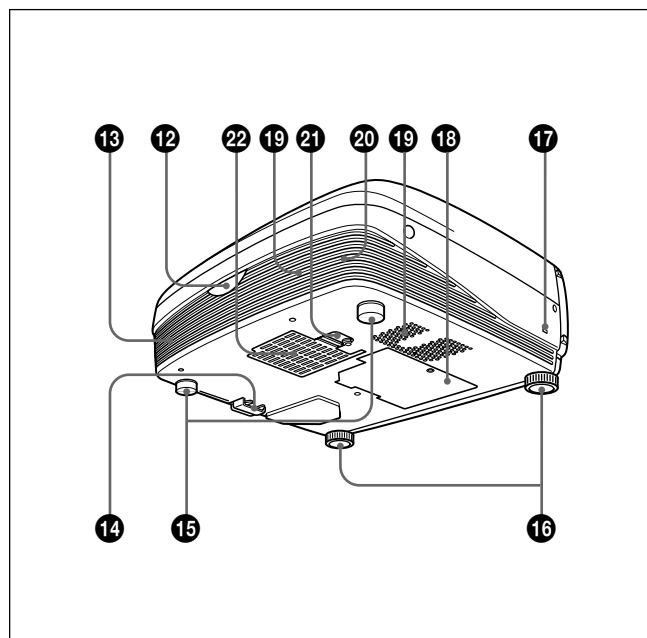
3) NTSC^{4.43} 是播放由 NTSC^{4.43} 制式录像机录制的 NTSC 制式录像时所使用的彩色制式。

控制器的位置和功能

前面 / 左面



后面 / 右面 / 底部



❶ 变焦环
调整图像尺寸。

❷ 对焦环
调整图像焦距。

❸ 前方遥控检波器

❹ 通风孔 (排气)

❺ 透镜
在投影前取下镜头盖。

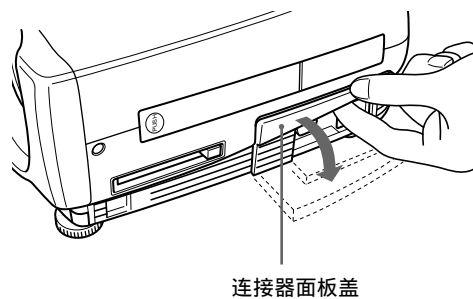
❻ 调节器按钮

❼ 把手脱扣
推出脱扣以弹出搬运把手 ❿。

❽ 连接器面板
有关细节, 请参见第 11 (CS) 页上的“连接器面板”。

❾ 连接器面板盖
如果需要, 打开此盖使用连接器面板上的连接器。您可以松开连接器面板盖锁扣 ❿ 取下面板盖。

左面



❿ 搬运把手
使用把手脱扣 ❼ 从投影机弹出把手用于搬运。

⓫ 控制面板
有关细节, 请参见第 9 (CS) 页上的“控制面板”。

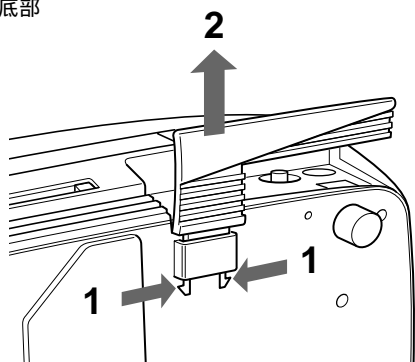
⓬ 后方遥控检波器

⓭ 左扬声器

14 连接器面板盖锁扣

用于取下 / 安装连接器面板盖 9。

底部



按两侧的锁扣的同时，向外推动连接器盖以将此打开。

15 后方调节器

16 调节器

当图像被投影到屏幕之外的位置时，请用这些调节器调节图像。

有关使用调节器的细节，请参见第 9 (CS) 页上的“调节器的使用方法”。

17 保密锁

连接到一选购的保密电缆（肯辛顿制）¹⁾。

保密锁对应于肯辛顿的 MicroSaver^{®1)} 保密系统。

若需要更多的信息，请按以下地址联系：

Kensington

2855 Campus Drive, San Mateo, CA 94403

北美地区

电话：800-235-6708

传真：800-247-1317

北美以外地区

电话：847-541-9500

网址：<http://www.kensington.com/>

18 投影灯盖板

19 通风孔（进气）

20 右扬声器

21 空气滤网盖板锁扣

用于取下空气滤网盖板。

有关细节，请参见第 36 (CS) 页上的“清洁空气滤网”。

注意

为保证最佳性能，请每间隔 300 小时清洁空气滤网。

22 通风孔（进气） / 空气滤网盖板

注意

- 请勿在通风孔附近放置任何物体以免导致内部发热。
- 请勿将您的手或物体靠近通风孔 - 排出的空气很热。

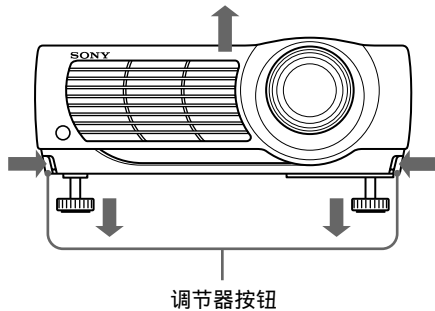
1) 肯辛顿和 MicroSaver 是肯辛顿技术集团的注册商标。

调节器的使用方法

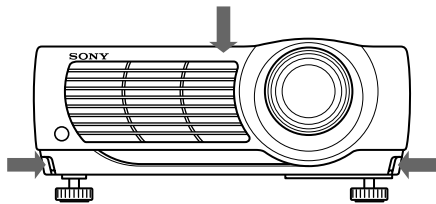
要调节高度时

按以下方法调节投影机的高度：

- 1 抬起投影机并按调节器按钮。
调节器伸出投影机。



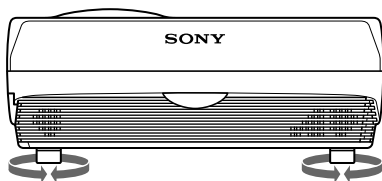
- 2 按着按钮，调节感度。然后松开该按钮。
调节器将被锁定，然后投影机高度将被固定。
将调节器转向左侧或转向右侧以进行精确调节。



注意

如果调节器已伸出到极限而您继续逆时针转动调节器，则调节器会停止转动，并无法按下调节器按钮。遇此情况时，顺时针转动调节器，然后再按调节器按钮。

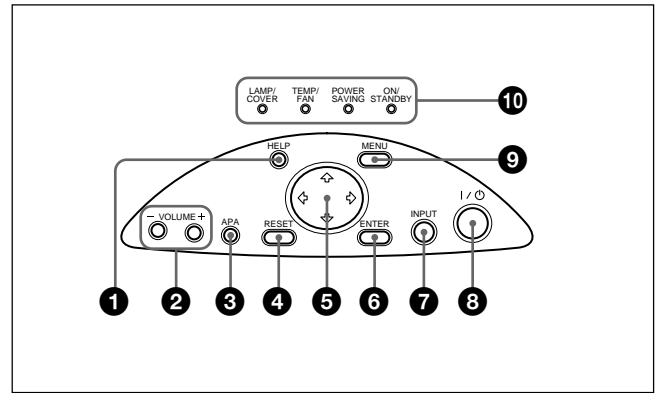
- 3 如果需要，将后方调节器转向左侧或转向右侧以调节投影机的高度。



注意

- 请小心勿使投影机压住您的手指。
- 在调节器处于伸出状态时，请勿用力按投影机顶部。

控制面板



- 1 HELP (帮助) 键

操作中需要帮助信息时，按此键显示帮助信息。根据问题类型帮助项目单列出防止错误方法。

- 2 VOLUME (音量) + / - 键

用于调节内置扬声器的音量。

- +：提高音量。
- ：降低音量。

- 3 APA (自动像素调整) 键

输入来自电脑的信号时，用于自动将要投影的图像调节得最清晰。也同时自动调节移位（上 / 下和左 / 右）。

注意

请在完整的图像显示在屏幕上时按 APA 键。如果图像周围有黑边，APA 功能不能发挥正常作用，且图像可能超出屏幕。

- 4 RESET (复原) 键

用于将某一项目的设定值恢复为出厂预设值。此键仅在项目单或设定项目单在屏幕上显示时起作用。

- 5 箭头 (↑/↓/←/→) 键

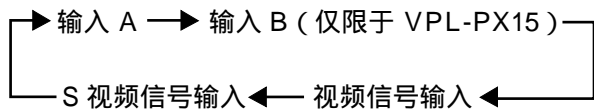
用于选择项目单或进行各种调整。

- 6 ENTER (输入) 键

用于输入项目单系统中项目的设定值。

7 INPUT (输入) 键

用于选择输入信号。每按一次此键，输入信号如下转换：



注意

- 如果在安装设定项目单中输入 B 功能被设为开，您只能选择输入 B。输入 B 仅适用于 VPL-PX15。
- 音频信号也同样用于视频信号输入和 S 视频信号输入。
- 音频信号也同样用于输入 A 和输入 B。

8 I / ⏻ (接通 / 待机) 键

用于在投影机处于待机状态时，接通或关闭投影机电源。电源接通时，ON / STANDBY 指示灯点亮呈绿色。

关闭电源时，请按照屏幕上的信息指示按两次 I / ⏻ 键，或按住该键约 1 秒钟。

有关关闭电源的详细步骤，请参见第 23 (CS) 页上的“要关闭电源”。

9 MENU (项目单) 键

用于显示屏幕项目单。再按一次该键可消除该项目单。

10 指示灯

LAMP (投影灯) / COVER (盖板)：在如下条件下点亮或闪烁：

- 投影灯泡已无法再使用或灯泡温度过高时点亮。
- 投影灯盖板或空气滤网盖板未装严时闪烁。

TEMP (温度) / FAN (风扇)：在如下条件下点亮或闪烁：

- 投影机内部温度变得异常高时点亮。
- 风扇损坏时闪烁。

POWER SAVING (节电)：在投影机处于节电方式时点亮。在操作设定项目单中节电方式项目被设定为开时，若持续 10 分钟无信号输入，投影机进入节电方式。投影灯熄灭，但冷却扇会继续转动。有信号输入或按了任何键时，节电方式即解除。但在节电方式下，在最初的 60 秒钟内所有键均不起作用。

ON (接通) / STANDBY (待机)：在如下条件下点亮或闪烁：

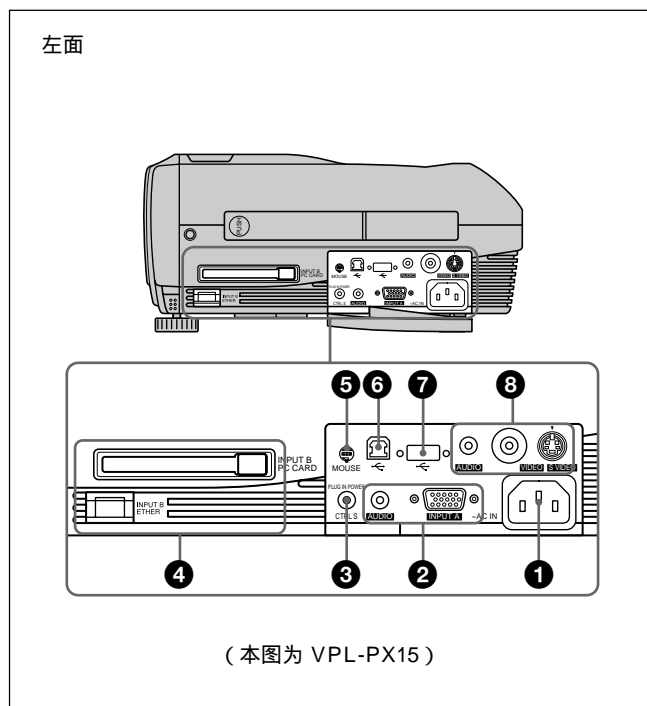
- 在交流电源线插头插入墙上电源插座时点亮呈红色。一旦进入待机状态，即可用 I / ⏻ 键接通投影机电源。
- 在电源接通时呈绿色点亮。
- 用 I / ⏻ 键关闭电源后冷却扇转动时，此指示灯闪烁呈绿色。关闭电源后，冷却扇将转动约 90 秒钟。

在此期间的最初 60 秒钟内 ON/STANDBY 指示灯将快速闪烁。

在此最初的 60 秒钟内，您无法用 I / ⏻ 键重新接通电源。

有关 LAMP / COVER 和 TEMP / FAN 指示灯的细节，请参见第 38 (CS) 页。

连接器面板



① AC IN 插座

连接附带的交流电源线。

② INPUT A (输入 A) 连接器

连接到外接装置，如电脑。

INPUT A (输入 A) 连接器 (HD D 副 15 芯，雌)：用附带的电缆连接电脑上的显示器输出端口。

输入分量信号或 15k RGB 信号时，请使用选购的电缆。

有关细节，请参见第 19 (CS) 页上的“连接 15k RGB / 分量装置”。

AUDIO (音频) 插孔 (立体声微型插孔)：连接到电脑的音频输出端口。

③ CTRL S/PLUG IN POWER (控制信号 / 插入电源) (直流电源 5V 输出) 插孔 (立体声微型插孔)

连接到 Sony 装置的控制信号输出插孔。

在将遥控器用作有线遥控器时，连接到附带的遥控器上的 CONTROL S OUT 插孔。这时，因从此插孔供电，故无需在遥控器中装入电池。

④ INPUT B (输入 B) 连接器

(仅限于 VPL-PX15)

INPUT B PC CARD (输入 B PC 卡) 插槽

(II 型)：根据需要可安装无线局域网 PC 卡或 PC 内存卡。

有关细节，请参见第 19 (CS) 页上的“安装 PC 卡”。

INPUT B ETHER (输入 B 电磁) 连接器

(10BASE-T/100BASE-TX)：使用本投影机的网络功能时，用局域网电缆连接到局域网上的电脑。

⑤ MOUSE (鼠标器) 连接器 (6 芯)

通过所附带的鼠标器电缆连接到电脑上的 PS / 2 鼠标器端口以控制所连接电脑的鼠标器功能。

⑥ USB 连接器 (USB 上游 B 型插头、4 芯)

连接到电脑。通过此连接器将本投影机连接到电脑时，投影机可识别所连接的 USB 鼠标器，并可用附带的遥控器控制与 INPUT A 连接器相连的电脑鼠标器功能。所附带的应用软件可用于与该连接器相连接的电脑中。

⑦ USB 连接器 (USB 下游 A 型插头、4 芯)

连接到 USB 装置，例如：鼠标器、照相机等。

⑧ 视频输入连接器

连接到外接视频装置，如录像机。

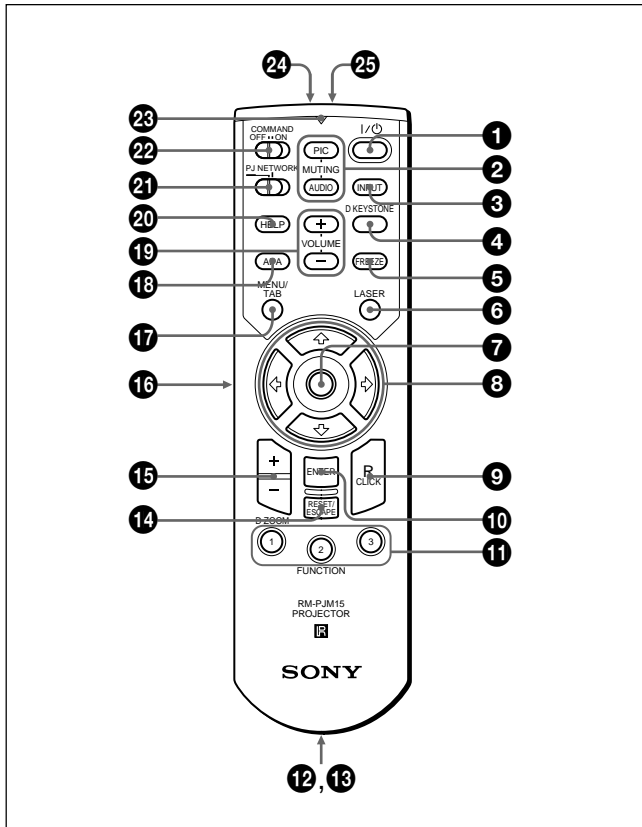
S VIDEO (S 视频) 连接器 (微型 DIN 4 芯)：连接视频装置的 S 视频输出 (Y / C 视频输出) 端口。

VIDEO (视频) 插孔 (屏蔽型)：连接视频装置的复合视频输出端口。

AUDIO (音频) 插孔 (立体声微型插孔)：连接录像机的音频输出端口。

遥控器 (VPL-PX15/PX10 附带)

与控制面板上的键名称相同的遥控器键，其功能也相同。



关于激光束的注意事项

- 请勿直视激光发射器。
- 请勿将激光束对准人。

① I / ⏻ (接通 / 待机) 键

② MUTING (消除) 键

消除图像和声音。

PIC (图像) : 消除图像。再按一次此键恢复图像。

AUDIO (音频) : 消除扬声器的声音。再按一次此键或 VOLUME + 键恢复声音。

③ INPUT (输入) 键

④ D KEYSTONE (调整数字梯形失真) 键

修正投影角度导致的梯形失真。使用箭头键 (↑/↓/←/→) 显示长方形图像。

⑤ FREEZE (固定) 键

用于固定所投影的图像。要取消固定图像时，再次按此键。

⑥ LASER (激光) 键

按住此键时从激光发射器发出激光束。

⑦ 鼠标器

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时 : 它被用作连接到本投影机电脑的鼠标器。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15) : 它在本投影机的 INPUT B 视窗中被用作鼠标器。

⑧ 箭头 (↑/↓/←/→) 键

⑨ R (右) CLICK (点按) 键

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时 : 它被用作连接到本投影机电脑的鼠标器的右键。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15) : 它在本投影机的 INPUT B 视窗中被用作鼠标器的右键。

⑩ ENTER (输入) 键

⑪ FUNCTION (功能) 1, 2, 3 键

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时 : 使用附带的应用软件时, 这些键便会起作用。将投影机连接到电脑时, 仅按 FUNCTION 键便可打开屏幕上的文件, 这样便可增强您的显示功能。要使用此功能时, 请用该应用软件将文件分配给 FUNCTION 键。(仅可用 FUNCTION 1 和 2 键, 不能将文件分配给 FUNCTION 3 键。)

有关细节, 请参见应用软件所附带的 README 文件和 HELP 文件。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15) : INPUT B 视窗显示于投影机时, 仅按 FUNCTION 键就可以启动应用软件。要使用此功能, 请给 FUNCTION 键分配应用软件。(FUNCTION 3 键被分配给键盘软件显示。)

⑫ 皮带钩

用于安装皮带。

⑬ CONTROL S OUT (控制 S 输出) 插孔 (立体声微型插孔)

将遥控器作为有线遥控器使用时, 用连接电缆 (未附带) 连接投影机上的 CTRL S 插孔。此时, 由于电源通过投影机上的 CTRL S 插孔供应, 因此不必安装遥控器中的电池。

14 RESET/ESCAPE (复原 / 换码) 键

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时：此键被用作 RESET 键。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15)：显示 INPUT B 视窗时，此键被用作键盘的 ESCAPE 键。

15 D ZOOM (数字变焦) +/- 键

放大屏幕上指定部位的图像。此键仅在输入电脑信号时起作用。

+：按一次 + 键显示图标。该图标指示要放大的点。用箭头键 (↑/↓/←/→) 移动图标至要放大的点。反复按 + 键，直至图像放大到所需的大小。

-：按 - 键缩小由 D ZOOM + 键放大的图像。

16 L (左) CLICK (点按) 键

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时：它被用作连接到本投影机电脑的鼠标器的左键。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15)：它在本投影机的 INPUT B 视窗中被用作鼠标器的左键。

17 MENU/TAB (项目单 / 制表) 键

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 PJ 时：此键被用作 MENU 键。

PJ / NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK 时 (仅限于 VPL-PX15)：显示 INPUT B 视窗时，此键被用作键盘的 TAB 键。

18 APA (自动像素调整) 键**19** VOLUME (音量) +/- 键**20** HELP (帮助) 键

操作中需要帮助信息时，按此键显示帮助信息。

21 PJ/NETWORK 选择开关

要使用遥控器进行网络操作时，请将此开关设定为 NETWORK 位置。将此开关设定为 PJ 以使用遥控器进行除网络之外的普通操作。此开关仅适用于 VPL-PX15。

有关 Windows CE 屏幕操作的细节，请参见所附带的“网络用使用手册”。

22 COMMAND ON/OFF (命令启动 / 取消) 开关

此开关设定为 OFF 时，遥控器上的键均不起作用。由此节省电池电力。

23 发射指示灯

按遥控器上的键时点亮。

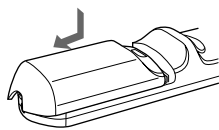
使用激光指示器时此指示灯不点亮。

24 红外发射器**25** 激光发射器

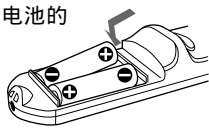
电池的安裝

- 1 推开电池室盖，以正确极性装入两节 R6 (AA 尺寸) 电池 (附带)。

向下按盖子的同时滑动。



务必先装入电池的 ⊖ 极。



- 2 装回电池室盖。

电池的注意事項

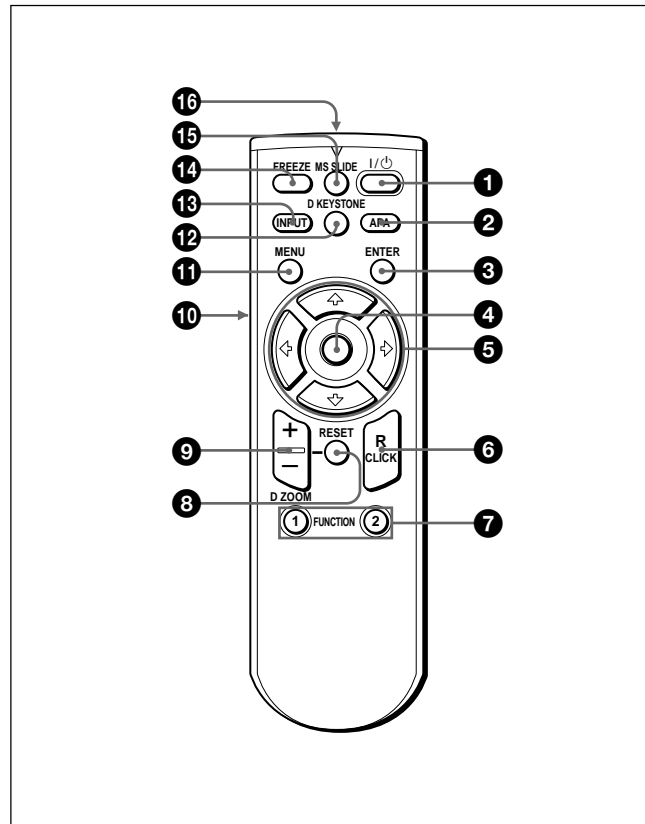
- 装入电池时，务必使电池的极性方向正确。
- 请勿混用新旧电池或不同类型的电池。
- 若长时间不使用遥控器，请取出电池以免电池漏液损坏遥控器。若电池已漏液，请取出该电池，擦净电池室，再装入新电池。

关于遥控器操作的注意事項

- 确保在遥控器和投影机上的遥控检波器之间无阻碍红外光束之物。
- 操作范围是有限的。遥控器和投影机之间的距离越短，遥控器可控制投影机的角度就越宽。

遥控器 (VPL-PS10 附带)

与控制面板上的键名称相同的遥控器键，其功能也相同。



① I/⏻ (接通 / 待机) 键

② APA (自动像素调整) 键

③ ENTER (输入) 键

④ 操纵杆

发挥连接于本投影机的电脑鼠标器的作用。

⑤ 箭头 (↑/↓/←/→) 键

⑥ R (右) CLICK (点按) 键

发挥鼠标器上右键的作用。

⑦ FUNCTION (功能) 1, 2 键

使用附带的应用软件时，这些键便会起作用。将投影机连接到电脑时，仅按 FUNCTION 键便可打开屏幕上的文件，这样便可增强您的显示功能。要使用此功能时，请用该应用软件将文件分配给 FUNCTION 键。

有关细节，请参见应用软件所附带的 README 文件和 HELP 文件。

⑧ RESET (复原) 键

用于将某一项目的设定值恢复为出厂预设值或将放大的图像恢复到原来的尺寸。

⑨ D ZOOM (数字变焦) +/- 键

放大屏幕上指定部位的图像。此键仅在输入电脑信号时起作用。

+ : 按一次 + 键显示图标。该图标指示要放大的点。用箭头键 ($\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$) 移动图标至要放大的点。反复按 + 键, 直至图像放大到所需的大小。

- : 按 - 键缩小由 D ZOOM + 键放大的图像。

⑩ L (左) CLICK (点按) 键

发挥鼠标器左键的作用。

⑪ MENU (项目单) 键**⑫ D KEYSTONE (调整数字梯形失真) 键**

修正投影角度导致的梯形失真。使用箭头键 ($\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$) 显示长方形图像。

⑬ INPUT (输入) 键**⑭ FREEZE (固定) 键**

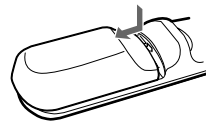
用于固定所投影的图像。要取消固定图像时, 再次按此键。

⑮ MS SLIDE (MS 幻灯片) 键

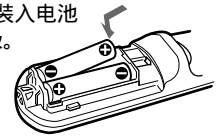
此键不能用本机操作。

⑯ 红外发射器**电池的安裝****1 推开电池室盖, 以正确极性装入两节 R6 (AA 尺寸) 电池 (附带) 。**

向下按盖子的同时滑动。



务必先装入电池的 \ominus 极。

**2 装回电池室盖。****电池的注意事項**

- 装入电池时, 务必使电池的极性方向正确。
- 请勿混用新旧电池或不同类型的电池。
- 若长时间不使用遥控器, 请取出电池以免电池漏液损坏遥控器。若电池已漏液, 请取出该电池, 擦净电池室, 再装入新电池。

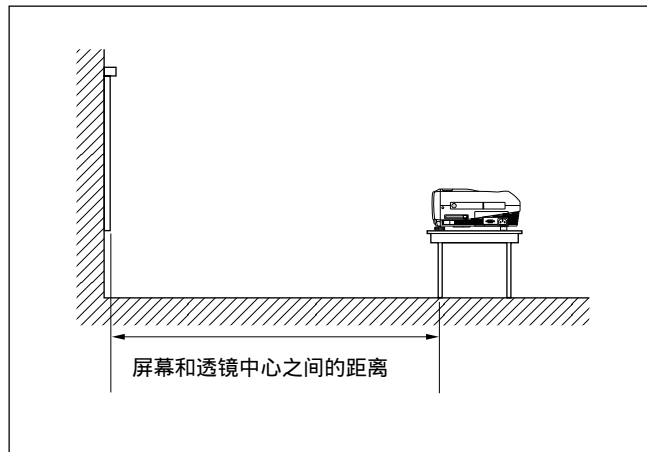
关于遥控器操作的注意事項

- 确保在遥控器和投影机上的遥控检波器之间无阻碍红外光束之物。将遥控器对准前面或后面的遥控检波器。
- 操作范围是有限的。遥控器和投影机之间的距离越短, 遥控器可控制投影机的角度就越宽。

安装投影机

本节说明如何安装投影机。

透镜和屏幕之间的距离依屏幕尺寸而异。请参照下表。



单位：m

屏幕 尺寸 (英寸)	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
最小 距离	1.5	2.2	3.0	3.7	4.5	5.6	6.8	7.5	9.4	11.3
最大 距离	1.8	2.7	3.6	4.5	5.4	6.8	8.1	9.1	11.3	13.6

有关细节，请参见第 32 (CS) 页上的“安装示例”。
有关悬挂安装的细节，请向 Sony 的专业技术人员咨询 (免费)。

连接投影机

连接时，一定要：

- 在进行任何连接之前，关闭所有装置的电源。
- 使用合适的电缆进行各种连接。
- 正确插入电缆的插头，如果插头未完全插入，通常会产生噪音或图像质量下降。拔出电缆时，务必握住插头将其拔出，切勿拉扯电缆本身。

连接电脑

本节说明如何连接投影机与电脑。

有关细节，请参照电脑使用说明书。

注意

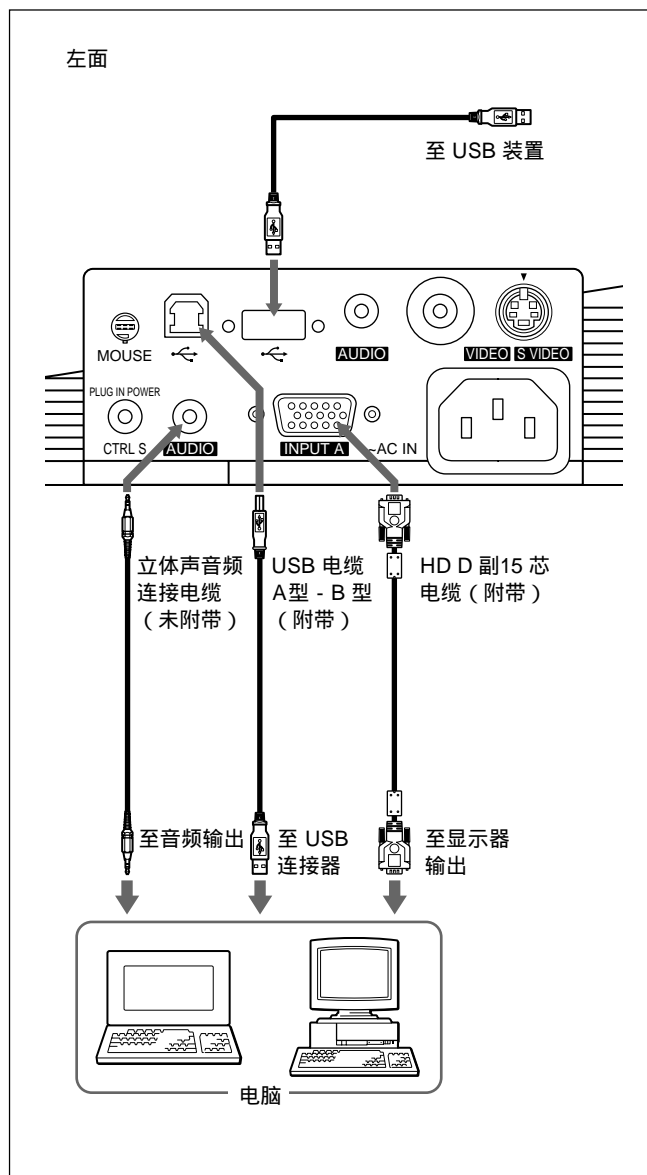
- 本投影机接收 VGA、SVGA、XGA 和 SXGA 信号。但是，对于外接显示器，建议最好将电脑的输出方式设定为 SVGA (VPL-PS10) 或 XGA (VPL-PX15/PX10) 方式。
- 如果将电脑，如笔记本型，设定为同时向电脑的显示器和外接显示器输出信号，外接显示器的图像可能不会正常显示。此时，请将电脑的输出方式设定为仅向外接显示器输出信号。
有关细节，请参照电脑附带的使用说明书。
- 根据使用的电脑，附带的鼠标器电缆可能不适用。
- 本投影机与 DDC2B (显示数据频道 2B) 兼容。如果所使用的电脑也与 DDC¹⁾ 兼容，请按照以下步骤打开投影机的电源。

- 1 使用附带的 HD D 副 15 芯电缆将投影机与电脑相连接。
- 2 接通投影机电源。
- 3 启动电脑。

1) DDC™ 是视频电子标准协会的注册商标。

连接 IBM¹⁾ PC/AT¹⁾ 兼容电脑

使用 USB 鼠标器和 USB 装置时



关于 USB 功能

第一次用 USB 电缆连接电脑和投影机时，电脑可自动识别以下装置。

- 1 USB 集线器（通用）
- 2 USB 人机界面装置（无线鼠标器功能）
- 3 USB 人机界面装置（投影机控制功能）

电脑还可识别连接在投影机下游连接器上的装置。

推荐的操作环境

使用 USB 功能时，如左图所示连接电脑。

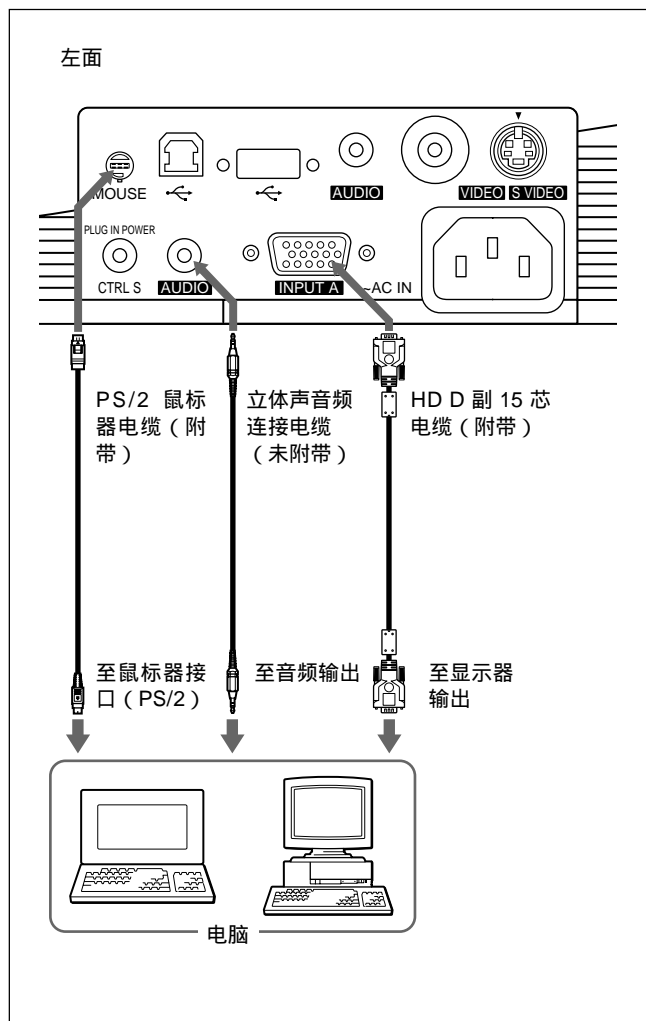
应用软件和 USB 功能可以在预先安装 Windows 98、Windows 98 SE 或 Windows 2000 的电脑上使用。

注意

- 由于电脑与 USB 连接器连接时，投影机可识别 USB 鼠标器，由此请勿同时连接其他任何电缆至 MOUSE 连接器。
- 电脑通过 USB 电脑与投影机连接时，电脑可能无法正常启动。这时，请先拔下 USB 电缆重新启动电脑，然后再用 USB 电缆将电脑与投影机相连接。
- 在挂起和待机模式下不能保证本投影机的使用。在挂起和待机模式下使用本投影机时，请将投影机从电脑的 USB 接口上拔下。
- 不能保证在所有推荐电脑环境下的操作。

1) IBM[®] 和 PC/AT 是美国 IBM 公司的商标和注册商标。

使用 PS/2 鼠标器接口时



连接 Macintosh¹⁾ 电脑

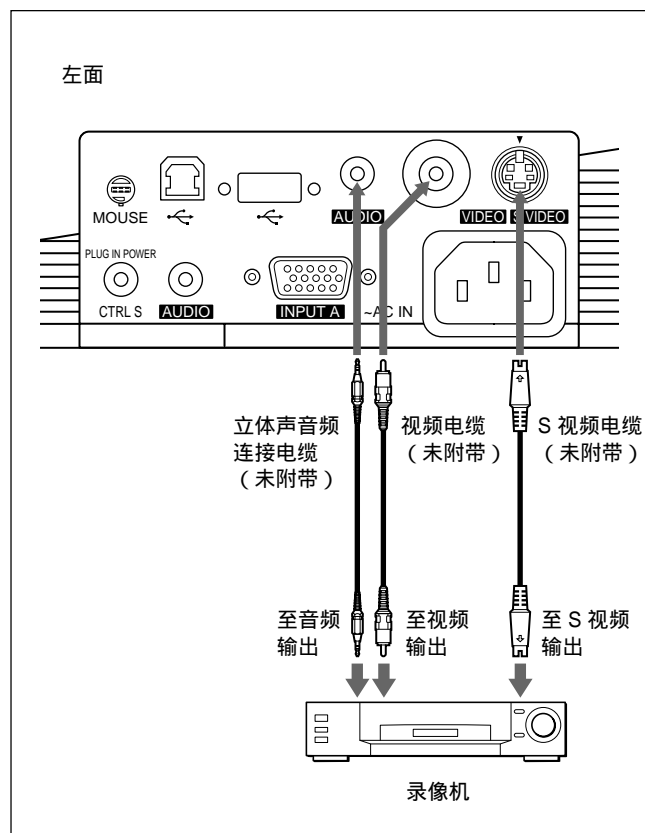
请使用 ADP-20 信号适配器 (未附带)。但此时不能用遥控器控制电脑的鼠标器。

连接录像机或 15k RGB / 分量装置

本节说明如何将本机与录像机或 15k RGB / 分量装置相连接。

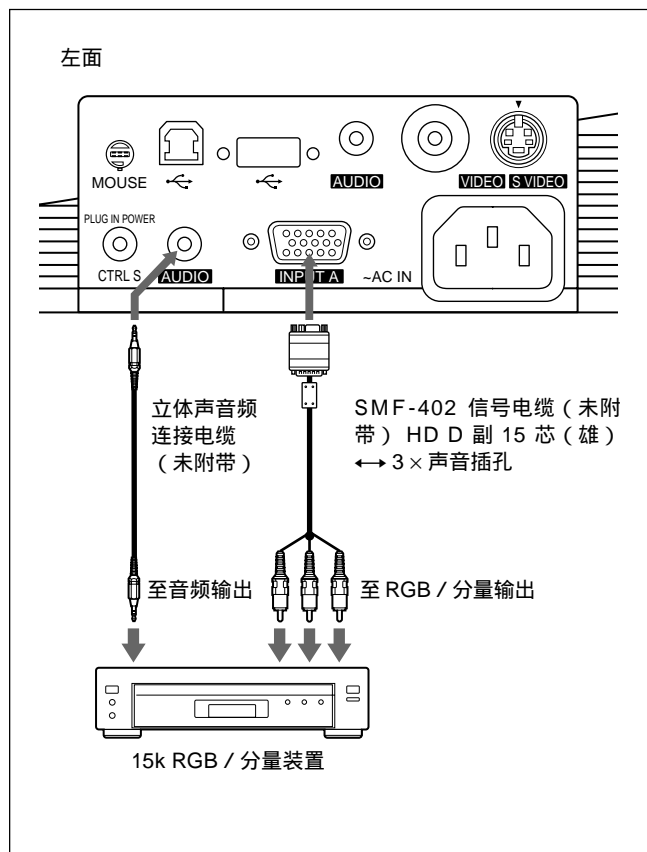
有关细节，请参照要连接装置的使用说明书。

连接录像机



1) Macintosh 是苹果电脑公司的注册商标。

连接 15k RGB / 分量装置



注意

- 请根据输入信号用输入设定项目单中的纵横比项目设定纵横比。
有关细节，请参见第 28 (CS) 页。
- 本机与 15k RGB / 分量视频装置连接时，用操作设定项目单中的输入 A 项目选择 RGB、分量或 VCR GBR 信号。
- 在由 15k RGB / 分量装置输入外接同步信号时，请使用复合同步信号。

连接至局域网 (仅限于 VPL-PX15)

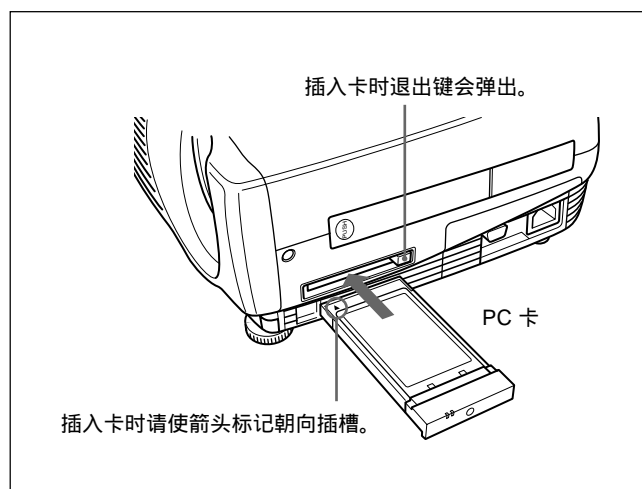
本投影机与网络兼容。使用无线局域网 PC 卡或 10BASE-T/100BASE-TX 局域网电缆，可将投影机连接至无线或有线局域网。也可安装 PC 内存卡。

本节将介绍连接至局域网和安装 PC 卡的方法。无论何时将投影机连接至局域网或使用内存卡，都须将安装设定项目单的输入 B 功能设定为开。

有关细节，请参见第 31 (CS) 页。

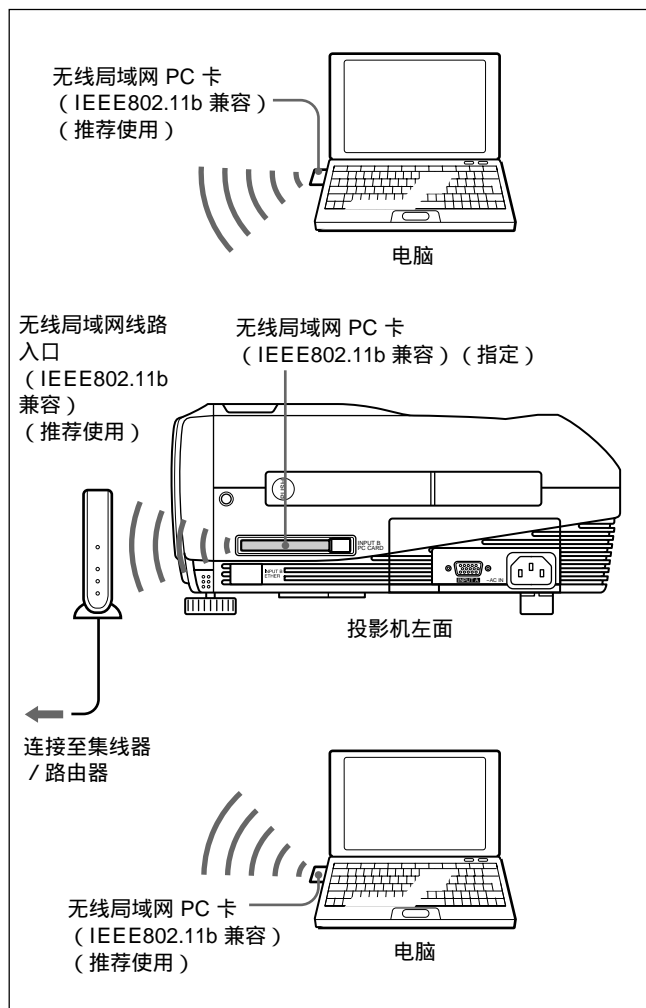
安装 PC 卡

使用无线局域网 PC 卡或内存卡时，请将卡插入 INPUT B PC CARD 插槽内。

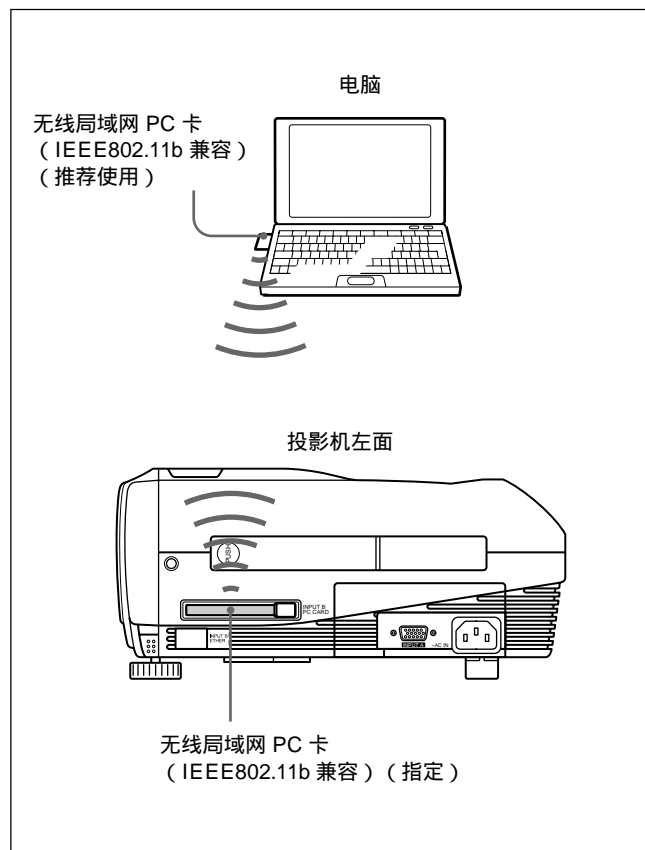


要从插槽内取出 PC 卡时，请按退出键。

用无线局域网 PC 卡连接



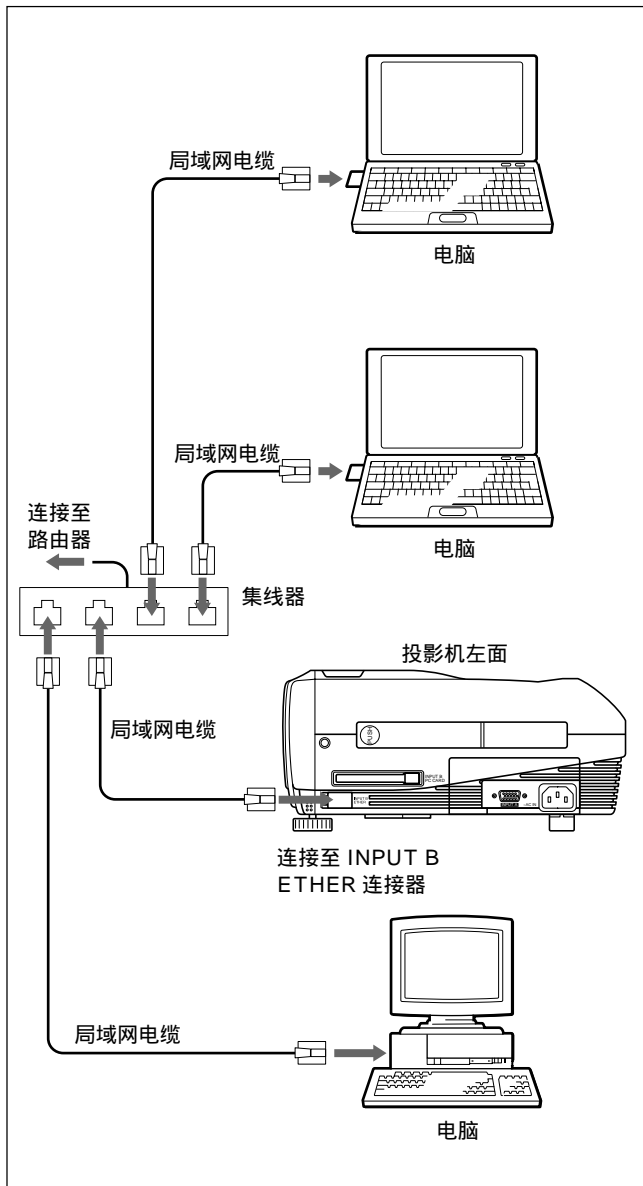
用无线局域网 PC 卡连接 (对等方式)



注意

- 有关所推荐的 PC 卡或无线局域网线路入口的细节, 请参见附带的“指定 / 推荐的 PC 卡 / 无线局域网线路入口一览表”。
- 使用局域网时, 必须设定 IP 地址。有关设定 IP 地址等的细节, 请参见附带的“网络用使用手册”。

用 ETHER 连接器连接



安装内存卡

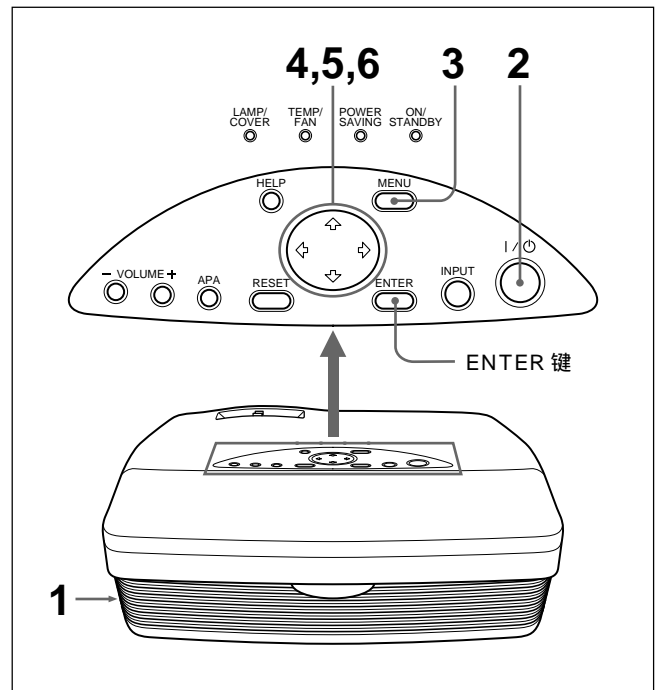
若要将用 Microsoft PowerPoint¹⁾ 制作的文件储存在内存卡内，并将卡插入 INPUT B PC CARD 插槽内，无需连接电脑便可启动显示。

有关插入和取出内存卡的方法，请参见第 19 (CS) 页中的“安装 PC 卡”。

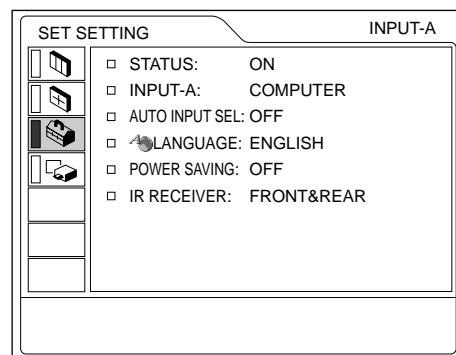
有关所推荐的内存卡的细节，请参见附带的“指定 / 推荐的 PC 卡 / 无线局域网线路入口一览表”。

选择项目单语言

可从 9 种语言中选择用于项目单和屏幕显示的语言。出厂设定为 ENGLISH。



- 1 将交流电源线插头插入墙上的电源插座。
- 2 按 I / 键接通电源。
- 3 按 MENU 键。
出现项目单显示。
- 4 按 或 键选择 SET SETTING (操作设定) 项目单，然后按 或 ENTER 键。
出现 SET SETTING (操作设定) 项目单。



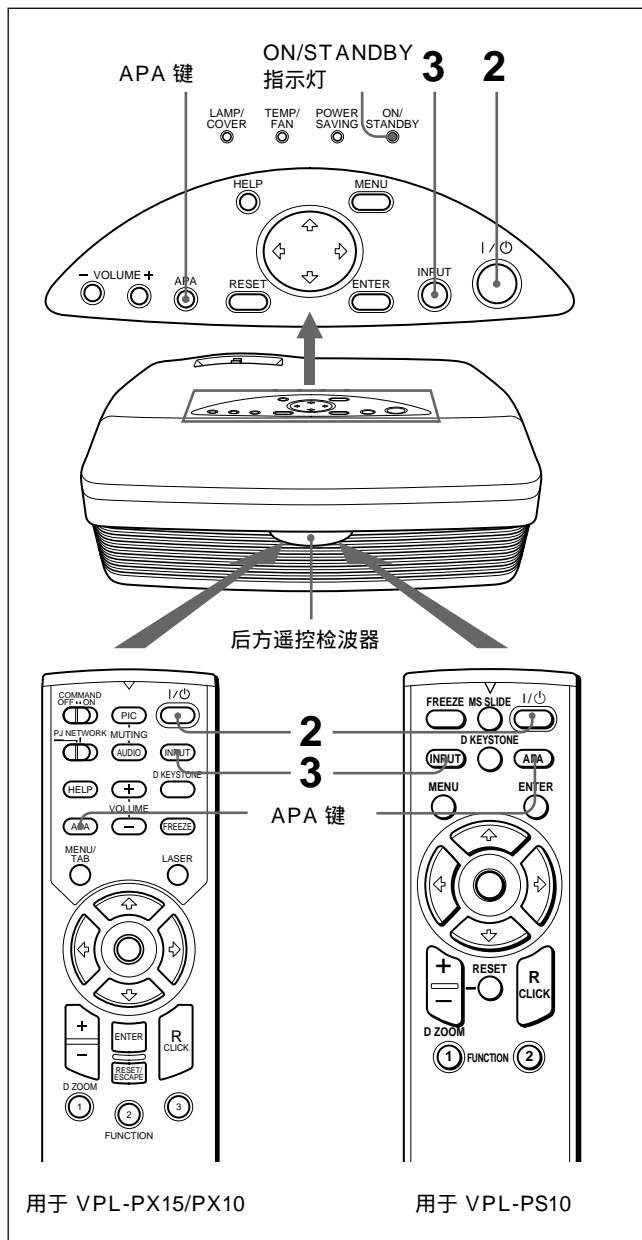
1) PowerPoint 是微软公司 (在美国和其他国家) 的注册商标。

- 按 **↑** 或 **↓** 键选择 LANGUAGE (语言), 然后按 **→** 或 ENTER 键。
- 按 **↑** 或 **↓** 键选择语言, 然后按 **←** 或 ENTER 键。
项目单变为所选择的语言。

要清除项目单显示
按 MENU 键。

如果一分钟内未按任何键, 项目单显示会自动消失。

投影



- 在所有装置连接完成后, 将交流电源线插头插入墙上电源插座。
ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色, 投影机进入待机状态。
- 按 I/O 键接通投影机电源。
ON/STANDBY 指示灯点亮呈绿色。
- 接通与投影机连接装置的电源。按 INPUT 键选择输入源。
输入 A: 选择从 INPUT A 连接器输入的视频信号。
输入 B (仅限于 VPL-PX15): 选择 INPUT B (Windows CE) 视窗的显示。
视频信号输入: 选择从视频输入连接器上的 VIDEO 插孔输入的视频信号。
S 视频信号输入: 选择从视频输入连接器上的 S VIDEO 连接器输入的视频信号。
- 转动变焦环调整图像的尺寸。
- 转动聚焦环调整聚焦。

注意

投影时直视透镜可能导致眼睛受伤。

要消除图像

按遥控器上的 PIC MUTING 键 (仅限于 VPL-PX15/PX10)。要恢复图像, 请再按一次 PIC MUTING 键。

要获取最清晰的图像

输入来自电脑的信号时, 可自动获取优质的图像。
按 APA 键。

要投影的图像即被自动调整得最清晰。

注意

- 在屏幕上显示出静像时，请调整信号。
- 完整的图像显示在屏幕上时，按 APA 键。如果图像周围有黑边，APA 功能无法正常运行，并且图像可能超出屏幕。
- 若切换输入信号或重新连接电脑，请再按一次 APA 键获取适当的图像。
- “调节”出现在屏幕上。要恢复原来的画面时，在调整中再按一次 APA 键。
- 图像调整后，“完毕！”出现在屏幕上。但根据输入信号的类型，图像也可能调整不好。
- 手动调整图像时，请调整输入设定项目单中的项目。
有关输入设定项目单的细节，请参见第 27 (CS) 页。

要修正梯形失真

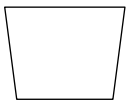
投影出现梯形失真时，请按遥控器上的 D KEYSTONE 键或调整安装设定项目单中的调整数字梯形失真项目来修正失真。

下边比上边长时，如下图所示：



设定为负值。

上边比下边长时，如下图所示：



设定为正值。

有关“调整数字梯形失真”的细节，请参见第 31 (CS) 页。

要关闭电源

- 1 按 I/⏻ 键。
屏幕出现“电源关闭？”。

注意

若按了 I/⏻ 键以外的任何键，或有 5 秒钟未按任何键，该信息将消失。

- 2 再按一次 I/⏻ 键。
ON/STANDBY 指示灯闪烁呈绿色，而冷却扇将继续运转约 90 秒钟以降低内部热量。同时，在此最初的 60 秒钟内 ON/STANDBY 指示灯将快速闪烁。在此最初的 60 秒钟内，您无法用 I/⏻ 键重新接通电源。

- 3 在风扇停止运转，并且 ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色后，将交流电源线插头从墙上电源插座拔出。

无法确认屏幕显示信息时

在任何时间无法确认屏幕显示信息时，可通过按住 I/⏻ 键约一秒钟来关闭电源。

注意

风扇仍在运转时，请勿拔出交流电源线插头。否则，风扇会在内部热量仍很高时停止运转。由此导致损坏投影机。

清洁空气滤网

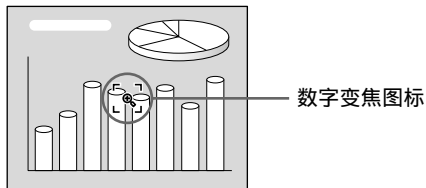
为保证最佳性能，请每间隔 300 小时清洁空气滤网。

要放大图像（数字变焦功能）

可以放大所选择图像上的区域。
只有输入电脑信号时，此功能才起作用。

- 1 投影原尺寸图像并按遥控器上的 D ZOOM + 键。

数字变焦图标出现在图像中央。

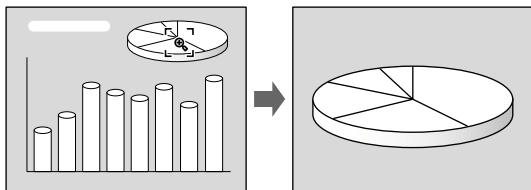


- 2 将图标移至要放大图像中央部分的点。用箭头键（↑/↓/←/→）移动图标。

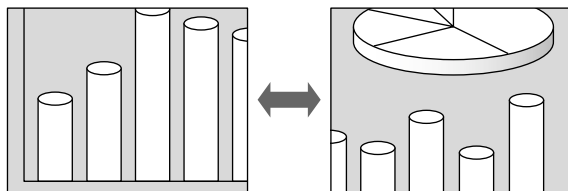
- 3 再按一次 D ZOOM + 键。

放大图标所在的图像部分。放大率显示在屏幕上数秒钟。

反复按 + 键，放大图像尺寸（最大放大率：4 倍）。



用箭头键（↑/↓/←/→）滚动所放大的图像。



要将图像恢复到原尺寸

按 D ZOOM - 键。仅按 RESET 键就可将图像恢复到其原来的尺寸。

要固定所投影的图像（固定功能）

按 FREEZE 键。按此键时出现“固定”。仅输入电脑的信号时，此功能才起作用。

要恢复原来的屏幕时，再按一次 FREEZE 键。

要使用激光指示器功能（仅限于 VPL-PX15/PX10）

按遥控器上的 LASER 键，显示激光指示器。该指示器有助于指明屏幕上的某一点。

使用项目单

本投影机配备有用于各种调整和设定的屏幕显示项目单。

注意

(仅限于 VPL-PX15/PX10)

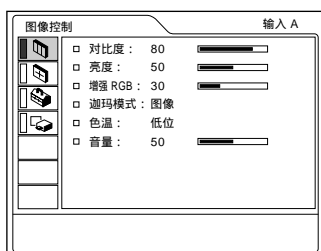
操作之前，请确认遥控器上的 PJ/NETWORK 选择开关被设定于 PJ。如果此开关被设定为 NETWORK，即使按遥控器上的 MENU 键，项目单显示也不会出现。

要选择项目单中的使用的语言时，请参见第 21 (CS) 页。

1 按 MENU 键。

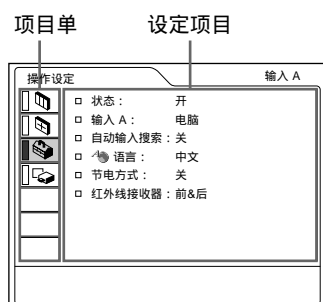
出现项目单显示。

当前所选择项目单以黄色键显示。



2 用 ↑ 或 ↓ 键选择项目，然后按 → 或 ENTER 键。

出现所选择项目单。



3 选择一个项目。

用 ↑ 或 ↓ 键选择项目，然后按 → 或 ENTER 键。

4 进行某一个项目的设定或调整。

有关设定各项目的细节，请参见有关项目单的说明页。

要取消项目单

按 MENU 键。

如果持续一分钟未按任何键，项目单显示画面会自动消失。

要使已调整项目的设定复原

按 RESET 键。

“完毕！”出现在屏幕上，且屏幕上出现的设定将被复原为其出厂预设值。

可复原的项目有：

- 图像控制项目单中的“对比度”、“亮度”、“色彩”、“色调”、“锐度”和“增强 RGB”。
- 输入设定项目单中的“点相位”、“尺寸 H”和“移位”。
- 安装设定项目单中的“调整数字梯形失真”。

关于设定值的存储

设定值被自动存入投影机的存储器中。

无信号输入时

无信号输入时，“无输入信号 - 无法调节此项目。”出现在屏幕上，各项目都无法调整。

关于项目单显示

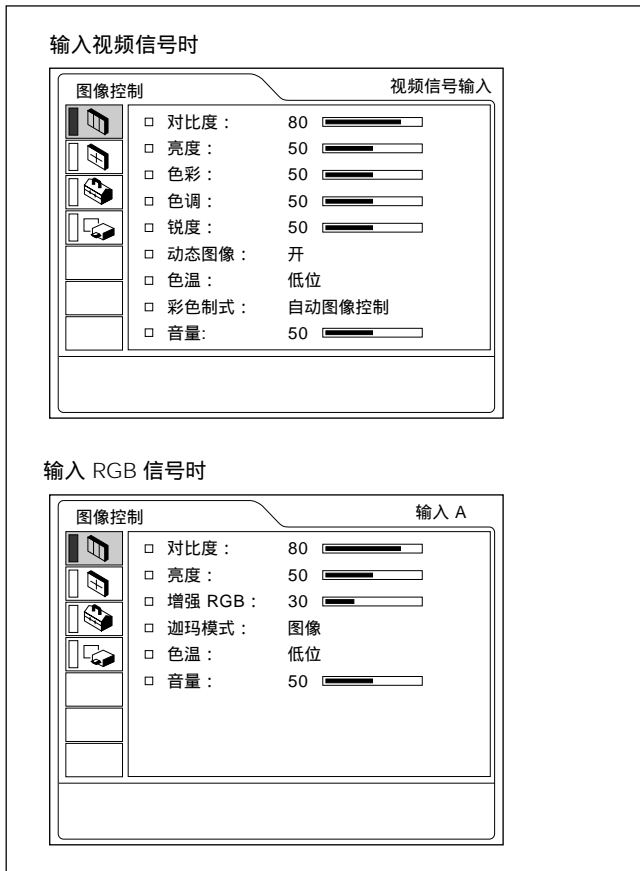
可以根据需要设定项目单的显示位置、背景图像的亮度和项目单项目的色彩。

有关细节，请参见第 31 (CS) 页。

图像控制项目单

图像控制项目单用于调整图像。

根据输入信号不同，项目单中无法调整的项目不显示。



操作方法

1. 选择某一项目

用 **↑** 或 **↓** 键选择项目，然后按 **→** 或 **ENTER** 键。

2. 调整某一项目

• 改变调整值时：

要增大数值，按 **↑** 或 **→** 键。

要减小数值，按 **↓** 或 **←** 键。

按 **ENTER** 键恢复原画面。

• 改变设定值时：

按 **↑** 或 **↓** 键改变设定。

按 **ENTER** 或 **←** 键恢复原画面。

对比度

调节图像对比度。

设定值越高，对比度越大。

设定值越低，对比度越小。

亮度

调节图像亮度。

设定值越高，图像越亮。

设定值越低，图像越暗。

色彩

调节色彩浓度。

设定值越高，浓度越大。

设定值越低，浓度越小。

色调

调节底色。

设定值越高，图像越偏绿。

设定值越低，图像越偏紫。

锐度

调节图像锐度。

设定值越高，图像越鲜明。

设定值越低，图像越柔和。

增强 RGB

输入 RGB 信号时，调节图像锐度。

设定值越高，图像越鲜明。

设定值越低，图像越柔和。

动态图像

强调黑色。

开：强调黑色以产生更显著的“生动”图像。

关：根据输入源的信号，准确地再现图像的暗部。

伽玛模式

选择一种伽玛校正曲线。

图像：改善中间色调的再现效果。照片可以自然色调再现。

文本：增强黑白对比度。适用于含大量文字的图像。

色温

调节色温。

高位：使白色偏蓝。

低位：使白色偏红。

彩色制式

选择输入信号的彩色制式。

自动：自动选择以下信号中的一个：NTSC^{3.58}、PAL、SECAM、NTSC^{4.43}。

PAL-M/N：自动选择以下信号中的一个：PAL-M/PAL-N、NTSC^{3.58}。

通常设定为自动。

若图像失真或无彩色，根据输入信号选择彩色制式。

音量

调节音量。可以分别调节输入 A、输入 B（仅限于 VPL-PX15）、视频和 S 视频信号输入的音量。

输入信号和可调整 / 设定项目

项目	输入信号			
	视频或 S 视频 (Y/C)	分量	视频 GBR	RGB ¹⁾
对比度	●	●	●	●
亮度	●	●	●	●
色彩	● (B & W 除外)	●	●	-
色调	● (仅限于 NTSC 3.58/4.43)	●	●	-
锐度	●	●	●	-
增强 RGB	-	-	-	●
动态图像	●	●	-	-
伽玛模式	-	-	-	●
色温	●	●	●	●
彩色制式	●	-	-	-
音量	●	●	●	●

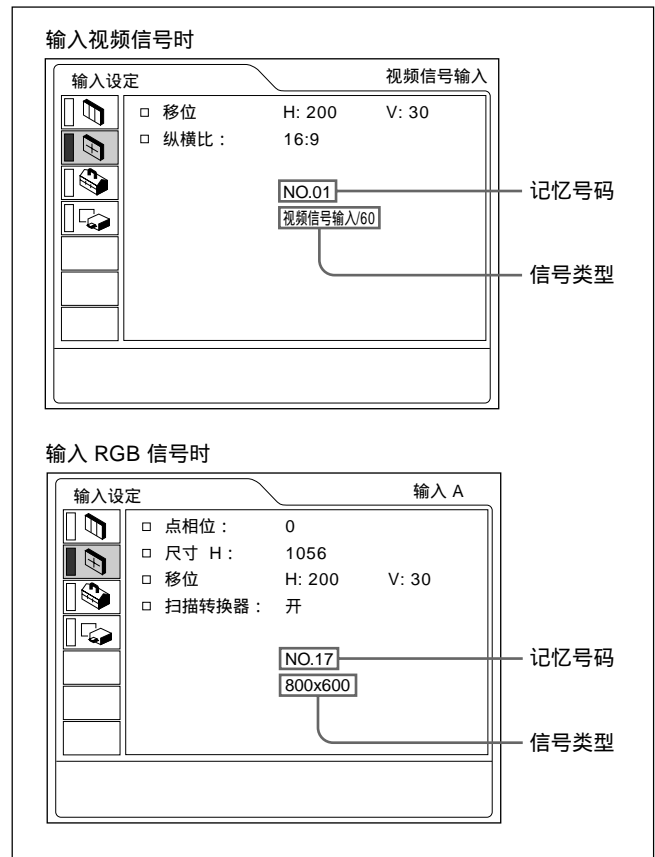
●：可调整 / 可设定
-：不可调整 / 不可设定

1) 电脑的 RGB 信号

输入设定项目单

输入设定项目单用于调整输入信号。

根据输入信号不同，项目单中无法调整的项目不显示。



操作方法

- 选择某一项目
用 ↑ 或 ↓ 键选择项目，然后按 → 或 ENTER 键。
- 调整某一项目
 - 改变调整值时：
 - 要增大数值，按 ↑ 或 → 键。
 - 要减小数值，按 ↓ 或 ← 键。
 - 按 ENTER 键恢复原画面。
 - 改变设定值时：
 - 按 ↑ 或 ↓ 键改变设定。
 - 按 ENTER 或 ← 键恢复原画面。

点相位

调整液晶显示板和从 INPUT A/B 连接器输入信号的点相位。在按 APA 键调整图像之后进一步调整，以获取更精细的图像。
将图像调整至最清晰。

尺寸 H

调整从 INPUT A/B 连接器输入图像的水平尺寸。
 设定值越高，图像的水平尺寸越大。
 设定值越低，图像的水平尺寸越小。请根据输入信号的点数调整设定值。
 关于对预置信号合适值的详细说明，请参见第 29 (CS) 页。

移位

调整从 INPUT A/B 连接器或视频输入连接器输入图像的位置。
 H 调节图像的水平位置。
 V 调节图像的垂直位置。
 随着 H 设定值的增大，图像向右移动，随着 H 设定值的减小，图像向左移动。
 随着 V 设定值的增大，图像向上移动，随着 V 设定值的减小，图像向下移动。
 用 ← 或 → 调整水平位置，用 ↑ 或 ↓ 调整纵向位置。

纵横比

设定图像纵横比。
 从 DVD 播放机等装置输入 16:9 (压缩) 信号时，设定为 16:9。
 4:3：输入纵横比为 4:3 的图像时。
 16:9：输入纵横比为 16:9 (压缩) 的图像时。

扫描转换器

转换信号以根据屏幕尺寸显示图像。
 开：根据屏幕尺寸显示图像。图像可能会损失一些清晰度。
 关：在匹配输入图像信号和液晶显示屏的像素时显示图像。图像清晰但图像尺寸会变小。

注意

此项目在以下情况时不会显示。
 VPL-PX15/PX10：输入 XGA 或 SXGA 信号时。
 VPL-PS10：输入 SVGA、XGA 或 SXGA 信号时。

输入信号和可调整 / 设定项目

项目	输入信号			
	视频或 S 视频 (Y/C)	分量	视频 GBR	RGB ¹⁾
点相位	-	-	-	●
尺寸 H	-	-	-	●
移位	●	●	●	●
纵横比	●	●	●	-
扫描转换器	-	-	-	● ²⁾

●：可调整 / 可设定
 -：不可调整 / 不可设定

- 1) 电脑的 RGB 信号
- 2) VPL-PX15/PX10：仅低于 SVGA 信号。
 VPL-PS10：仅低于 VGA 信号。

关于预置记忆号码

本投影机预置有 37 种输入信号数据 (预置记忆)。输入预置信号时，现在的输入信号的记忆号码及信号类型显示出来。本投影机自动检测信号类型。信号记录于预置记忆时，根据信号类型，合适的图像显示在屏幕上。可用输入设定项目单调整图像。本投影机对各输入 A/B 连接器还有 20 种用户记忆。第一次输入非预置信号时，记忆号码显示为 0。若在输入设定项目单中调整输入信号，通过输入 A / 输入 B 的信号设定值得到储存。对各输入 A/B 记录了 20 种以上用户记忆时，最新的记忆项目自动改写最旧值。

预置信号

记忆号码	预置信号	行频 (kHz)	场频 (Hz)	同步	尺寸 H	
1	视频 60 Hz	15.734	59.940	H-负 V-负		
2	视频 50 Hz	15.625	50.000	H-负 V-负		
3	480/60i	15.734	59.940	G/Y 同步		
4	575/50i	15.625	50.000	或复合同步		
6	640 × 350	VGA 模式 1	31.469	70.086	H-正 V-负	800
7		VGA VESA ¹⁾ 85 Hz	37.861	85.080	H-正 V-负	832
8	640 × 400	PC-9801 ²⁾ 普通	24.823	56.416	H-负 V-负	848
9		VGA 模式 2	31.469	70.086	H-负 V-正	800
10		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H-负 V-正	832
11	640 × 480	VGA 模式 3	31.469	59.940	H-负 V-负	800
12		Macintosh 13	35.000	66.667	H-负 V-负	864
13		VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	H-负 V-负	832
14		VGA VESA 75 Hz	37.500	75.000	H-负 V-负	840
15		VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	H-负 V-负	832
16	800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.250	H-正 V-正	1024
17		SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	H-正 V-正	1056
18		SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	H-正 V-正	1040
19		SVGA VESA 75 Hz	46.875	75.000	H-正 V-正	1056
20		SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	H-正 V-正	1048
21	832 × 624	Macintosh 16	49.724	74.550	H-负 V-负	1152
22	1024 × 768	XGA VESA 43 Hz	35.524	43.479	H-正 V-正	1264
23		XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	H-负 V-负	1344
24		XGA VESA 70 Hz	56.476	69.955	H-负 V-负	1328
25		XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	H-正 V-正	1312
26		XGA VESA 85 Hz	68.677	84.997	H-正 V-正	1376
27	1152 × 864	SXGA VESA 70 Hz	63.995	70.016	H-正 V-正	1472
28		SXGA VESA 75 Hz	67.500	75.000	H-正 V-正	1600
29		SXGA VESA 85 Hz	77.487	85.057	H-正 V-正	1568
30	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H-负 V-负	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	复合同步	1472
32	1280 × 960	SXGA VESA 60 Hz	60.000	60.000	H-正 V-正	1800
33		SXGA VESA 75 Hz	75.000	75.000	H-正 V-正	1728
34	1280 × 1024	SXGA VESA 43 Hz	46.433	43.436	H-正 V-正	1696
35		SXI-5	53.316	50.062	绿同步	1680
36		SXGA VESA 60 Hz	63.974	60.013	H-正 V-正	1696
37		SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	H-正 V-正	1688
38		SXGA VESA 85 Hz	91.146	85.024	H-正 V-正	1530

1) VESA 是视频电子标准协会的注册商标。

2) PC-98 是 NEC 公司的注册商标。

因为从下列信号的预置记忆调用数据，可通过调整尺寸 H 项目使用这些预置数据。通过调整移位项目进行微调。

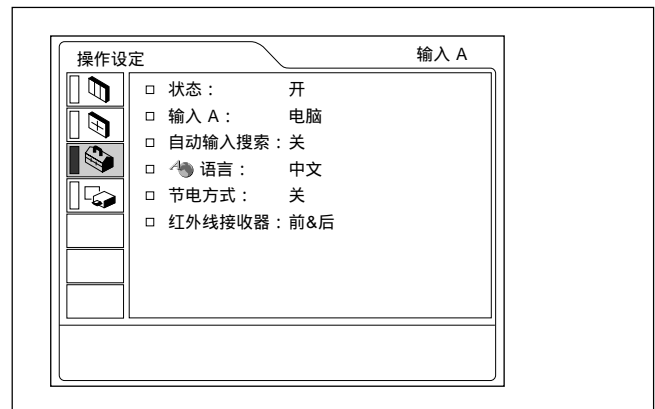
信号	记忆号码	尺寸 H
Super Mac-2	23	1312
SXI-1	23	1320
Macintosh 19	25	1328
Macintosh 21	27	1456
Sony News	36	1708
PC-9821 1280 × 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

注意

输入信号的纵横比不是 4:3 时，部分画面显示为黑色。

操作设定项目单

操作设定项目单用于改变投影机的操作设定。



操作方法

1. 选择某一项目

用 **↑** 或 **↓** 键选择项目，然后按 **→** 或 **ENTER** 键。

2. 改变设定

按 **↑** 或 **↓** 键改变设定。

要恢复原画面时，按 **ENTER** 键或 **←** 键。

状态（屏幕显示）

设定屏幕显示状态。

开：显示所有屏幕显示内容。

关：除项目单、关闭电源时的信息和警告信息之外，关闭所有显示内容。

关于警告信息的细节，请参见第 38 (CS) 页。

输入 A

选择由 INPUT A 连接器输入的电脑、分量或视频 GBR (15k RGB) 信号。

注意

如果该设定不正确，“请确认输入 A 设定。”出现在屏幕上，图像彩色变得异常，或图像未显示出来。

自动输入搜索

设定为开时，投影机按以下顺序检测输入信号：输入 A / 输入 B (仅限于 VPL-PX15) / 视频信号输入 / S 视频信号输入。接通电源或按 INPUT 键时，将指示输入信道。

语言

选择用于项目单和屏幕显示的语言。

可供选择的语言有：英语、法语、德语、意大利语、西班牙语、日语、中文、葡萄牙语和韩国语。

节电方式

设定为开时，若持续 10 分钟无信号输入，投影机即进入节电方式。

红外线接收器

选择位于投影机前后的遥控检波器。

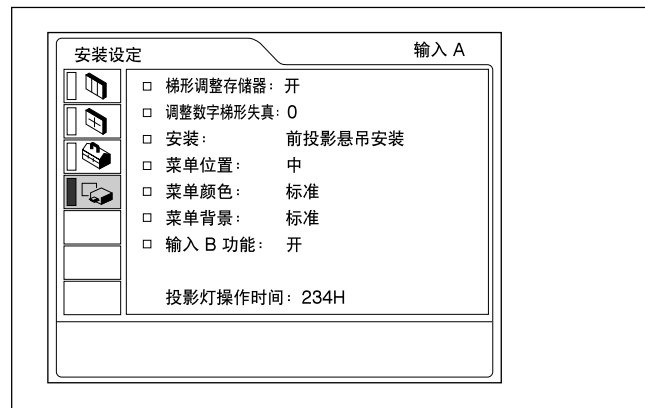
前&后：同时启动前方和后方检波器。

前：启动前方检波器。

后：启动后方检波器。

安装设定项目单

安装设定项目单用于改变投影机的安装设定。



输入 B 功能仅显示于 VPL-PX15。

操作方法

1. 选择某一项目

用 **↑** 或 **↓** 键选择项目，然后按 **→** 或 ENTER 键。

2. 调整某一项目

• 改变调整值时：

要增大数值，按 **↑** 或 **→** 键。

要减小数值，按 **↓** 或 **←** 键。

按 ENTER 键恢复原画面。

• 改变设定时：

按 **↑** 或 **↓** 键改变设定。

按 ENTER 或 **←** 键恢复原画面。

梯形调整存储器

开：存储调整数字梯形失真的设定。

投影机接通电源时，数据将被重新检索。每次将保留相同的设定。

关：下次电源接通时，调整数字梯形失真项目恢复为 0。

调整数字梯形失真

纠正因投影角度引起的梯形失真。

如果下边过长，设定为负值；如果上边过长，则设定为正值以显示长方形图像。

安装

水平或垂直反转图像。

前投影落地安装：图像未反转。

前投影悬吊安装：图像水平和垂直反转。

后投影落地安装：图像水平反转。

后投影悬吊安装：图像垂直反转。

注意

使用镜子时，注意图像反转时如何进行安装。

菜单位置

从左上、左下、中、右上、右下选择项目单的显示位置。

菜单颜色

从标准、暖、冷、绿或灰中选择项目单显示的色调。

菜单背景

从暗淡、标准或明亮中选择项目单显示的背景图像的亮度。

输入 B 功能（仅限于 VPL-PX15）

使用 Windows CE 功能时设定为开。

注意

在将设定由开切换为关之前，务必先退出开着的所有软件。否则，可能会发生系统故障，并且无法重新启动投影机。

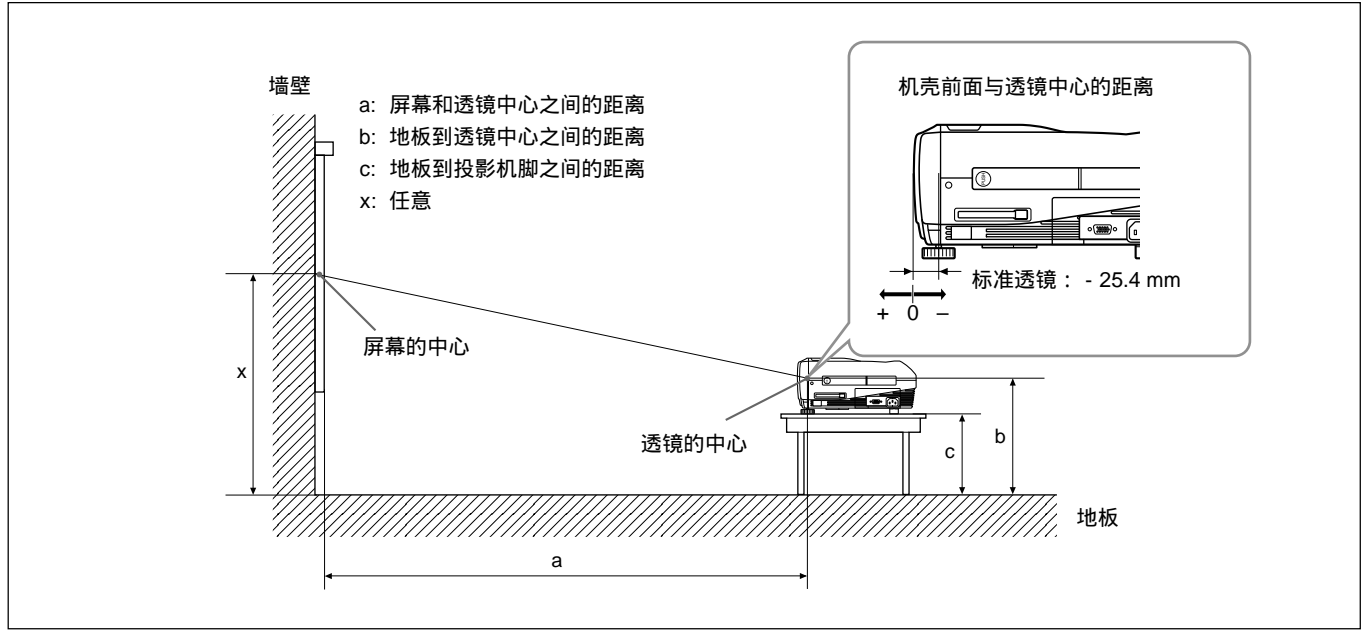
投影灯操作时间

显示投影灯的操作时间。

注意

只能显示时间。不能改变显示。

安装示例



VPL-PX15/PX10

单位: mm

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1458	2217	2977	3736	4495	5635	6774	7533	9432	11330
	最大	1764	2675	3586	4497	5408	6774	8141	9052	11329	13607
b		x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
c		x-388	x-541	x-693	x-845	x-998	x-1226	x-1455	x-1607	x-1988	x-2369

要计算安装尺寸 (单位: mm)

SS: 屏幕对角尺寸 (英寸)

$$a (\text{最小}) = \{(SS \times 33.60 / 0.9071) - 59.7012\} \times 1.025$$

$$a (\text{最大}) = \{(SS \times 42.376846 / 0.9071) - 59.62151\} \times 0.975$$

$$b = x - (SS / 0.9071 \times 6.912)$$

$$c = x - (SS / 0.9071 \times 6.912 + 83.4)$$

VPL-PS10

单位: mm

SS		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1461	2221	2982	3742	4503	5644	6784	7545	9446	11348
	最大	1767	2680	3592	4505	5417	6786	8154	9067	11348	13629
b		x-305	x-458	x-611	x-763	x-916	x-1145	x-1374	x-1527	x-1908	x-2290
c		x-389	x-541	x-694	x-847	x-999	x-1228	x-1457	x-1610	x-1992	x-2373

要计算安装尺寸 (单位: mm)

SS: 屏幕对角尺寸 (英寸)

$$a (\text{最小}) = \{(SS \times 33.59 / 0.9055) - 59\} \times 1.025$$

$$a (\text{最大}) = \{(SS \times 42.370377 / 0.9055) - 58.9761\} \times 0.975$$

$$b = x - (SS / 0.9055 \times 6.912)$$

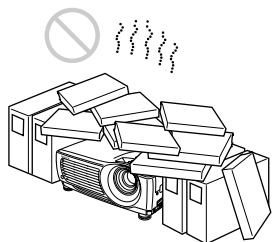
$$c = x - (SS / 0.9055 \times 6.912 + 83.4)$$

安装提示

不当安装

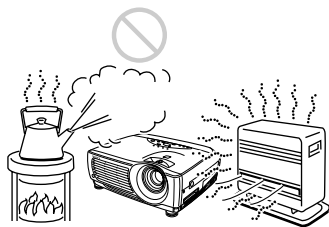
请勿将投影机安装在下列场所。否则可能导致故障或损坏投影机。

通风不良



- 保证通风良好以免内部聚热。请勿将本机放在可能堵塞通风孔的地毯、毛毯等面上或窗帘、帷幕等附近。因堵塞而使内部聚热时，温度感应器将发出警告信息显示，并且电源将在一分钟后自动关闭。
- 在本机四周留出 50 cm 以上的空间。
- 小心请勿使通风孔吸入纸屑等。

高温高湿



- 请勿将本机安装在温度或湿度极高、或温度极低之处。
- 为避免湿气凝聚，请勿将本机安装在温度可能快速升高之处。

多尘

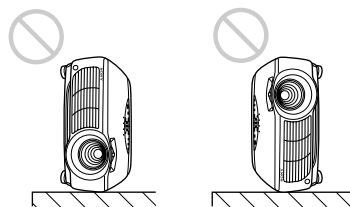


请勿将本机安装在多尘之处，否则空气滤网会被堵塞。阻碍空气透过滤网的灰尘会导致投影机内部热量升高。请定期清洁空气滤网。

有关使用的不适环境

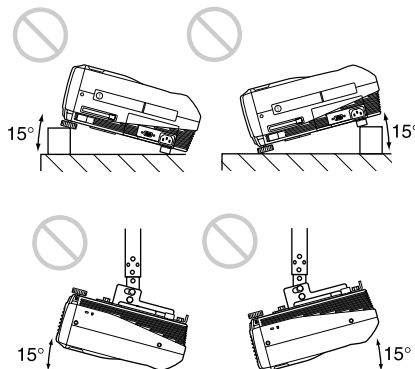
请勿发生以下情况。

倾倒本机



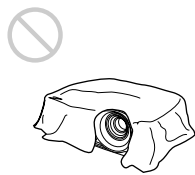
避免将本机放置在会倾倒之处。否则可能引起故障。

倾斜本机超过 15 度



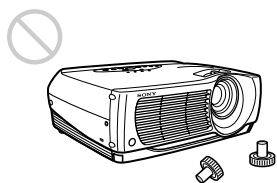
本机倾斜超过 15 度时请勿使用。这样安装可能引起故障。

堵塞通风孔



请勿用物品盖住通风孔（排气 / 进气），否则内部热量聚积。

取下调整器



请勿在取下调整器时使用本机，否则会堵塞通风孔（进气）使内部聚热。

维修保养

注意

- 如果投影灯坏了，请与 Sony 指定的专业人员联系。
- 应握住把手取出投影灯装置。如果直接接触投影灯装置，有可能被烫伤。
- 更换投影灯装置时，必须保持该装置的水平状态，然后再垂直地拉出。此时切勿使之倾斜。若在倾斜的状态下拉出投影灯装置而投影灯破碎，则飞散的碎片会使您受伤。

更换投影灯

投影灯泡烧坏、变暗或屏幕上出现“请更换灯泡。”信息时，请换上新灯泡。投影灯泡的使用寿命依使用情况而异。使用大约 1500 小时后出现此信息。

更换投影灯泡时，请使用 LMP-P202 投影灯泡。

使用投影机后更换投影灯泡

关闭投影机，然后拔出电源线。

至少等 1 小时冷却后再进行更换。

注意

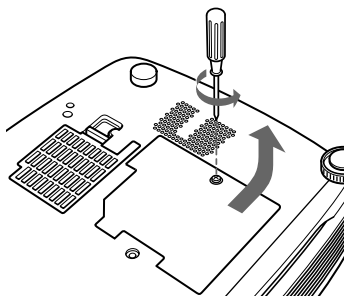
用 I / ⏻ 键关闭投影机后，投影灯泡仍处于高温状态。如果触摸灯泡，可能会烫伤手指。由此，更换投影灯泡时，应至少等 1 小时冷却后再进行更换。

- 1 在投影机下放置防护垫（布），握住投影机把手将投影机朝下放置。

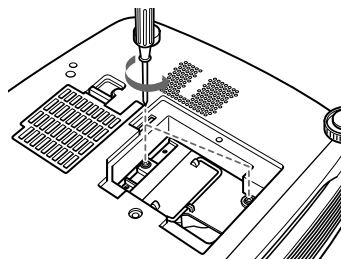
注意

更换投影灯泡时，应使投影机安放在平稳的表面上。

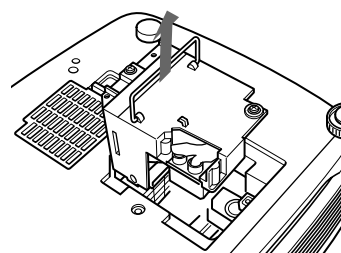
- 2 用菲利浦螺丝刀拧开螺丝后滑动并打开投影灯盖板。



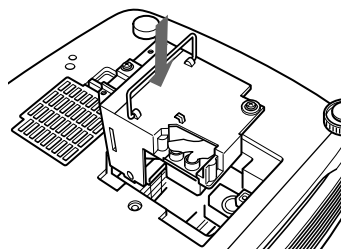
- 3 用菲利浦螺丝刀拧开投影灯装置上的螺丝。



- 4 握住把手并保持投影灯装置的水平状态，将其垂直拉出。



- 5 插入新的投影灯泡直至其完全到位。拧紧两颗螺丝，放下把手。



注意

- 小心切勿触摸投影灯泡的玻璃表面。
- 如果投影灯泡未固定好，电源将无法接通。

- 6 关上投影灯盖板并拧紧螺丝。

- 7 翻转投影机。

- 8 连接电源线，将投影机设置为待机模式。

- 9 按以下步骤按控制面板上的键，每按一个键不得超过 5 秒钟：RESET、←、→、ENTER。

注意

- 请务必使用 LMP-P202 投影灯泡进行更换。如果使用 LMP-P202 以外的投影灯泡，投影机可能会出现故障。
- 更换灯泡前，请务必关闭投影机并拔下电源线。
- 请勿将手伸进更换灯泡处，并切勿掉入液体或物体以免引起电击或火灾。

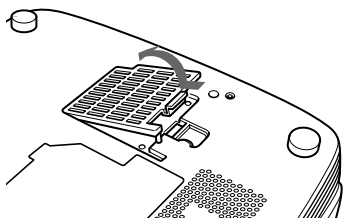
废投影灯泡的处理

投影灯泡的制造材料类似荧光灯泡，由此，应该象处理荧光灯泡一样处理废投影灯泡。

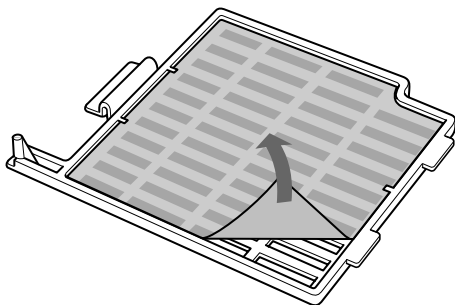
清洁空气滤网

空气滤网应该每 300 小时清洁一次。滤网上的积尘变得难以清除时，请换上新滤网。要清洁空气滤网，请进行以下步骤：

- 1 关闭电源并拔出电源线插头。
- 2 取下投影机底部的空气滤网盖板。



- 3 取下空气滤网。



- 4 用中性清洁剂溶液清洗空气滤网，并在阴凉处将其晾干。

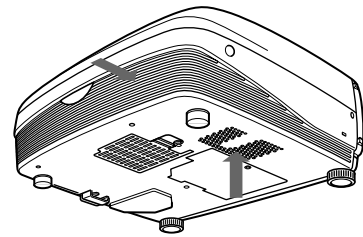
- 5 将空气滤网挂在空气滤网盖板的支架上，然后装上空气滤网并装回盖板。

注意

- 如果无法从空气滤网去除积尘，请换上附带的新空气滤网。
- 请务必牢固安装空气滤网盖板，若闭合不严，就无法接通电源。
- 请将空气滤网对准空气滤网盖板上的槽口安装。

要清洁通风孔

清洁空气滤网时，同时也请清洁通风孔（进气、后面和底部）。请用真空吸尘器从通风孔外侧清除灰尘。



故障排除

若投影机出现操作异常,请试用以下方法诊断并解决问题。如果仍存在问题,请与有资格的 Sony 公司专业人员联系。

电源

症状	原因	对策
电源接不通。	用 I/⏻ 键在极短的时间间隔内开关电源所致。	在接通电源前稍候约 90 秒钟 (参见第 23 (CS) 页)。
	投影灯盖板脱落。	关严投影灯盖板 (参见第 35 (CS) 页)。
	空气滤网盖板脱落。	关严空气滤网盖板 (参见第 36 (CS) 页)。

图像

症状	原因	对策
无图像。	电缆脱落或连接错误。	检查连接是否正确 (参见第 16 (CS) 页至 21 (CS) 页)。
	输入选择不正确。	用 INPUT 键正确选择输入源 (参见第 22 (CS) 页)。
	图像被消除。	按 VPL-PX15/PX10 遥控器上的 PIC MUTING 键, 解除消除功能 (参见第 12 (CS) 页)。
	电脑的信号未被设定为向外接显示器输出。	将电脑信号设定为向外接显示器输出 (参见第 16 (CS) 页)。
	电脑的信号被同时设定为向电脑的液晶显示屏和向外接显示器输出。	将电脑信号设定为仅向外接显示器输出 (参见第 16 (CS) 页)。
图像有杂纹。	根据从连接器输入的点数与液晶显示面板的像素数的组合情况, 背景上可能出现杂纹。	改变所连接电脑的桌面图案。
屏幕显示画面不出现。	操作设定项目单中的状态项目设定为关。	将操作设定项目单中的状态项目设定为开 (参见第 30 (CS) 页)。
来自 INPUT B 的图像被固定。 (仅限于 VPL-PX15)	网络软件有问题。	将安装设定项目单中的输入 B 功能设定为关, 然后再将其设定为开 (参见第 31 (CS) 页)。
视频图像的彩色平衡异常。	输入信号的彩色制式的设定不正确。	将图像控制项目单中的彩色制式设定为符合输入信号的彩色制式 (参见第 27 (CS) 页)。

声音

症状	原因	对策
无声音。	电缆脱落或连接错误。	检查连接是否正确 (参见第 16 (CS) 页至 21 (CS) 页)。
	声音被消除。	按 VPL-PX15/PX10 遥控器上的 AUDIO MUTING 键, 解除消除功能 (参见第 12 (CS) 页)。
通过 AUDIO 插孔输入声音时, 声音仅通过一个频道传出。	通过 AUDIO 插孔输入了单声道。	输入立体声。

其他

症状	原因	对策
LAMP/COVER 指示灯闪烁。	投影灯盖板或空气滤网盖板脱落。	将盖板安装牢固 (参见第 35 (CS) 页和 36 (CS) 页)。
LAMP/COVER 指示灯点亮。	投影灯泡不能再用。	更换投影灯泡 (参见第 35 (CS) 页)。
	投影灯泡温度太高。	稍候 90 秒钟以使投影灯泡降温, 然后再接通电源 (参见第 23 (CS) 页)。
TEMP/FAN 指示灯闪烁。	风扇损坏。	请与 Sony 公司专业人员联系。
TEMP/FAN 指示灯点亮。	内部温度异常高。	检查是否有物体堵塞通风孔。
LAMP/COVER 和 TEMP/FAN 指示灯同时点亮。	电力系统出故障。	请与 Sony 公司专业人员联系。
INPUT B 视窗未出现或未选择输入 B。 (仅限于 VPL-PX15)	输入 B 功能被设定为关。	将安装设定项目单中的输入 B 功能设定为开 (参见第 31 (CS) 页)。
即使按 VPL-PX15/PX10 遥控器上的 MENU 键, 项目单显示也不会出现。	遥控器上的 PJ/NETWORK 选择开关被设定为 NETWORK。	将 PJ/NETWORK 选择开关设定为 PJ, 然后按 MENU 键。

警告信息

请参照下表查看屏幕显示信息的含义。

信息	含义	对策
操作温度过高! 将在 1 分钟之后关灯。	内部温度过高。	关闭电源。 检查是否有物体堵塞通风孔。
频率在接受范围之外!	由于频率超出投影机的接收范围, 故输入信号不能被投影。	输入频率范围内的信号。
	电脑的输出信号的分辨率设定过高。	将输出设定值设定为 XGA (VPL-PX15/PX10) 或 SVGA (VPL-PS10) (参见第 16 (CS) 页)。
请确认输入 A 设定。	在操作设定项目单中的输入 A 项目被设定为分量或 VIDEO GBR 时, 从电脑输入了 RGB 信号。	正确设定输入 A 项目 (参见第 30 (CS) 页)。
请更换灯泡。	需要更换投影灯泡。	请更换投影灯泡。
Backup Battery Very Low (仅限于 VPL-PX15)	用于网络的备用电池已耗尽。	请与 Sony 公司专业人员联系。

提醒信息

请参照下表查看屏幕显示信息的含义。

信息	含义	对策
无输入信号	无输入信号。	检查连接 (参见第 16 (CS) 页至 21 (CS) 页)。
不适用!	按错了键。	按相应的键。

规格

光学特性

投影系统	3 块液晶显示面板，1 个透镜， 投影系统
液晶显示面板	VPL-PX15/PX10: 0.9 英寸 TFT 带微透镜阵列的液晶显 示面板，2,359,296 像素 (786,432 像素 × 3) VPL-PS10: 0.9 英寸 TFT 液晶 显示面板，1,440,000 像素 (480,000 像素 × 3)
透镜	1.3 倍变焦镜头 (手动) f 33.6 至 42 mm/F 1.7 至 2.1
投影灯	200 W UHP
投影图像尺寸	范围：40 至 300 英寸 (对角线测 量)
光输出	VPL-PX15/PX10: ANSI 流明 ¹⁾ 2000 lm VPL-PS10: ANSI 流明 1500 lm
投影距离	VPL-PX15/PX10 (输入 XGA 信号时) 40 英寸：1458 至 1764 mm 60 英寸：2217 至 2675 mm 80 英寸：2977 至 3586 mm 100 英寸：3736 至 4497 mm 120 英寸：4495 至 5408 mm 150 英寸：5635 至 6774 mm 180 英寸：6774 至 8141 mm 200 英寸：7533 至 9052 mm 250 英寸：9432 至 11329 mm 300 英寸：11330 至 13607 mm VPL-PS10 (输入 SVGA 信号 时) 40 英寸：1461 至 1767 mm 60 英寸：2221 至 2680 mm 80 英寸：2982 至 3592 mm 100 英寸：3742 至 4505 mm 120 英寸：4503 至 5417 mm 150 英寸：5644 至 6786 mm

180 英寸：6784 至 8154 mm
200 英寸：7545 至 9067 mm
250 英寸：9446 至 11348 mm
300 英寸：11348 至 13629 mm

电气特性

彩色制式	NTSC _{3.58} /PAL/SECAM/NTSC _{4.43} / PAL-M/PAL-N 制式， 自动 / 手动转换
分辨率	VPL-PX15/PX10: 750 行电视线 (视频输入) 1024 × 768 点 (RGB 输入) VPL-PS10: 600 行电视线 (视频输入) 800 × 600 点 (RGB 输入)
可接收的电脑信号	行频：15 至 91 kHz 场频：43 至 85 Hz
扬声器	立体声扬声器系统， 直径 28 mm、最大 0.5 W × 2

输入 / 输出

视频输入	S 视频信号输入: Y/C 微型 DIN 4 芯型 (雌) Y (亮度): 1 Vp-p ± 2 dB 负同步 (75 Ω 终端) C (色度): 彩色同步 0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC) (75 Ω 终端)， 彩色同步 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL) (75 Ω 终端) VIDEO: 屏蔽型 复合视频: 1 Vp-p ± 2 dB 负同步 (75 Ω 终端) AUDIO: 立体声微型插孔 500 mVrms, 阻抗大于 47 kΩ
------	--

1) ANSI 流明是美国国家标准 IT7.228 定义的一种测量方法。

INPUT A	INPUT A: HD D 副 15 芯 (雌) 模拟 RGB / 分量 : R/R-Y: 0.7 V _{p-p} ± 2 dB (75 Ω 终端) G: 0.7 V _{p-p} ± 2 dB (75 Ω 终端) 带同步信号 G/Y: 1 V _{p-p} ± 2 dB 负同步 (75 Ω 终端) B/B-Y: 0.7 V _{p-p} ± 2 dB (75 Ω 终端) SYNC/HD: 复合同步输入 : 1-5 V _{p-p} 高阻抗, 正 / 负极性 行同步输入: 1-5 V _{p-p} 高阻 抗, 正 / 负极性 VD: 场同步输入 : 1-5 V _{p-p} 高阻抗, 正 / 负极性 AUDIO: 立体声微型插孔 500 mV _{rms} , 阻抗大于 47 kΩ	激光束 (仅限于 VPL-PX15/PX10)	
		激光类型	2 类
		波长	645 nm
		输出	1 mW
		一般	
		尺寸	325 × 110 × 285 mm (宽 / 高 / 深) (无凹出部分)
		重量	VPL-PX15: 约 5.3 kg VPL-PX10/PS10: 约 4.9 kg
		电源	VPL-PX15: 交流 100 至 240 V , 3.0 - 1.25 A , 50/60 Hz VPL-PX10/PS10: 交流 100 至 240 V , 2.9 - 1.2 A , 50/60 Hz
		功耗	VPL-PX15: 最大 300 W (待机状态 : 4.9 W) (输入 B 功能设定为开时 : 9.0 W) VPL-PX10/PS10: 最大 290 W (待机状态 : 4.7 W)
		热耗	VPL-PX15: 1023.9 BTU VPL-PX10/PS10: 989.6 BTU
		工作温度	0 °C 至 35 °C
		工作湿度	35 % 至 85 % (无凝结)
		保存温度	- 20 °C 至 60 °C
		保存湿度	10 % 至 90 %
		随机附件	遥控器 RM - PJM 15 (仅限于 VPL-PX15/PX10) (1) 遥控器 RM - PJM 11 (仅限于 VPL-PS10) (1) R6 (AA 尺寸) 电池 (2) HD D 副 15 芯电缆 (2 m) (1) (1-791-992-21) PS/2 鼠标器电缆 (2 m) (1) (1-792-424-12) USB 电缆 A 型 - B 型 (1) (1-790-081-11) CD-ROM (应用软件) (1) 交流电源线 (1) 空气滤网 (更换用) (1)
MOUSE	6 芯 (雌) (详见第 41 (CS) 页 的“管脚配置”。)		
INPUT B (仅限于 VPL-PX15)	ETHER 10BASE-T 标准 100BASE-TX 标准 PC CARD 插槽 PC CARD 插槽型 II		
USB 集线器	上游 (B 型 : 雌) × 1 下游 (A 型 : 雌) × 1		
CONTROL S IN/PLUG IN POWER	立体声微型插孔 5 V _{p-p} , 插入式 电源, 直流 5 V		
安全规范	UL1950 cUL (CSA No. 950) FCC Class A IC Class A NEMKO (EN60950) CE (LVD, EMC) C-Tick CCIB		

透镜盖 (1)
 使用说明书 (1)
 网络用使用手册
 (仅限于 VPL-PX15) (1)
 经销商用安装说明书 (1)
 指定 / 推荐的 PC 卡 / 无线局域网
 网线路入口一览表
 (仅限于 VPL-PX15) (1)
 简易说明书 (1)

设计和规格如有变更，恕不另行通知。

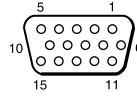
选购附件

投影灯泡 LMP-P202 (更换用)
 投影机悬吊支架 PSS-610
 显示器电缆
 SMF-410 (HD D 副 15 芯 (雄) ↔ HD D 副 15
 芯 (雄))
 信号电缆
 SMF-402 (HD D- 副 15 芯 (雄) ↔ 3 × 声音插
 孔)
 投影镜头
 短焦距转换镜头 VPLL-CW10
 长焦距转换镜头 VPLL-CT10

有些物品在某些地区可能买不到。有关详细情况，请就近
 向 Sony 经销商咨询。

管脚配置

INPUT A 连接器 (HD D 副 15 芯、雌)



1	R/R-Y	9	N.C.
2	G/Y	10	GND
3	B/B-Y	11	GND
4	GND	12	DDC/SDA
5	GND	13	HD/C.Sync
6	GND (R)	14	VD
7	GND (G)	15	DDC/SCL
8	GND (B)		

MOUSE 连接器 (6 芯、雌)



1	DATA
2	N.C.
3	GND
4	+5 V
5	CLK
6	N.C.

索引

A

- APA 功能 22 (CS)
- 安装 31 (CS)
- 安装设定项目单 30 (CS)
- 安装示例 32 (CS)
- 安装提示
 - 不当安装 33 (CS)
 - 有关使用的不适环境 33 (CS)

B, C

- 搬运把手 7 (CS)
- 彩色制式 27 (CS)
- 操作设定项目单 29 (CS)
- 尺寸 H 28 (CS)
- 菜单背景 31 (CS)
- 菜单颜色 31 (CS)
- 菜单位置 31 (CS)

D, E

- 点相位 27 (CS)
- 电池
 - 安装 14 (CS)、15 (CS)
 - 注意事项 14 (CS)、15 (CS)
- 电源
 - 关闭 23 (CS)
 - 接通 21 (CS)
- 动态图像 26 (CS)
- 对比度 26 (CS)

F, G, H, I

- 复原
 - 将项目的设定复原 25 (CS)
 - 可复原的项目 25 (CS)
- 固定功能 24 (CS)
- 更换投影灯 35 (CS)
- 故障排除 37 (CS)
- 管脚配置 41 (CS)
- 规格 39 (CS)
- 红外线接收器 30 (CS)

J

- 迦玛模式 26 (CS)
- 节电方式 10 (CS)、30 (CS)

K

- 空气滤网 36 (CS)
- 控制器的位置和功能
 - 后面 / 右面 / 底部 7 (CS)
 - 控制面板 9 (CS)
 - 连接器面板 11 (CS)
 - 前面 / 左面 7 (CS)
 - 遥控器 12 (CS)、14 (CS)

L, M, N, O

- 连接
 - 电脑 16 (CS)
 - 分量装置 18 (CS)
 - 录像机 18 (CS)
 - 局域网 19 (CS)
- 亮度 26 (CS)
- 凝聚 33 (CS)

P, Q, R

- 屏幕尺寸 39 (CS)
- 锐度 26 (CS)

S

- 扫描转换器 28 (CS)
- 色彩 26 (CS)
- 色调 26 (CS)
- 色温 26 (CS)
- 使用前须知 5 (CS)
- 输入 A 30 (CS)
- 输入 B 功能 31 (CS)
- 输入设定项目单 27 (CS)
- 随机附件 40 (CS)

T, U, V, W

- 调整数字梯形失真 31 (CS)
- 梯形调整存储器 31 (CS)
- 调节器 9 (CS)
- 调整
 - 设定值的存储 25 (CS)
 - 图像 26 (CS)
 - 图像的尺寸 / 移位 22 (CS)
- 通风孔
 - 进气 8 (CS)
 - 排气 7 (CS)
- 投影 22 (CS)
- 投影灯操作时间 31 (CS)
- 图像控制项目单 26 (CS)

X

- 项目单
 - 安装设定项目单 30 (CS)
 - 操作设定项目单 29 (CS)
 - 输入设定项目单 27 (CS)
 - 使用项目单 25 (CS)
 - 图像控制项目单 26 (CS)
 - 取消项目单显示画面 25 (CS)
- 消除
 - 声音 12 (CS)
 - 图像 22 (CS)
- 信息
 - 警告 38 (CS)
 - 提醒 38 (CS)
- 选购附件 41 (CS)

Y

- 遥控检波器
 - 后方 7 (CS)
 - 前方 7 (CS)
 - 设定 30 (CS)
- 遥控器 (VPL-PS10) 14 (CS)
- 遥控器 (VPL-PX15/PX10) 12 (CS)
- 移位 28 (CS)
- 语言 30 (CS)
- 音量 27 (CS)

Z

- 增强 RGB 26 (CS)
- 状态 (屏幕显示) 30 (CS)
- 自动输入搜索 30 (CS)
- 纵横比 28 (CS)

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.net/>

Printed on recycled paper

Printed in Japan